

第九十回帝國議會 衆議院 勞働關係調整法案委員會會議錄(速記)第七回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

勞働關係調整法案(政府提出)

昭和二十一年七月三十一日(水曜)午前十時四十分開議

出席委員

委員長 逢澤 寛君

理事 江崎 眞澄君 理事 龍澤 脩作君

理事 岡部 得三君 理事 古賀喜太郎君

理事 伊藤卯四郎君

飯國壯三郎君 花月 純誠君

杉田 馨子君 原 侑君

村上 勇君 山田 善三君

山本 勝市君 川崎 秀二君

橋 直治君 長尾 達生君

辻井民之助君 土井 直作君

山下 榮二君 東 隆君

木下 榮君 原 國君

藤井 正男君 柏原 義則君

磯田 正則君

同月三十日委員足田敏男君辭任ニ付其ノ補闕トシテ磯田正則君ヲ議

長ニ於テ選定シタ

同月三十一日委員柏原義則君辭任ニ付其ノ補闕トシテ中野四郎君ヲ

議長ニ於テ選定シタ

出席國務大臣

司法大臣 木村篤太郎君

內務大臣 大村 清一君

厚生大臣 河合 良成君

出席政府委員

內務事務官 谷川 昇君

厚生政務次官 服部 岩吉君

厚生參與官 佐藤 久雄君

厚生事務官 吉武 惠市君

商工事務官 吉田悌二郎君

本日ノ會議ニ付シタ議案

勞働關係調整法案(政府提出)

○逢澤委員長 ソレデハ是カラ會議ヲ始メマス、此ノ際報告スルコ

トガアリマス、本委員會モ既ニ五

回ノ回数ヲ重ネテ居ルノデアリマ

スルガ、尙ホ質問通告者ガ相當多

數アルノデアリマス、ソコデ今朝

理事會ヲ開キマシテ申合セテ致シ

マシタ、其ノ申合セ事項ヲ茲ニ御

報告申上ゲマス、大體本議案ハ八

月五日位マデニ切上ゲタイト云フ

要望ガアリマス、隨ヒマシテ今後

ハ、本日ト來月ノ二日ト、五日ト

此ノ三回ヲ開クト致シマシテモ、

時間ガ午前午後ヲ通ジマシテモ十

五時間位シカナイノデアリマス、

隨ヒマシテ御一人ノ發言時間ヲ大

體一時間位ニ御願ヒシタイ、斯ウ

云フ理事會ノ申合セガアルノデア

リマス、之ヲ御承認願ヒタイと思

ヒマス、隨ヒマシテ政府ノ答辯モ

亦親切丁寧デアルト云フコトハ勿

論デアリマスガ、成タケ要領ヲ得

タ簡單ナル御答辯ヲ願ヒタイト存

ズルノデアリマス、以上御報告申

上ゲマス、通告順ニ依リマシテ磯田正則君ニ發言ヲ許シマス、磯田正則君

○磯田委員 私ハ途中デ入リマシタノデ前ノ發言者ガ御發言ナサレ

タ内容等ニ付キマシデモ、詳シク

承知致シテ居リマセヌケレドモ、

只今委員長ノ御注意モアリマシタ

ノデ努メテ簡單ニ御質疑ヲ申上ゲ

タイト思ヒマスガ、多少前ノ發言

者ト重複スル點ガアルカモ知レマ

セヌガ、此ノ點御諒承ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス

第一ニ新憲法第二十六條ハ「勤

勞者ノ團結する權利及び團體交渉

その他の團體行動をする權利は、

これを保障する。」トアリマス、又

金森國務大臣ハ去ル十八日ノ憲法

委員會ニ於キマシテ、怠業ノ如キ

モ權利ノ内容ニ含マレテ居ルモ

ノト思フト云フ御答辯ガアリマシ

タ、更ニ此ノ條文ガ多少社會ヲ刺

戟スルヤウナコトガアツテモ自制

シ合ツテ行キタイト斯ウ申サレテ

居リマス、然ルニ本法ニ對シマシ

テ厚生大臣ハ爭議權ニ最小限度ノ

制限ヲ加ヘルモノデアル、當事者

ニ最小限度ノ制限ヲ加ヘルモノデ

アルト云フ御答辯ヲナサレテ居リ

マスガ、此ノ金森國務大臣ト厚生

大臣トノ御見解ノ中ニ、御答辯ノ

中ニ、何ダカ割リ切レナイ大キナ

矛盾ガ隠サレテ居ルヤウニ思ハレ

ルノデアリマスガ、特ニ第八條、

第三十八條ハ新憲法第二十六條ニ

相反シテ居ルト思ヒマスガ、此ノ

點厚生大臣ノ御意見ヲ承リタイト

思ヒマス

第二ニ本法案ガ前議會ノ翼賛議

員トノ約束ノ下ニ立案サレタト云

フ所ニ、勞資ノ摩擦ヲ豫期シ、資

本家ヲ擁護スル爲ニ急ガレテ居ル

モノトモ解サレル點ガアリマス

ガ、此ノ點如何デアリマセウカ、

尙ホ大藏大臣ハ財閥ガ解體シタト

云ツテ居リマスガ、成程表面ハサ

ウ云フ形ニナツテ居ルカモ知レマ

セヌケレドモ、實情ハ中々サウデ

ナイヤウデアリマス、隨テ資本家

ノ爲ニ不利ナルベキ場合ヲ豫想

シテ本法案ガ作ラレテ居ルト思ハ

レルヤウナ點ガアルノデアリマ

ス、例ヘバ産業整理ヤ軍需補償ノ

打切ノ場合、多クノ失業ガ出ル

コトヲ豫想シテ、本法案ノ通過ヲ

急イデ居ルノデハナイカ、又厚生

大臣ハ本法案ハ法制審議會ニ掛

ケ、中央勞働委員會ニモ委託シ

テ、勞働組合ノ代表ヲ集メテ意見

ヲ申述ベタト言ハレテ居リマスル

ガ、此ノ集メタ範圍ハドノ程度デ

アリマスルカ、或ハ又政府ハ將來

掛ケテハナラナイト云フ氣持カラ

少シ勞働者ニハ苛酷ダ、無理ダト

ハ思ヒナガラモ、無理ヲ意識シテ

本法ヲ急速通過セシメヨウトスル

ノデハナイカ、斯様ニモ考ヘラレ

マスガ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

ト思ヒマス

次ニ去ル七月十日ノ對日理事會

ノ席上米國代表ノ「アチソン」大

使ハ、日本ノ勞働運動ハ最初カラ

順調ニ發展シタ、我々モ知ツテ居

ルヤウニ一部ノ戰團的ナ少數分子

ガ此ノ新シイ勞働組合ヲ間違ツタ

方向ニ導カウトシ勞働者ヲ戰團的

ナ一政黨ノ思ヒノ儘ニ動かサウト

シタ、日本ノ勞働運動ノ大キナ危

險ハトモスレバ極端ナ利己的分子

ノ勢力ニ掩込マレテシマフ虞ガア

ルコトダト言明セラレテ居リマス

ガ、政府モ亦此ノ「アチソン」大

使ノ憂ヘテ居ルト同様ニ、共產黨

及ビ「フアッシスト」ヲ中心トス

ル政黨ニ勞働組合ガ利用セラレル

コトヲ恐レテ本法ヲ提案ヲ急イ

デ、特ニ第八條ニ列記ノ事業ガ共

産黨ヤ「フアッシスト」ヲ中心ト

スル政黨ニ利用サレルコトヲ防止

スル爲ニ第八條ト共ニ第三十八

條、第三十七條ヲ定メタト思ヒマ

スルガ、若シサウデアレバ政府ハ

シテ實ヒタイ、説明スベキデハナ
イカ、今日マデノ厚生大臣ノ説明
デハ遺憾ナガラ勤勞大衆ノ空氣ヲ
満足サセルコトハ出來ナイ、寧ロ
惡化サセルノミデアルト思ハレル
ノデアリマス、又對日理事會ニ於
キマシテ、發展途上ニアル日本ノ
勞働組合ガ、政黨ノ思ヒノ儘ニ動
カサレルコトノ危險ヲ警戒シテ居
ル以上、再建途上ニアリマス日
本、特ニ今漸ク劃期的ナ勞働組合
ヲ與ヘラレテ、敗戦日本ニ唯一ツ
ノ民主日本建設ニ貢獻シ得ル力ヲ
持ツテ居ル此ノ勞働組合ガ、マダ
完全ナ發展ヲ見ヌウチニ一部ノ煽
動的分分子ノ爲ニ間違ツタ方向ニ
進ムコトハ全國勤勞者ノ爲ニモ、
日本ノ將來ノ爲ニモ遺憾至極ノコ
トデアリマシテ、此ノコトガ聯合
軍ニ對シテ惡印象ヲ與ヘルコトヲ
考慮シテ、此ノ際政府モ、又勞働
組合モ、勞働組合ヲ操縦シテ居ル
所ノ政黨モ、日本再建ト云フ大キ
ナ襟度カラ黨勢擴張ニ組合運動ヲ
利用スルコトヲ拋棄シテ、米國ノ
勞働組合ノヤウニ、政黨ニ關係ノ
ナイ勞働組合ヲ作り上グルコトニ
協力シテ貰フヤウ、政府ハ此ノ際
大膽率直ニ之ニ對スル手ヲ打ツ考
ヘガアルカドウカ、而シテ一部煽
動分子ガ組合ニ加入スルコトヲ禁
止スルト云フコトヲ本法ニ織込ム
意思ガアルカドウカ、其ノ點ヲ御
伺ヒ致シタイと思ヒマス、實際問
題ト致シマシテ、現在一部政黨ノ

煽動分子ガ入ツタ組合運動ハ、其
ノ結果ニ於キマシテ非常ニ惡イ結
果ヲ見テ居ルト云フ現狀デアリマ
ス、現ニ新聞紙ノ報道スル所ニ依
リマシレバ、九州ノ炭坑ニ於テハ
勞働組合ガ二ツノ政黨ヲ中心トス
ルモノト、他ノモノトノ三ツノ場
合ニ分裂致シマシテ、常ニ黨勢擴
張ノ爲ニ勢力爭ヒヲナシ、増炭ニ
大キナ影響ヲ及ボシテ居ルガ如
キ、好キ實例デアアルノデアリマ
ス、次ニ、本法ノ目的ガ勞働爭議ヲ
豫防シ、又ハ解決スルニアルコト
ハ申スマデモアリマセヌガ、本來
勞働爭議ハ何モ物好キヤ洒落ニ起
ス者ハアリマセヌノデ、結局ハ食
ヘナイカラ起スノデアリマス、敗
戦ト云フ苦イ體驗ヲ厭ヤト云フ程
味ハツテ居ル勤勞大衆ハ戰爭中ニ
或ハ産業報國會或ハ勞務報國會ノ
美名ノ下ニ繋ガレテ、心身共ニ戰
争ノ犠牲ニ甘ジテヤツテ來タ勤
勞大衆デアリマス、食ヘサヘスレ
バ決シテ勞働爭議ナドヲ起ス理由
ガナイノデアリマスルガ、日本再
建ニ全國勤勞大衆ノ擔ヒ産業興隆
ノ役割ガ如何ニ重大デアルカラ承
知シテ居リナガラモ、而モ尙且ツ
爭議ヲ起スノハ食ヘナイカラデア
ルト云フコトニナルノデアリマ
ス、ソコニ過激分子モ附込デ來
ルト云フヤウナ結果ニナルノデア
リマス、政府ハ本法ヲ以テ勞働爭
議ヲ豫防シ、解決スルト言ツテ居
リマスルガ、法律ダケデハ到底腹

ハ太ラナイノデアリマス、法律ダ
ケデハ爭議ノ豫防モ解決モ到底出
來ルモノデハナイノデアリマス、
要ハ食ハセルコトデアリマス、然
ルニ最近政府ハ特殊産業ニノミ加
配米ヲ殘シマシテ、其ノ他ノ産業
ニ從事スル勤勞者カラ加配米ヲ撈
ギ取ツテ、腹ヲ減ラス政策ヲ執ラ
ウトシテ居ルコトハ、政府自體爭
議激發ノ種ヲ播イテ居ルノデハナ
イカ、斯ウシテ本法ハ彈壓法ナリ
ト勤勞者ガ呼ブ結果ニナツタノデ
ハナイカ、政府ハ爭議根絶ノ一方
法トシテ速カニ一般産業ニ從事ス
ル勤勞者ニモ加配米ヲ復活スル意
思ガアルカドウカ、是ハ特ニ商工
大臣關係ダト思ヒマシタガ、通告
漏レデアリマシテ、御見エガアリ
マセヌノデ、厚生大臣ノ御考ヘノ
程度デ結構デアリマスカラ御答辯
ヲ戴キタイと思ヒマス
次ニ、私ハ本法案ノ内容ニ付テ
少シク御伺ヒ致シマス
○達澤委員長 磯田君ニ一寸御注
意致シマス、成タケ一問一答ノ形
デオヤリニナツタ方ガ能ク分リハ
シナイカト思ヒマス、餘リ數ガ多
イト答辯ノ方モ……
○磯田委員 時間ノ御注意モアリ
マシタノデ、一應申上ゲテ置イ
テ、「メモ」シテ戴イテ御答辯下
サレバソレデ結構デアリマス
次ニ本法ノ第一條ヨリ第六條マ
デハ勞働組合法第一條、第十條、
第十一條、第十二條、第十四條、

第十五條等ニ依ツテ十分デアリ、
茲ニ總則トシテ改メテ條文化スル
コトハ物ヲ故ラニ複雑化スルコト
ニナルカラ、是ダケヲ一纏メニシ
テ簡單ナモノヲ一箇條ダケ作レバ
結構ダト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ
付キマシテハ如何ナル御考ヘデア
リマセウカ
次ハ、第七條ノ爭議行為ノ解決
ニ於テ、私ハ政府ト根本的ニ意見
ヲ異ニスルモノデアリマス、勞働
組合ガ同盟罷業、怠業ヲヤル場合
ハ最後ノ最後デアツテ、又之ヲ行
ツタ爲ニ一時的ニハ總テノ生産ノ
停止ト云フ結果ヲ招クニ違ヒナイ
ケレドモ、之ニ依ツテ勞働者ノ地
位ノ向上ガ與ヘラレ、其ノ結果ト
シテ勞働能率ガ却テ從前ニ比ベテ
向上スルモノデアルコトヲ、色々
ノ實例カラ承知致シテ居ルノデア
リマス、隨テ爭議行為ヲ以テ「業
務ノ正常ナ運營ヲ阻害スルモノ」
ト斷定スルコトハドウカト思フノ
デアリマス、此ノ言葉ハ單ニ資本
家トカ、官僚トカノ一方のカラ見
タ場合ノミノ言葉デ公平ナ言葉ト
ハ申サレナイ、ソコデ勤勞大衆ノ
反感ヲ買ツタモノデアルカラ、本
條文カラハ此ノ言葉ヲ抹消シテ、
「之ニ對抗スル行為ヲ云フ」ト打
切ラレルノガ宜シイノデハナイカ
次ニ第八條ノ「公益事業」ト云
フ言葉ハ、戰爭中ノ産業報國會、
勞務報國會ト同ジヤウナ響ト含ミ
トラ持ツヤウナ氣ガスルノデアリ

マス、大東亞戰爭ニ於テ產報、勞
報ト云フ美名ノ下ニ騙サレテ參リ
マシタ勤勞大衆ハ、今又「公益事
業」ト云フ言葉ノ中ニ丸メ込マレ
ヨウトシテ居ルノデアリマシテ、
之ヲ極度ニ恨レテ居ル勤勞大衆ニ
ハ同情シナケレバナリマセヌ、今
政府ハ第八條ノ一項一號、二號、
三號、四號ノ從業者ヲ公益事業ト
云フ枠ノ中ニ入レテ、第十八條、
第三十七條ヲ適用シテ、是等ノ人
達ガ組織スル勞働組合ノ力ヲ弱體
化シヨウトシテ居ルヤウニ見エ
ルノデアリマス、又事實上第八條ハ
是等ノ人々ノ勞働組合運動ヲ禁止
スルニモ等シイノデアリ、此ノ結
果起ツテ來ル色々複雑ナ問題ヲ私
共ハ却テ恨ルノデアリマス、勞
働者ハ第八條ヲ戰爭中ノ官僚ト軍
閥ガ取ツテ來タ勞働者ヘノ良ト云
フコトヲ思出シテ、之ヲ又陷罪ト
直感シテ居ルコトハ事實デアリマ
ス、又第八條第二項デハ、中央勞
働委員會ノ決議ニ依ツテ、公益事
業ヲ指定スルコトサレデアリマスガ
中央勞働委員會ノ構成ガ最大委員
數ヲ二十一人ト致シマスレバ、勞
働者ノ委員ハ七人デ、アト十四人
ノ委員ハ官僚ト資本家ヲ擁護スル
委員デアツテ、政府ニ都合ノ惡イ
モノハ、何時デモ自由勝手ニ公益
事業ニ指定シ得ル仕組ニナツテ居
ル所ニ、本條文ノ魔術性ガアルヤ
ウニ思ハレマス
更ニ第三章ノ調停全文、特ニ第

十八條、第十九條、第五章爭議行為ノ制限禁止ノ第三十七條ヲ併セ考ヘマスナラバ、公益事業ト指定サレタモノハ常ニ資本家ト官僚ノ味方ニ依ツテ、爭議行為ノ出來ナイ中ニ有耶無耶ニ一切ガ丸メラレテ行ク處ガアルヤウニ思ハレマス

是デハ勞働組合法ノ第一條ハ完全ニ抹殺サレタコトニナリマシテ、殊ニ罷業ヲ致シマスル權利ハ大福ニ制限セラレマシテ、勞働組合法ノ生命ハ、茲デハ骨抜きニサレタコトニナルノデアリマス、斯クノ如キ理由カラ、勤勞大衆ハ反對スルモノデハアリマスマイカ、此ノ點ニ付キマシテ厚生大臣ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

次ハ第九條ノ爭議行為ノ發生ノ問題デアリマスルガ、ハ頗ル明瞭ノ如ク見エマシテ實ハ不明瞭デアルト思ヒマス、政府ハドノ程度ヲ以テ爭議行為ノ發生ト見ルノデアルガ、是ハ實ニ重大デアリマス、故ニ第三十七條ニモ第十八條ニモ關係ガアリ、更ニ第二十九條ノ罰金ニ大關係ガアリマスルガ、勞働組合ト勞働委員會ト官廳トノ間ニ爭議行為ノ食違ヒガ起ツタ場合ニ必ズ彈壓ト云フ言葉ガ飛出シテ來ルノデアリマスガ、此ノ點ハ如何ニ御考ヘデアリマスルカ

次ハ第八條ノ公益事業ニ指定サレタ勞働組合ニハ爭議ヲシテ貰ヒタクナイ、又拔打チノ爭議ハ困ルト云フノデアリマスルガ、厚生

大臣ハ此ノ際等ノ關係ノ勞働組合ハ悉ク勞働協約ヲ必ズ締結スルコトニサレル御考ヘガアルカドウカ

ソレカラ十一條ニ於テ「幹旋員候補者は、學識経験を有する者で、この章の規定に基いて勞働爭議の解決につき援助を與へることが出来る者」トアリマスルガ、此ノ學識経験をアル者ト云フ言葉ハ常ニ官僚陣ノ常套語トシテ、所謂專賣語デアリマシテ、而モ第八條ノ勞働委員會ガ幹旋員候補者ヲ委嘱スル方法ガ不明瞭デアアル爲ニ、一層此ノ學識経験を云フ曖昧ナ文字ノ中ニハ勞働委員會ノ官僚化、幹旋員候補者ノ官僚化ノ臭ヒガスルノデアリマス、是ハ勞働委員會ノ構成ガ私ノ知ル範圍デハ今日マデ官僚ノ獨善的選定方法デ勞働組合カラ非難ヲ浴ビテ居ルコトデモ分ルノデアリマスルガ、今後勞働者側ノ代表ガ眞ノ勞働者ノ代表ノ立場カラ民主的ニ選バレタト致シマシテモ、資本家側ノ代表ハ依然トシテ商工經濟會ノ形態ノ中カラ選バレ、第三者ノ選定ハ官僚陣ノ情實關係カラ選バレルコトハ幾多ノ今マデノ實例ガ證明シテ居ルノデアリマス、此ノ誤ラレタ人選カラ構成サレタ勞働委員會ニ依ツテ、果シテ公正ナ幹旋員ガ選定サレルトハ考ヘラレナイノデアリマス、政府ハ此ノ缺陷ヲドノヤウニシテ補フコトガ出來ルノデアアル

カ、又幹旋員ノ委嘱方法ヲ具體的ニ何故明示シナイノデアアルカ、幹旋員ノ人員モ不明デアリマスルガ、其ノ人員ハドウシテ定メルノデアアルカ、又第十二條ニハ勞働委員會ノ會長ガ幹旋員名簿ニ記サレテ居ル者ノ中カラ指名スルトアルカラ、相當數ノ候補者ノ中カラ幾名カラ指名スルモノト思ヒマスガ、コ、ニモ會長ガ情實のニ又資本家側ニ同情的ニ色彩ノ付イタ幹旋員ノミヲ偏シテ指名スル場合ヲモ考慮ニ入レナクテハナラナイト思フノデアリマス、此ノ弊害ハ何ヲ以テ防止スルコトガ出來ルノデアリマスルカ、又第十四條ノ如キハ洵ニ曖昧デアリマシテ、第十四條ノ如キ場合、次ニ起ツテ來ル行動ハドウスルノデアアルカ、以上何レモ不明瞭ナ點ガ多イノデアリマシテ、勞働者ガ不安ヲ懷ク點デアリ、反對ヲスル點デアルト思フノデアリマス、殊ニ第十五條ニ「この章に定めるものの外命令でこれを定める」トアリマスルガ、是コノ最モ勞働者ガ警戒ヲスル所デアリマス、既ニ命令ト云フ文字其ノモノガ軍國主義再燃ヲ思ハセルモノデアリマス、元來本法ハ調整法トアルカラ出來ルダケ双方合意ノ下ニ總テシテ纏メルコトヲ本旨トスベキ管デアアルニモ拘ハラズ、茲ニハ幹旋員候補者ト云フ重要ナ鍵ヲ握ル者ノ事項ヲ、命令ニ依ツテ定メルト云フコトガ不穩當デアアル、本

法全體ニ對スル政府ノ氣持ハ此ノ命令ノ二字ノ中ニ隱サレテ居ルト思フガ、此ノ點ハドウカ、若シサウデナイトスレバ、此ノ命令ト云フ文字ハ何トカ變ヘテ行クコトハ出來ナイイダラウカ

次ハ勞働委員會カラ幹旋、調停、仲裁ト色々機關ヲ一ツノ勞働爭議ニ對シテ並立テ、居ルコトハ政府ガ反動的ナ機關ニ段々スリ換ヘテ行ク手段デアルト云フ風ニモ思ハレルノデアリマス、コンナ複雑ナ幾ツモノ法律ヲ作ラナイデモ宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、特ニ第三十四條ノ意味ヲ具體的ニ説明シテ戴キタイノデアリマス、尙ホ第三十六條ハ頗ル重大デアリマスルガ内容ガ非常ニ漠トシテ居リマスノデ、爭議行為ノ開始サレタ場合ニ勞働組合ノ見解、資本家ノ見解、官廳ノ見解ト云フ風ニ、色々食違ヒノ起ルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアルト思フノデアリマス、此ノ點政府ハドウ考ヘテ居ルカ、殊ニ安全保持ノ施設デアリマスルガ工場デモ、炭坑デモ設備シテアルモノハ皆必要ナモノデアリ、安全保持ノ施設デアリモノハナイト言ヘルノデアリマス、コンナ所ニモ勞働者ノ壓迫ガ隱サレテ居ルヤウナ氣ガシテナラナイノデアリマ

スガ、尙ホ三十六條ヲ犯シタ時ハドウスルノカト云フコトニ付キマシテモ御伺ヒヲ致シタイト思ヒ

マス

次ハ第三十七條ノ三十日ノ期間ヲ置クト云フ根柢ハ何處ニアルノカ、勞働委員會ガ調停ヲ愚圖々々シテ居ル中ニ、勞働組合ガ意業ト見エザル巧妙ニシテ合法的ナ意業ヲヤツタ場合ニハドウスル積リデアアルカ、此ノ際ノ損失ノ莫大ノコトヲ考ヘル時、此ノ三十日ト云フ期間ハモット短縮スル方ガ勞資双方ノ利益デハアルマイカ、詰リ此ノ長イ期間ト云フモノハ彈壓ト懷柔ノ期間ニ利用サレル處レガアルト思フ、此ノ點政府ノ見解ヲ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス

次ハ勞働組合法第四條ノ「警察官吏、消防職員及監獄ニ於テ勤務スル者ハ勞働組合ヲ結成シ又ハ勞働組合ニ加入スルコトヲ得ズ」ト云フ條文ハ、團結行動ノ結果公安ヲ害スルモノト考ヘラレテノコトト思ヒマスガ、是等ノ人達ガ同盟罷業ヤ怠業ヲ行フコトハ公安保持ノ見地カラ許シ難イト云フ風ニ思ハレマスルガ、勞働組合ヲ結成シテ地位ノ向上ヲ圖リ、勞働意欲ヲ自發的ニ起サセル爲ニハ、此ノ第四條ハ不當デアルト考ヘテ居ル時、重ネテ第三十八條ヲ追加スルコトハ赤ン坊ノ手ヲ捻ルヤウナモノデアハアルマイカ、三百萬官公吏ハ今マデ國家國民ニ迷惑ヲ掛ケルヤウナ爭議ヲヤツタト云フコトヲ聞カナイノデアリマス、私ハ寧ロ官公吏ハ團結力ガ弱イトサヘ考ヘ

テ居ル時ニ、政府ガ敢ヘテ労働組合法ニ又労働調整法ニ二重ニ官公吏ヲ束縛セバナラヌ理由ハ何處ニアルノデアリカ、或ハ共產主義者ノ煽動ガ恐ロシイノデアリカ、其ノ點明瞭ニ説明シテ戴キタイノデアリマス、國民ノ公僕タル官吏ガ、國民ノ支持ナクシテ爭議行爲ヲナスコトハ官吏ノ自殺行爲ニ外ナラヌコトヲ彼等ハ能ク心得テ居ルノデアリマシテ、此ノ際政府ハ第三十八條ニ該當スル人達ノ爲ニ溫カイ親心ヲ發揮シテ、彼等ノ待遇改善ヲ圖ルノハ勿論デアリマスガ、此ノ労働組合ニ代ツテ特別労働委員會ト云フヤウナモノデモ作リマシテ、此ノ制度ヲ活用シテ、天降リノ待遇改善方法ヲ一歩前進セシメテ彼等ノ待遇ヲ改善シテヤルト云フヤウナ考ヘガアルカドウカ、最モ理想的ニハ第三十八條ヲ撤廢スルコトガ宜イと思ヒマスガ、政府ハ之ヲ撤廢スル意思ガアルカ、然ラズンバ特別労働委員會ト云フヤウナモノヲ置クカ、二ツニ一ツノ實現ヲシテ戴キタイと思フノデアリマス

テモ、現在デモ相當數ニ上ツテ居ル自由労働者、詰リ日雇労働者ハ益々増加スルと思ハレマスガ、同ジ労働者デアリナガラ、官廳、會社等ノ労働者ハ團體交渉權ノ保護助成、労働條件ノ維持改善、其ノ他經濟的地位ノ向上ヲ圖ル爲メ法の保護ヲ持チナガラ、一方自由労働者ニハ何等是等ノ特權ガ與ヘラレテ居リマセヌ、此ノ矛盾ニ對シマシテ政府ハ如何ナル考ヘヲ持ツカ、是等ノ労働者ニ對シテハ現在確タル統制ガ取レテ居ナイ爲ニ、無法ナル労働ヲ取ル者ガアリ、是ガ爲メ生産増進上大ナル支障ヲ來シテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル労働統制ニ付テ、是ハヤハリ厚生大臣ノ御考ヘトシテ結構デアリマスガ、政府ノ確タル成案ヲ承リタイと思ヒマス、尙ホ、失業救済ハ飽クマデモ失業救済デ、所謂惰民ヲ作ツテハナラナイと思フノデアリマス、現ニ終戦後、地方ニ居レバ幾ラモ仕事ガアルニモ拘ラズ、骨ノ折レル筋肉労働ヲ嫌ツテ唯骨ヲ折ラズ口先デ世渡リヲシ、而モボロイ儲ケノ出來ル闇商人等ニナツテ都會ニ流レ込メ食ヘナイ食ヘナイト云フ只今ノ食糧事情ヲ益々窮乏ニシ、自分デモ食ヘナイ食ヘナイと言ヒナガラモ正業ニ就カウトシナイ失業者モ相當多イシ、今後益々斯ウ云フ失業者ガ殖エテ來ルト思ヒマスガ、斯ウシタモノヲ、所謂勞力ノ調整ニ依ツテ

生産面ニ働カサセル勞務配置ノ對策ガ必要デアルト思ヒマスガ、政府ハ此ノ問題ヲドウ御考ヘニナツテ居リマスカ
最後ニ、労働法案ガ今議會ヲ通過スレバ、現行ノ労働組合法及ビ目下立案中ノ労働基準法ト申シマスカ、ソレト共ニ我が國ノ労働立法ノ體系ガ一先ツ整備サレルコトニナルト思ヒマス、斯ウナルトドウシテモ労働立法ヲ統一的ニ動かス所ノ行政官廳ガ必要トナツテ來ルト思フノデアリマス、政府ハ此ノ重要行政ガ現在厚生省ノ一部、運輸省ノ一部、或ハ商工省ノ一部デ個々バラ／＼ニ執ラレテ居ル程度デ労働行政ノ實ヲ舉ゲルコトガ出來ルト思フ確信ガアリマスガ、又現在ノ制度、機構ニ於テハ、滔々トシテ押寄セル失業問題ノ解決ヤ、労働組合運動ノ健全ナル指導育成モ出來ナイトスレバ、此ノ際労働行政ヲ一元化スル労働省ノ設置ハ急務中ノ急務デナレバナラナイト思ヒマスガ、政府ハ此ノ際急速ニ労働省ノ設置ヲナス意思ガアルカドウカ、若シアリトスレバ其ノ時期ト政府ノ構想スル機構、竝ニ運営ノ大綱等ニ付テ承リタイト思ヒマス、大體以上ガ私ノ質問ノ要旨デアリマス、先程モ申上ゲマシタヤウニ、一問一答ガ宜シイノデアリマスルガ、時間ノ關係モ考慮致シマシテ一度ニ申上ゲマシタノデ、分リニタイ點モアツタカ

モ知レマセヌガ、努メテ詳細ニ御答辯ヲ願ヒタイと思ヒマス
○河合國務大臣 只今ノ約十五、六點ニ互ル點ニ付テ御答辯致シマス
先ツ第一點ノ憲法第二十六條ニ於ケル團體權ト云フモノト此ノ法律ノ第三十八條ニ於ケル爭議ノ禁止ト云フコトト抵觸シナイカ、金森國務大臣ノ答辯ト抵觸シテ居ハセヌカト云フ御尋ネノヤウニ拜聴致シマスガ、是ハ憲法ト此ノ労働關係調整法案トハ決シテ抵觸シテ居ナイト思ヒマスルシ、又金森國務大臣ノ答辯トモ少シモ抵觸スル所ガナイト考ヘテ居リマス、ト申スノハ、本法ニ於キマス團體權ハ、勿論是ハ原則的ニ憲法ニ於テ認メラレタ所デアリマスケレドモ、又憲法ノ他ノ條項、特ニ第十條、第十二條等ニ於キマシテ、國民ノ權利ハ當然公共ノ福祉ノ爲ニ利用サレナレバナラヌ、又或ル程度ノ制限ヲ受ケルト云フコトヲ豫想シテ居リマス、ソレダカラハ社會生活ト致シマシテハ、色色ノ階級ノ色々ナリノ人ガ住シテ居ルノデアリマシテ、サウシテ其ノ全體ノ利益ト云フコトヲ公共ノ福祉ト云フコトデ表明シテ居ル譯デアリマスカラ、其ノ點ニ於テノ調節ヲ取ラナレバナラヌト云フコトハ憲法ヲ流ル、精神デアリマス、サウ云フ意味ニ於テ此ノ法案ガ出來テ居リマスノデ、決シテ抵

觸シテ居ル次第デハアリマセヌ、此ノ點ハ、金森國務大臣ノ答辯ヲ私ハ聞イテ居リマセヌガ、必ズサウアルコトト信ジテ疑ハヌ次第デアリマス
第二ノ點ハ、此ノ法案ガ資本金擁護ノ點ニ重點ガアルノデヤナイカ、或ハ財閥團體トノ關係トカ、或ハ「ストライキ」ノ勃發ヲ豫想シテ急イデ居ルノデハナイカト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、是ハ度々申上ゲマス通りニ、此ノ資本金擁護ト云フヤウナ條項ハ何處ニモ見當リマセヌ、全ク公益擁護、國民大衆ノ爲メ公益ヲ擁護スルト云フ基本カラ流レ出テ居リマシテ、資本金ヲ擁護スルト云フヤウナ考ヘハ一ツモ持ツテ居リマセヌ
ソレカラ財閥團體ト云フ問題ニ付キマシテハ、財閥團體ハ御承知ノ通りノ狀況デアリマシテ、是ハ實ハ私ノ所管デアリマセヌノデス、委員會其ノ他ガ非常ニ遅レテ居ルト云フコトハ甚ダ殘念デアリマスガ、此ノ問題ト此ノ法案トニハ何等意思ノ關係ハ一ツモアリマセヌ、社會事實トシテドウ云フ風ニ織込マレテ來タト云フコトハ、是ハ別ナ話デス、ソレカラ御話ノ通りニ軍需補償打切ニ依ツテ失業整理ガ促進シマス「ストライキ」ハ或ハ又頻發スルト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、自然「ストライキ」ノ特質モ今マデト

多少變ツタ形ヲ持ツテ來、退職手
當ナドハ問題ノ中心ニナツテ來ヤ

法律ヲ作ツテ居ルナント云フ趣旨
ハアリマセヌ

理、軍需補償ノ打切其ノ他ノ國情
全體ヲ睨ミ合ハセマシテ、政府ガ

ニ付テ御尋ネガアリマシタガ、是
ハ私ノ所管デハアリマセヌガ、便

テ、正常ノ運営ヲ阻害スルコトヲ
爭議行爲ト決メルト云フヤウナコ

センカ、又工場閉鎖ナドガ問題ノ
中心ニナツテ來ヤセンカト云フ氣

ソレカラ第三番目ノ御尋ネノ點
デアリマセヌガ「アチソン」大使ノ

モツトハツキリシタ態度ヲ執ツテ
宜イ場合ニハ其ノ態度ヲ執リマ

場配給ノ範圍ヲ狹メタノハ甚ダ遺
憾ナコトデアリマセヌガ、御承知

ノ運命、自分ノ義務ト心得テ居ル
勞働者ニ對シテ、ドウモ言葉ガ適

出來マスレバ、此ノ法律ノ運用ニ
依リマシテ爭議ヲ未然ニ防止シ、

ドウ考ヘテ居ルカト云フヤウナ色
色分レタ點ノ御質問ガアリマシタ

居ルガ、是ダケデハ駄目デヤナイ
カ、根本問題ガアルノデハナイ

云フヤウナコトデ、是ハ國民全體
ヲ見テ、農林省ガ中心デスウ云フ

運營ヲ阻害スル、何ダカ惡イコト
ヲ此處ヘ書クヤウナ感じヲ受ケタ

コトハアルコトト信ジマスガ、併
シナガラ此ノ法律ハサウ云フコト

共ハモウ至極同感デアリマス、私
共ノ勞働問題ノ處理モ大體サウ云

ト云フ御質問デアリマシタガ、全
ク御趣旨ニ付キマシテハ、同感デ

マシテ、是ハドウモ暫クノ間ハ遺
憾ナガラ我慢ヲシテ戴クヨリ仕方

出來マセヌ、大體各國ノ立法又ハ
勞働問題ニ對スル一般ノ常識トシ

保護法ト申シマスガ、基準法ト申
シマスガ、斯ウ云フ二ツノ法律ガ

フルコトハ、民主主義ノ原則ニ反ス
ルコトデアルト云フ考ヘニ於テハ

十分手當ヲ致サナケレバナリマセ
ヌ、此ノ點ニ付キマシテハ政府ハ

感ガアリマセヌ、一番後ニ撙ガ
レタ所ハ一番先ニ改訂サレハナイ

ト云フ御批評モアリマシタガ、是
ハ公益事業ト云フモノニ對シマシ

云フ筋道デアリマシテ、一ツノ
ノ事柄ヲ將來豫想シマシテ、其ノ

テ開明ナ態度ヲ執ツタラ宜イデハ
ナイカト云フヤウナ色々意見モア

テ、サウシテ生活ヲ援護シテ行カ
ウデヤナイカト云フ點ニ最モ重大

ハ考ヘテ居リマス
ソレカラ第五ノ問題ハ色々立法

テ異論ハナカラウ、斯ウノ斯ウ
云フコトハ公益事業デヤルガ、是

アリマセヌ ソレカラ外國資本ガ
將來入ツテ來ルダラウ、ソレニ付

テ其ノ資本ヲ擁護スル爲ニ、日本
ノ勞働法規ヲ斯ウシテ置カナケレ

テ、ソコラノ點ヲ見定メマシテ、
只今ノ如キ態度ヲ執ツテ居ル譯デ

方カラ勞働問題ニ對處シテ居ルコ
トヲ御諒解ヲ願ヒマス

我々一般ノ日常生活ガ脅ヤカサレ

ルト云フコトハ考ヘテ居リマス

第十一ノ問題トシマシテ、三十
七條ノ三十日ノ期間ハ長キニ失ス
ルノデハナイカト云フ議論ガアリ
マシタガ、之ヲモツト短クシタラ
ドウカト云フ議論モアルシ、モツ
ト長クシタラドウカト云フ議論モ
アル、ソレハ立法例モ色々デアリ
マスルガ、先ヅコ、ラハ抜打チ禁
止トシテ、一般國民ガ心ノ準備、
或ハ物質上ノ準備ヲスルノニ適當
ナ期間ナリト考ヘマシテ、三十日
ト決定シタ次第アリマス

ソレカラ第十二ノ問題ハ、勞働
組合法第四條ノ警察官吏、消防職
員、監獄勤務者等ニ對シマスル組
合結成禁止ノ外ニ、尙ホ第三十八
條ニ於テ爭議行爲ノ禁止ヲヤツタ
ノハ二重ニナツテ居ル、又官吏ニ
シテ「ゼネスト」等ノ心配ハナイ
デヤナイカト云フ御尋ネデアリ
マシタ、是ハ官吏ニシテ「ゼネス
ト」ナドアツテハ堪ラヌノデアリ
マシテ、ソレハナイコトヲ衷心希
望シ、又官吏ニ對シマシテ國家ハ
出來ルダケ生活保護ノ途モ講ジテ
行カナケレバナラス、自分ノ子供
トシテ皆可愛ガツテ行カナクチャ
ナラヌト云フコトニ付テハ、モウ
全ク御同感デアリマスルガ、ヤハ
リ萬一少數ノ者ニ依ツテ公共ノ福
利上最モ重大ナル國務ノ進行ガ阻
害サレルヤウナコトガアツテハ大
變デアル、先程御指摘ノ所謂少數
者ニ依ツテ全體ヲ動かスト云フコ

トナドガアツテハ大變ダト云フコ
トニヤハリ重點ヲ持ツテ居リマ
ス、ソレデ國務ト云フモノハ七千
何百萬國民全體ノ福祉ノ上ニ大切
ナコトデアアル、「ゼネスト」ニ致
シマシテモソレハ少數ノ人デア
ル、其ノ少數ノ人ノ爲ニ全體ヲ動
カサレテハ困リマスカラ、國家ノ
最モ大切ナルコトトシテ保護シナ
クチャナラヌト云フ趣旨デアリマ
スルカラ、是ハ組合法等一部ニ
於テハ二重ト申シマスルカ、言葉
ヲ換ヘテ二重ト言ヒマシテモ、目
的ハ違ツテ居リマスルカラ、是ハ
勿論二ツ入ツテモ差支ヘナイノデ
アリマシテ、殊ニ三十八條ハサウ
趣旨ニ於テ立案致シタノデアリ
マス

ソレカラ第十三ノ問題ニ付テ御
答ヘ致シマスルガ、補償打切りノ
結果、特ニ日僱労働者ガ困ルデヤ
ナイカ、之ニハ中々團體ノ結成ト
云フヤウナコトモ困難デ、是ハド
ウスルノダト云フ御尋ネノヤウニ
拜承致シマシタガ、此ノ日僱労働
者ニ付キマシテハ、最近關係筋カ
ラモ色々指示ヲ受ケテ居リマシ
テ、此ノ問題ノ機構ニ於テ段々變
革ヲ加ヘツ、アル次第デアリマ
ス、サウシテ殊ニ今後ノ軍需補償
打切りニ伴ヒマシテ、所謂浮動
勞働者ト申シマスルカ、「フロ
ト」シタ勞働者ガ出來ルコトヲ心
配シテ居リマス、之ニ對シテハ大
都市ヲ中心トシマシテ機動的ノ公

共事業ト云フヤウナ方法ナドヲ考
ヘテ居リマス、結局本當ニ植林ヲ
スルトカ、治水ヲスルトカ、河川
ヲ直ストカ云フヤウナ公共事業ト
別ニ、ソコニ「フロート」シテ居
ル人ヲ臨機ニ集メテ、サウシテ公
共事業ノ部分ノモノヲヤラスト
云フヤウナコトヲ、相當大仕掛ニ
ヤルコトヲ今考ヘテ居ル次第デア
リマス、實ハ是非ソレヲ實行シタ
イト思ツテ居リマス

ソレカラ其ノ賃金ノ統制ガ取レ
テ居ルカト云フ御話デアリマシ
テ、賃金ニ對スル統制ハ全體的ニ
ハ労働者全體ニ付テハ賃金統制ハ
取レテ居リマセヌガ、日僱労働者
ニ付キマシテハ日僱労働者ト云フ
モノガ中心ニナツテ賃金ノ支拂モ
致スコトニナリツ、アリマスノ
デ、自然此ノ面ニ於テハ事實上ノ
統制ガ取レルト云フ風ニ考ヘテ居
リマス

ガ、殊ニ頭ノ仕事トシマシテモ生
産面ニ關係ノアルコトヲ出來ルダ
ケヤツテ貰フ、生産面ニ關係ノア
ルコトデドウモ入り切レヌ時ニ
ハ、調査ナリ、統計ノ面ナリヤツ
テ貰フト云フ風ナ方法ヲ執リ、サ
ウ云フ面ニ對スル失業等ヲ救済
シテ行ク積リデアリマス

ソレカラ最後ノ御尋ネノ點ハ、
勞働法規ノ制定ト同時ニ、労働省
ト云フモノヲドウスルカト云フ御
話デアリマスガ、是ハ本會議デモ
申上ゲマシタ通りニ、労働省ハ作
ル積リデ只今其ノ手續ヲ進メテ居
リマス、其ノ時期ニ付キマシテハ
茲デ言明致ス譯ニ行キマセヌガ、
出來ルダケ早イ機會ニ於テヤリタ
イト思ツテ居リマス、ソレカラ機
構ニ付キマシテハ、ヤハリ只今ノ
厚生省ノ所管ノ外ニ船員局——船
員ノ問題、或ハモウ一ツ鐵山局ノ
方ノ労働者ノ問題、之ヲ統合スル
コトガ宜イカ惡イカト云フ問題、
是ハ色々各方面、特ニ關係筋ナド
ノ意向モ色々打診ヲ致シマシテ、
今練ツテ居ル所デアリマス、ソレ
カラ尙ホ元ノ厚生省ト労働省ト分
レルト云フ點ニ付キマシテモ、具
體的ノ問題トシマシテ中々困難ナ
問題モアリマスノデ、今ソレヲ研
究シテ居ル次第デアリマス、暫ク
其ノ決定ハ御待テテ願ヒタイト思
ツテ居リマス、大體斯ウ云フコト
デアリマシテ、若シ漏レタ點ガゴ
ザイマシタラ御尋ネ願ヒタイト思

ヒマス

○吉武政府委員 今厚生大臣ノ御
答辯ノアリマシタ以外ノコトニ付
キマシテ、私カラ簡單ニ申上ゲマ
ス、總則ニ色々規定ガアルガ、是
ハ後ノ條文ヲ見レバ分ルカラ要ラ
ヌデヤナイカト云フ御趣旨デアリ
マスガ、實ハ此ノ總則ハ非常ニ大
事ナ事項デゴザイマシテ、ナケレ
バナクテ済マヌデモアリマセヌケ
レドモ、特ニ此ノ法律ノ趣旨トス
ル、詰リ爭議ハ兩當事者ガ自主的
ニ誠意ヲ以テ解決スルノヲ本旨ト
スル、政府ハ徒ニ干渉スルノデナ
クシテ、其ノ双方ニ援助ヲ與ヘル
ト云フコトガ最モ大事ナ所ナノデ
ゴザイマスノデ、是ハヤハリ必要
ダト存ジテ居リマス

ソレカラ第九條ニ、爭議行爲ガ
發生シタ時ハ届出ノ義務ガ規定シ
テアリマスガ、是ハ不闡明デハナ
イカト云フ御尋ネデゴザイマス、
是ハ先日赤松委員カラモ御話ガゴ
ザイマシタノデ御答辯申上ゲタノ
デアリマスルガ、此ノ届出ニ付キ
マシテハ特ニ「爭議行爲ガ發生シ
たとき」ト云フ風ニ、實ハ明瞭ニ
シテアルノデアリマス、其ノ爭議
行爲トハドンナモノカト言ヘバ、
前ノ第七條デ、此ノ法律ニ於テ爭
議行爲トハ是レノヲ言フ、斯ウ
言ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマ
シテ是デ明カダト存ジテ居リマス
○磯田委員 大體與ヘラレタ時間
ガモウ既ニ過ギマシタノデ、一ツ

一ツニ付テ又御尋ネスルコトヲ省略致シマシテ、次ノ機會ニ譲リマス、唯只今御答辯載キマシタ厚生大臣ノ御話ノ中ニ、此ノ法案ハ自然ノ成行キト申シマス、サウ云フヤウナコトヲ必要ガアルカラ作ルンダト云フヤウナ御話ノヤウニ承リマシタ、自然ノ成行キデアリマスレバ日本ノ勞働組合運動ハ現在多少幼稚サハアリマスクレドモ、一步進ンデ何ガ故ニ官公吏ニ對シマスル爭議權ト云フモノヲ認メナイノデアルカ、爭議ト爭議權ノ違フコトハ勿論デアリマシテ、サウシタコトヲ法案ノ中ニ入レテ置イテモ、先程申上ゲマスルヤウニ、三百萬ノ官公吏ガ必ズ爭議ヲ起シテ公安ヲ害スルコト云フヤウナコトヲ度々ヤルトハ考ヘラレマセヌシ、又サウ云フコトヲヤル危險ガアルカラ、ソレヲ入レテ置カナインダト云フコトハ、三百萬ノ官公吏ニ對スル不信任デアルト思フノデアリマス、現ニ全國官公職員勞働組合協議會ノ傘下ノ多數ノ團體ガ眞劍ニ此ノ問題ニ付テ反對シテ居リマスルコトハ、要スルニ爭議シシタイカラデハナクシテ、外ノ者ト同等ノ立場ヲ認メロト云フダケノコトデアルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ官公吏ノ爭議行為ヲ禁止スルコト云フコトニ付キマシテハ、今一應再考ノ必要ガアルノデハナイカ、殊ニ只今マデ私等ノ聞イタ所ニ依リマスレバ、

此ノ問題ハ洵ニ危機ニ直面シテ居リマス、先程大臣ハ「ゼネスト」ノ起ラスコトヲ希望スルコト云フコトヲ申サレテ居リマシタガ、或ハサウ云フ結果ニナルノデハナイカト云フコトヲ私等ハ非常ニ惧レテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ尙ホ再考スル必要ガアルト思ヒマスルノデ、特ニ一言致シテ置キマス

尙ホ自由勞働者ト申シマスガ、其ノ點ニ付テ厚生大臣ト私ノ考ヘ方ガ一寸喰違ヒガアルヤウニ考ヘマスガ、私ノ申シマスルノハ、現在地方カラ澤山東京邊リニ、東京ハ食糧事情ガ困ルト云フニモ拘ラズ、ドン／＼入ツテ來ル、而モソレ等ノ者ガ東京デハ食ヘナイ食ヘナイト云ヒナガラ、東京ニ入り込ンデ來ル、サウ云フ者ハ結局ブラブラシテ遊ンデ居ルト云フヤウナ者ガ非常ニ多クナツテ居ルデヤナイカ、サウ云フヤウナ者ニ對スル取扱方ヲドウスルカ、詰リ先程大臣ノ仰シヤツタ浮動ノ勞働者ト云フヤウナ者ヨリ一寸體裁ノ宜イ高失業者ト申シマスガ、サウ云フヤウナ者ガ非常ニ殖エルノデハナイカ、サウ云フ者ヲドウ云フ風ニ是カラノ生産部面ニ當嵌メテ行クカト云フコトノ大方針ヲ承リタカツタノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテ今一應大臣ノ御考ヘヲ承リタイト思ヒマス

一ノ點ニ付テ申上ゲマスガ、私ノ言葉ノ中ニ自然ノ成行ト申シタヤウニ御尋ネデアリマシタ、サウ云フ言葉ヲ使ツタトスレバ、ドウ云フ所ニ人レテ使ツタカ覺エマセヌガ、此ノ法律ハ唯自然ノ成行デ出來タノデハアリマセヌ、私ノ申シタノハ、御尋ネノ趣旨ガ今軍需補償ヲ打切ルト同時ニ色々ナモノガ起キルカラ、ソレデ此ノ法律ヲ慌テ、出スノデハナイカ、或ハ外國ノ資本ガ人ツテ來ル、其ノコトニ對スル特別ノ意圖ヲ以テ斯ウスルノデハナイカト云フ御尋ネデアリマシタカラ、サウ云フ意味デハナイノダ、是ハ出來ベキ法律トシテ出來テ來ルノダト申シタ言葉ノ綾ダト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス、隨テ是ハ前ニ勞働組合法ガ出來マシタ、勞働組合法ガ出來ルトソレニ伴フ問題トシテ、調停トカ仲裁トカ云フコトヲ書カヌトイカヌノダ、ソレカラ「ストライキ」モ野放シニシテハ、國民全體困ルコトガアルカラ、ソコデ「ストライキ」ヲ公共ノ福祉ノ關係カラ或ル程度ノ制限ヲシナケレバナラヌノダ、斯ウ云フ必要ガ勞働組合法ノ時ニ既ニ出テ居ル譯デアツテ、ソレヲ別ノ立法デヤツタト云フ譯デアリマス、ソレカラモウ一ツノ法律ハ少シ手間ガ掛ルカラ、是ハ次ノ議會ニ保護法ヲ出サウト云フコトヲ私ハ申シタノデ、今ノ特定ノ問題ニ對シテ慌テ、居ルトカ、

或ハ特別ノ意思ヲ持ツタヤツタト云フコトテナイト云フコトノ説明ニ申上ゲタ言葉デアリマシテ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ官吏ノ爭議權ニ付テ重ネテ御尋ネデアリマシタガ、是ハ私モ少數ノ官吏ガ國家全體ノ國務ノ運行ヲ妨ゲルヤウナコトヲヤツテハ大變ダト云フコトヲ吳レ／＼モ申シテ居リマシテ、サウ云フ「ゼネスト」ナドノ起キナイコトヲ勿論期待シ希望シ、又其ノ考ヘデ居リマスクレドモ、只今御指摘ノヤウニ、或ハ「ゼネスト」ナドノ結果ニナルカモ知レナイト云フ御心配ノヤウデアリマシタガ、サウ云フコトニナツテハ大變ダカラ、萬一ノ場合——今ノ官吏ガドウト云フノデハアリマセヌ、今ノ官吏ハ絕對ニサウ云フコトハナイト思ヒマスガ、ドウ云フ時代ニ、ドウ云フコトデ斯ウ云フコトニナラヌトモ限リマセヌカラ、少數者ノ爲ニ國民全體ヲ動カシテハ困ルノダト云フコトハ、ヤハリ公益擁護ノ立場カラドウシテモ考ヘナケレバナラヌト云フ信念デゴザイマス

ソレカラ最後ニ地方カラ出テ來ル者——是ハ先程御斷リシマシタヤウニ、一寸御言葉ノ初メノ部分ヲ聴取リニタカツタモノデスカラ、ソレデ私ハ「インテリ」ノコトデモ、或ハ浮動勞働者ノコトデモ御聽キカト思ツテ、其ノ前提ノ

下ニ御話シタノデスガ、只今ノモ話デハ御趣旨ハ能ク分リマシタ、是ハ只今異動ヲ止メテ居リマシテ、サウ大キナ者ハ東京其ノ他ノ大都市ニ流レテ來テ居リマセヌ、併シナガラ多少ハアリマセウ、多少アレバ、ソレハ「フロート」シテ居ル勞働者ナリ、或ハ「インテリ」勞働者トシテ、ソレニ對シテ先程申シタヤウナコトヲ考ヘテ居ル、サウ云フ施設ヲヤル積リデ、現ニヤツテ居ルト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス

○磯田委員 今一言、只今大分官公吏ノ問題ニ付テ御心配ナサツテ御話デアリマス、尙ホ只今ノ御話ノ中ニ將來ノコトヲ考ヘテ云々ト申サレテ居リマスガ、私ハ現在ノ問題トシテ、何ヨリ先ニ之ヲ解決スルコト云フコトニ付テ、若シサウ云フ結果ガ起ツタ場合ニ、政府ハドウスルカト云フコトニ付テノ大臣ノ信念ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○河合國務大臣 勿論現在ノコトモ含メテ考ヘテ居リマスガ、私共ハ日本ノ官吏諸君ハ、決シテサウ云フ無謀ナコトハオヤリデナイト云フコトヲ確信シテ居ル次第デアリマス

○磯田委員 尙ホ御尋ネ申上ゲタイコトガアリマスガ、時間ガ既ニ超過致シマシタノデ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○達澤委員長 ソレデハコ、デ暫

時休憩致シマス、本日ハ午後一時
半カラ繼續致シマス

午後零時休憩

午後一時四十分開議

○逋澤委員長 午前ニ引續キ開會

致シマス——辻井民之助君

○辻井委員 司法大臣ニ對シテ簡

單ニ一、二ノ點ニ付テ御尋ネシタ

イト思ヒマス、勞働組合法ニ依リ

マシテ「警察官吏、消防職員、監

獄において勤務する者その他國又

は公共團體の現業以外の行政又は

司法の事務に従事する官吏その他

の者は、爭議行為をなすことはで

きない。」ト、勞働組合法ニ依ツテ

團結權ヲ奪ハレ、更ニ勞働關係

調整法ニ依リマシテ司法省關係ト

シマシテハ監獄ニ於テ勤務スル者

竝ニ司法事務ニ従事スル官吏其ノ

他ノ者ハ罷業權モ奪ハレテ居ル譯

デアリマス、所ガ今日マデノ實情

ヲ見マスルト、御承知ノヤウニ終

戰以來「インフレ」ハ急激ニ昂進

シテ參リマシテ、生活費ハ實ニ暴

騰ニ暴騰ヲ續ケテ參リマシタ、斯

ウシテ勞働者或ハ官公吏ヲ含ム是

等ノ勤勞階級ハ全ク生活ノ「バラ

ンス」ヲ失ヒマシテ、生活ノ危機

ニ襲ハレタ譯デアリマス、所ガ其

ノ後組合ノ自由ガ認メラレテ各勞

働者ハ勞働組合ヲ作ツテ猛烈ニ賃

金ノ引上ガヲ要求シタ結果ドウニ

カ「インフレ」ニ追付キツ、アル

狀態デアリマス、今日マデ司法省

關係デハ監獄ニ勤務スル者、或ハ
行政官吏ト云ツタ立場ニアリマス
人々ハ、特ニ上層部ニ居ル人達ハ
所謂武士ハ食ハネド高揚デ、食
ヘナイカラ俸給ヲ上げト云フヤ
ウナ要求ヲスルコトハ何カサモシ
イヤウナ考ヘテ持マシテ、マダ
斯ウ云フ封建的ナ觀念カラ拔ケ切
ラズシテ正當ナ權利サヘ主張シ得
ナイ、其ノ結果是等ノ立場ニアル
人々ノ俸給ガ最低イ狀態ニ放置
サレテ居ツタコトハ司法大臣モ十
分ニ御承知ノ所ト思ヒマス、最近
ニ至ツテ漸ク一般ノ官公吏ノ俸給
ガ稍々上ツタノデアリマスガ、現
在ノ「インフレ」ハマダサウ簡單
ニ解消サレサウニナイ、生活費ノ
騰貴ハマダ相當續クモノト考ヘナ
ケレバナラス、サウシタ場合ニ初
メニ申上ゲタヤウニ今日マデ組合
ヲ作ツテ要求ヲスル、爭議ヲヤル
カ、爭議ノ一歩手前マデ行カナケ
レバ賃金ガ上ラナカツタ、此ノ實
情ヨリ致シマスナラバ勞働組合モ
作り得ナイ、爭議行為モ禁壓セラ
レテ居ルト云フコトデハ、今後豫
想セラレル物價ノ騰貴ニ對シテ到
底最低ニ生活ヲ保障サレルト云フ
コトハ不可能デアルト思ヒマス、
之ニ對シテ今日マデ此ノ法案ハ
決シテ勞働者ヲ抑ヘルモノデハナ
イ、資本家或ハ雇主、使用主側ヲ
益スルモノデハナイト云フコトヲ
厚生大臣初メ其ノ他ノ大臣カラ繰
返シ御述ベニナツテ居タノデアリ

マスガ、目的ハ或ハサウカモ知レ
ナイ、決シテ勞働者ヲ抑ヘ或ハ資
本家其ノ他使用主ヲ益スル目的デ
ハナイカモ知レナイガ、結果ニ於
テハ組合モ作レナイ、爭議行為モ
抑ヘラレルト云フコトニナレバ、
明カニ今日マデノ事實ガ示シテ居
ルヤウニ、幾ラ生活費ガ昂騰シテ
モ到底ソレニ伴フ俸給ノ値上げヲ
得ルコトガ出來ナイノデアリマ
ス、斯ウ云フ點ニ付テ司法大臣ハ
如何ニ御考ヘニナツテ居ルカ、一
應承リタイト思ヒマス

○木村國務大臣 只今ノ御質問ニ
御答ヘ致シマス、要スルニ御質問
ノ趣旨ハ司法事務ニ従事スル者及
ビ監獄ニ勤務スル者ガ、自己ノ生
活擁護ノ爲ニ、或ハ組合ヲ組織シ
或ハ爭議行為ヲナスコトヲ禁ゼラ
レルコトハドウカト云フ御質問ノ
ヤウニ拜察スルノデアリマス、ソ
コデ申上ゲタイノハ、御承知ノ通
リ司法事務ニ従事スル者ノ性質デ
アリマス、此ノ司法事務ニ従事ス
ル者ト云フハ所謂裁判官、檢察
官及ビ之ニ附隨スル書記等ノ事
務ニ従事スルモノデアリマス、是
等ノ人ハドウ云フコトヲヤツテ居
ルカ、其ノ事務ノ本質、之ヲ十分
ニ御諒解得タイノデアリマス、
要ハ一般ニ申シテ司法官ハ國家ノ
正義ヲ擁護スル任務ヲ帯ビテ居
ル、不肖私其ノ當局ノ一人トシテ
事務ニ携ツテ居ルノデアリマス
ガ、此ノ司法ノ公正ナ事務ガ一角

崩レルト、恐ラク國家ノ社會秩序
ハ根本的ニ崩レデアラウ、是ハ
國家ニ取ツテ由々シイ大事デアリ
マス、此ノ一角ハドウシテモ確保
シテ行カナケレバナラス、生命ヲ
賭シテモ國家ノ正義昂揚維持ノ爲
ニ守ツテ行カナケレバナラス信念
ヲ持ツテ居リマス、是等ノ人ガ假
リニ自分ノ生活擁護ノ爲ニ、或ハ
罷業權ヲ行使スルト云フコトニナ
リマシタナラバドウナリマセウ
カ、司法檢察事務ハ一朝ニシテ停
止スルノデアリマス、國家ハドウ
ナリマスガ、所謂多數ノ被告人ノ
審理モ止マツテシマヒマセウ、多
數ノ犯罪人ヲ取調ベルコトモ出來
ナクナリマセウ、國家ハドウナリ
マセウ、此ノ一點ヲ御考ヘ願ヒタ
イ、故ニ此ノ司法ノ公正ヲ維持ス
ベキ司法事務ニ従事スル者ハ氣ノ
毒ナガラ爭議行為ヲヤツテ貫ツテ
ハイケナイト云フコトガ、此ノ規
定ノ本質デアリマス、又監獄ノ事
務ニ従事シテ居ル者モサウデアリ
マス、御承知ノ通り、皆樣或ハ御
分リニナラス方モイラツシヤイマ
セウガ、監獄ハ一角ノ牢城ヲナシ
テ居リマス、此ノ中ニ多數ノ囚人
ヲ扱ツテ居リマス、此ノ人達ノ改
過遷善ニ従事スル此ノ人達ガ、若
シモ罷業ヲシタ時ニハドウナリマ
セウ、是ハ國家ニ大キナ影響ヲ及
ボスノデアリマス、隨テ此ノ人達
ニハドウシテモ罷業行為ヲシテ貫
ツテハ困ル、是ハ國家ノ要請デア

ルト私ハ考ヘマス、故ニ此ノ調整
法ニ於テハ、此ノ人達ノ罷業行為
ハ出來ナイゾト云フ明カナ規定ヲ
設ケタ所以デアリマス、然ラバ今
御質問ノ要旨ニ入ルノデアリマス
ガ、此ノ人々ノ生活ハドウスルノ
カ、組合ヲ結成スルコトハ、司法
官ハ組合ヲ結成スルコトハ出來マ
スガ、罷業行為ハ出來ナイ、ドウ
スルカ、御尤モデアリマス、私モ
司法官及ビ監獄ニ勤務スル人々ノ
生活ハ何處マデモ擁護シナケレバ
ナラスト云フ責任ヲ帶ビテ居リマ
スガ、不幸ニシテ只今ノ所、是等
ノ人々ニ對スル待遇ト云フモノハ
極メテ惡イコトハ御承知ノ通りデ
アリマス、私ハ何トカシテ此ノ人
達ノ生活ノ向上ヲ圖リタイト云フ
氣持ニ充チ滿チテ居ルコトヲ茲ニ
確言致シマス、然ラバ從來此ノ人
達ノ一般的ノ取扱ヒハドウデアツ
タカト云フコトニナリマス、甚
ダ中譯アリマセウ、併シ今度ノ新
憲法案ガ實施サレマスルト、御
承知ノ通り裁判官ノ地位ト云フモ
ノハ、非常ニ向上サレルト同時
ニ、適當ナ報酬ヲ支拂フベキコト
ヲ憲法ノ明文ニ於テ之ヲ規定サレ
テ居リマス、他ノ行政官ニ付テハ
左様ナ規定ハアリマセウ、裁判官
ニ付テノミ左様ナ規定ヲ憲法ニ設
ケラレテアリマス、是ガ私ノ申上
ゲル司法官ノ地位ト云フコトニ願
ミテ、憲法ニ於テ特ニ斯様ナ規定
ヲ設ケラレタト存ズルノデアリマ

ス、カルガ故ニ新憲法實施ノ曉ニ當リマシテハ、幸ヒニシテ此ノ裁判官ニ對スル生活ノ保障ト云フモノハ十分ニサレルト云フコトヲ確信シテ疑ハナイノデアリマス、併シナガラ裁判官以外ノ檢察當局ニ從事スル者、其ノ他ノ職員ニ付テハ何等ノ規定ハアリマセヌカラ、ソレニ付テハ我々ハ出來ルダケノ考慮ヲ拂ハナクテハナラヌノデアリマス、現狀ニ於テ申上ゲマス、監獄ニ勤務シテ居ル人達ノ生活デアリマスガ、是ハ殘念ナガラ餘リ良クアリマセヌ、警察官吏ト比較致シマシテ、三人家族ノ者ヲ標準ニシテ見マス、約二十圓ノ差ガアルノデアリマス、一方ニ於テハ——詳シイ數字ハ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、警察官吏ニ付テハ一月五百四十圓バカリデアリマスガ、監獄ニ勤務スル者ハ五百二十圓バカリデ、二十圓位ノ差ハアリマス、是モ最近ニ大藏當局ニ折衝致シマシテ、此ノ生活ノ向上ト云フコトヲ我々ハ圖リツ、アルノデアリマス、司法官ニ付キマシテハ、只今ノ所一般行政官ニ比較致シマス、御承知デモアリマセウガ非常ニ司法官ハ出世方遅イノデアリマス、一例ヲ取ツテ申上ゲマス、昭和三年、四年ニ大學ヲ卒業シタ人デモウ知事ニナツテ居ル人ガ澤山アルノデアリマス、然ルニ一方ニ於テ司法官吏トシテハ勅任官ニナツテ居ル者

ハ——今ノ一級官デスガ、ソレニナツテ居ル人ハ極メテ寥々タルモノデアリマス、是ハ殆ド其ノ平衡ガ取レナイノデアリマス、俸給制度ハ變リハナイノデスガ、所謂出世ノ度合ガ非常ニ違ツテ來テ居ル、ソレガ平衡ガ取レナイト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、ソレ等ノ點カラ顧ミマス、司法官ノ一般ノ俸給ノ改善ト云フコトハ是非トモヤラナクテハナラナイト云フ氣持ヲ私ハ持ツテ居リマス、不肖私ハ司法當局ノ一人ト致シマシテ、十分ニ其ノ點ニ付テ考慮致シマシテ、司法官、監獄ニ勤メテ居ル人達ノ生活ノ擁護ニ、將來十分ノ努力ヲ圖ツテ行キタイト存ジマス、左様御承知願ヒマス

○辻井委員 只今司法大臣カラ部下ノ生活ノ保障ノ爲ニ飽クマデ誠意ヲ以テヤルト云フ熱意ヲバ披露セラレタノデアリマスケレドモ、是マデノ司法大臣ト雖モヤハリ部下ニ對シテハ同様ナ頭ヲ以テ臨マレテ居ツタト考ヘマス、然ルニ事實今日マデ是等ノ立場ニアル人ノ待遇ガ悪ク、俸給、給料ガ低カッタコトハ、是ハ爭ハレヌ事實デアリマス、ソレデ今後モ先ニ申上ゲタヤウニ、恐ラク尙ホ生活必需品價ハ昂騰スルト考ヘラレルノデアリマスガ、將來ニ對スルハツキリシタ安心ノ出來ル保障ヲ——勞働組合ヲ作ツテハイケナイ、爭議行爲ヲヤツテハイケナイト云フコト

デアリマスナラバ、ソレニ代ル——唯大臣ヲ信頼ヲシ、上ヲバ信頼ヲシテ天降リニヤツテ貰フノ頼ルノデハナクシテ、民主主義ノ今日デアリマスカラ、十分ニ下ノ輿論ヲ反映セシメテ、例ヘバ一般ノ罷業ニ於キマシテハ經營協議會トカ生産協議會トカ云フヤウナモノモ出來テ居リマスノデスカラ、何等カノソレニ代ルヤウナ對策ヲ講ジテ貰ヒタイ、若シ間違ッタナラバ國家ノ重大事デアアル、大臣ガ生命ヲ賭シテモ此ノ一線ヲ護ラナケレバナラヌト申サレタコトハ分リマス、ソレ程大事ナ仕事ニ從事シテ居ル者ニ對シテ、唯大臣ノオ情、誠意ヲ信頼セヨト云フダケデハ、私ハ安心シテ其ノ職務ニ邁進スルコトハ困難デハナイイカト思フ、今申シタヤウニ今日マデ隨分ヒドイ待遇ニ置カレテ居リマシタ爲ニ、而モ良ク言ヘバサウ云フ重要ナ職責ニ就イテ居ルカラ待遇ノ改善ヲ要求スルコトハ穩カデナイ、愚ク言ヘバ封建的ナ武士ハ食ハネド高揚子デ、サウ云フコトヲロニスルコトヲバ恥ヂテ要求シナイ、其ノ爲ニ何時モ後廻シニナリマシテ、愚イ條件ニ置カレテ居ツタ、司法官ト雖モ腹ヲ食ツテ生キテ居ル譯ニ行カヌノデアリマスカラ、ヤツテ行ケナケレバ或ハ戰爭中ノ貯蓄ヲバ使ヒ果シテ、衣類ヤ大事ナ生活資料マデモ金ニ換ヘテ生活ヲ補フ、ソレデモ行ケナケレ

バ知ラズ識ラズ役得ヲヤルトカ、色々サモシイコトヲヤルヤウニナルノハ必然デアリマス、總テノ司法官ヲ君子ヲ以テ律スルコトハ出來ヌト思フ、先程モ大臣ノオ出デニナラヌ中ニ一度申シマシタガ、前ノ本會議決或ル裁判所ノ判事ガ囚人ニ配給サレテ居ル米ヲ食ツタト云フコトデ問題ガ起ツテ、田万君ハ取消ヲ致シマシタガ、其ノ後ノ調査ニ依レバ是ハ多少ノ間違ヒハアツタガ、囚人デハナイ、未決ノ監禁サレテ居ツタ者ノ配給ノ米デアツタヤウデアリマスガ、確カニソレヲバ外食券ナシデ食ツテ居ツタト云フ事實ガアル、大阪ニ於テハ終戦後間モナク砂糖ヲバ暖味ナ分配ヲヤツテ、何人カ處分ヲ受ケタ、私ハ之ヲバ決シテ唯追究スルノデハナイノデアリマス、小サイコトヲモ舉ゲマスナラバ、是ハ決シテ司法官ダケデハナイノデアリマシテ、警察官ニ於テモ司法官ニ於テモ隨分新シイ日本ノ建設途上ニ於テ、道義ノ上デ如何ハシイ行爲ヲバ相當見ルノデアリマス、私ハ唯ソレヲ徒ラニ咎メル譯ニ行カヌト思フ、其ノ由ツテ來ル所以ヲバ十分ニ見極メテ、サウシテ其ノ源ヲ斐除スルコトガ先決問題デアルト思フ、ア、云フコトガ暴露サレ、バ司法部ノ威信ニ係ハルトハ思ヒマス、併シサウカト申シテ臭イ物ニ蓋ヲシテ、益々病音官ニ入りマスナラバ、一層重大事デア

リマス、俸給ダケデバ決シテ食ツテ行ケナイ、待遇ガ特ニ劣惡デアルト云フコトデアアルナラバ斯様ナコトガ段々盛ンニナツテ行クノデアリマシテ、是ハ由々シイ問題デアルト思ヒマス、サウシテ役得ヲヤルカ、サウダナケレバ其ノ鬱憤ヲバ弱者ニ爆發セシマデ、所謂裁判所ハ最モ官僚的デアルト云フコトガ定評ニナツテ居ルガ、非常ニ一般國民ニ對シテモ不親切ニナリ、官僚的ニナルト云フ結果ヲ來シマシテ、國民モ亦其ノ爲ニドレダケ損害ヲ受ケルカ分ラヌノデアリマス、斯様ニ考ヘマスナラバ、唯大臣ガ十分ニ情ヲ持チ、熱意ヲ以テ常ニ待遇ヲ良クシテヤルト云フダケデハ私ハ決シテ安心ガ出來ナイ、何等カ下ノ輿論ト申シマスルカ、意思ト云フカ、ソレヲ十分ニ反映セシメテ、サウシテ不幸ニシテ物價ガ益々暴騰シテ參リマスルナラバ、常ニ之ニ伴ウタ所ノ改善ヲバ行フコトガ出來ルト云フヤウナ確乎タル對策ガナケレバナラヌ、サウ云フ對策モナクシテ、唯重大ナ國家ノ役目ヲ果シテ居ルノダカラ組合ヲ作ツテハイケナイ、爭議行爲ヲヤツテハイケナイデハ、私ハ決シテ行クモノデハナイト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ付テ何等カノ對策ヲ御持チニナツテ居ルカ、御考慮ニナツテ居ルカト云フ點ヲバ進ンデ御尋ネシタイノデアリマス

○木村國務大臣

御答へ致シマス、先づ對策ノ第一ト致シテハ、

是ハ全般ノ官吏ニ關スルコトデアリマスガ、官吏ノ俸給ニ對シテハ大幅ノ増額ト云フコトハ最近ニ行ハレルコトニナツテ居リマス、是ハ各省トモ連繫ヲ取ツテヤツテ居ルノデアリマス、是ハ一般官吏ノミナラズ、各役所ニ例イテ居リマスル從業員、例ヘバ鐵道省ニ例イテ居ル從業員、或ハ遞信省ニ例イテ居ル從業員ト云フ者ニマデ及ボシマシテ、全般ノ考慮ヲ拂ハレテ、近ク其ノ點ハ實現スルコトニナツテ居リマス

ソレカラ司法官ニ付テノ下カラノ聲ヲ聽イタラドウカ、御尤モナコトデアリマス、私ハ就任以來其ノ點ニ考慮ヲ拂ツテ居リマス、自ラ第一線ニ立ツテ、若イ人達ト膝ヲ交ヘテ、其ノ人達ノ希望ナリ意見ナリヲ聽クヤウニ努メテ居ルノデアリマス、又部下ノ下僚ニ對シマシテモ、努メテ下ノ輿論ヲ聽イテ、ソレヲ上ニ反映サセルヤウニシテ貫ヒタイト云フコトヲヤツテ居リマス、其ノ他具體的ノコトト致シマシテハ、現實ニ今大藏當局ニ交渉致シマシテ、何トカ此ノ危局ヲ切抜ケタイト云フ手段ヲ講ジテ居ルノデアリマス、ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス

○辻井委員 大臣カラ、十分ニ下情ヲ聽クヤウニ努メテ居ルト云フヤウナ御言葉ダケデアリマシテ、水戸黃門ガ漫遊シテ下情ヲ探ラ

レタノト變ラヌ、何等カノ機關ト

カ法規トカニ依ラズシテ、唯成ベク下々ノ聲ヲ聽クヤウニ努メルト云フヤウナ御答辯ダケシカ得ラレナカウコトハ、私ハ甚ダ遺憾トスルモノデアリマス、是程重大ナ國家ノ任務ニ從事シテ居ル者ニ對シテ、爭議モ組合モ禁止シテ居ル以上ハ、唯勝手ニ大臣ガ聽イテ歩クノデハナシニ、例ヘバ先刻申上ゲタヤウニ經營協議會ト云フヤウナモノガ既ニ手本ガ示サレテ居ルノデアリマスカラ、何等カサウ云フ具體的ナハツキリシタ機關ヲ御作リニナル必要ガアル、又サウ云フコトヲ御考ヘニナツテ居ルカト思ツテ御伺ヒシタノデアリマスガ、何等左様ナコトヲ御考ヘニナツテ居ラヌト云フコトデ、其ノ點甚ダ私ハ遺憾ニ堪ヘヌノデアリマスガ、是ハ單ニ司法部ダケニ限ツタコトデハナイノデ、一般ノ問題ニモ關聯致シマスカラ、司法大臣ニ對スル御質問ハ是デ打切りマシテ、厚生大臣或ハ大藏大臣カラ御答辯ヲ繼續シテ得タイト思ヒマス

○達澤委員長 ソレデハ通告順ニ依リマシテ、江崎眞澄君

○江崎委員 厚生大臣ニ御質問申上ゲマス、本法第一條ニ、勞働關係ノ公正ナ調整ヲ圖リ、勞働爭議ヲ豫防シ、又ハ解決シテ、即チ此ノ産業ノ平和ヲ維持シ、以テ經濟ノ興隆ニ寄與スルト云フ大目的ガ謳ツテアリマスルガ、敗戦後ノ經

濟界ノ混亂カラ此ノ産業ヲ再開セ

シメ、動モスレバ企業ノ資本家ヲ刺戟致シマシテ、此ノ資本家ヲ起チ上ラシメタト云フノガ、所謂勞働組合法制定ニ依リマスル勞働者ノ團結デアルトカ、其ノ賃銀値上デアルトカ云ツタ理由ノ爭議ガ大キナ原因ヲナシテ居ル、發展ニ貢獻シタ點ト云フコトモ私ハ見逃シ得ナイ點ダト思フノデアリマス、ソコデ今日此ノ勞働調整法ヲ出サレタノデアリマスルガ、厚生大臣ハ再三資本家ノ味方トシテノ法規デモナイ、勿論勞働者ノ味方トシテノ法規デモナイト頻リニ仰シヤルノデアリマスガ、勿論何レカノ味方デアアルヤウナ法規デアリマスタラバ、左様ナ法案ニ對シマシテハ、我々トシテモ審議ノ必要ヲ認メテ居ラナイノデアリマス、當然私ハ厚生大臣ノ言ハレル所ノ公益擁護ノ觀點ニ立ツ立法デアルコトヲ了解シテ居ルノデアリマス

○江崎委員 厚生大臣ニ御質問申上ゲマス、本法第一條ニ、勞働關係ノ公正ナ調整ヲ圖リ、勞働爭議ヲ豫防シ、又ハ解決シテ、即チ此ノ産業ノ平和ヲ維持シ、以テ經濟ノ興隆ニ寄與スルト云フ大目的ガ謳ツテアリマスルガ、敗戦後ノ經

シテ、此ノ生産「サボ」ニ對スル

嚴正ナリ制限ト申シマスルカ、規制ト申シマスルカ、此ノ輪郭ヲハツキリ承リタイト思ツテ居リマスルガ、本日ハ御都合デ來テ居ツテ戴ケマセヌ、併シナガラ勞働者ハ少クトモ本法案ガ通過シタ時ニハ「ゼネスト」ヲ以テ之ニ反對スルノダト云フヤウナ言葉ガアルトシマスル時ニ、此ノ法案ノ内容ヲ十分諒解スレバ恐ラク反對ハシナイ、サウ云フ厚生大臣ノ御話ニアリマシタ如クデハ、私ハ中々諒解ハ難シイト思ヒマス、ソコデ眞ニ厚生大臣ガ茲ニ此ノ法案ヲ何トシテデモ正シイ法案トシテ通サウト思ハレルノデアツタナラバ、先般赤松君モ指摘致シテ居リマシタガ、確カニ一部ノ産業資本家ガ怠業シテ居ル事實ハ見逃シ難イコトデゴザイマスガ、其ノ資本家ニ對シテ一體如何ナル構想ヲ持ツテ居ラレルノカ、少クトモ立法技術ノ上カラ見マシテモ、是ハ當然勞働保護法ガ同時ニ勞働保護法ガ事務ノ手續上不便デアルト云フコトデアリマシタナラバ、資本家「サボ」ニ對スル制約ダケハ少クトモ茲ニ一緒ニ提案サレル必要ガアツタノデヤナカラウカ、サウシテ非常ニ疑心暗鬼ヲ生ミ、而モ「ゼネスト」ヲ以テ應ズルノダト云フ、半バ脅迫的ナ一部ノ言葉ヲ聞クノデアリマスルガ、是等勞働者ノ前ニ惡德

資木家ニ對シテハ、此ノヤウナ制裁

ヲ加ヘ此ノヤウニ取締ルノダト云

フ、ハツキリシタ態度ヲ御示シナルコトガ私ハ先決問題デナカラウカト考ヘルノデアリマス、此ノ點厚生大臣ハ如何ニ御考ヘニナツテ居ラレマスルカ、丁度内務大臣モ御出席ニナリマシタカラ、此ノ一點ダケヲ先づ最初ニ御尋ネ致シマシテ、次ニ廻シタイト思ヒマス

○河合國務大臣 終戦後ニ於ケル勞働組合ノ發達ノ狀態、勞働問題ノ進ミ方ニ付キマシテハ、大體ニ於テ斯ウ云フ道行デアラウ、極ク大マカニ見マスルト、順調ナル進ミ方ヲ以テ來テ居ルノダラウト云フコトニ付キマシテハ私共モ同感デアリマシテ、確カニ勞働問題ニ對シマシテ、殊ニ個人ノ權利ヲ擁護スルト云フ面ニ於キマシテ、且又勞働者ノ生活ヲ保護スルト云フ面ニ於テ、相當ノ働キガアツタコトハ認メルモノデアリマス、併シナガラ一面ニ於キマシテハ爭議ノ頻發モアリマスルシ、又斯ウ云フ場合ニハ斯ウ云フ調整モアツテ欲シカウタ、調停ナリ、或ハ斡旋ナリ、或ハ仲裁ナリガアツテ欲シカウタト云フ希望モ多分ニ持ツ譯デアリマス、宜イ所ハ宜イガ惡イ所ハ成ベク避ケタイノガ政治ノ目標デアリマス、サウ云フ意味ニ於テ此ノ法律ガ一日モ早く成立スルコトヲ希望スル次第デモアリ、又一面ニ於キマシテ日常生活ガ脅威ニ曝サレルト云フコトガアツテハ、

是ハ國家全體ノ爲ニ不幸デアルカラ、サウ云フ意味ニ於テ公益事業ニ對スル拔打爭議ノ禁止等モ至急ニヤラナケレバナラヌト云フ意味ニ於テ此ノ法案ガ出來テ居ルノデアリマスルカラ、先ヅ其ノ問題ガ一番緊要デアルト云フコトガ重點ニナリマス、併シナガラ今御指摘ノ通りニ、此ノ法律ハ組合法カラ見マシテ勞働者側ヲ中心ニ考ヘテ居ル、是ハ疑ヒノナイコトデアリマシテ、大概爭議ニ關スル法律、勞働問題ニ對スル法律ハ、イツデモ勞働者側ノ規定ガ何處ノ國デモ大部分ニナル性質ヲ持ツテ居ルモノデアリマス、ソレハ結局勞働者ノ立法トシテ斯ウ云フ形ヲ、取ルノガ、先ヅ物ノ進ミ方ノ常態的ノモノデアルト私ハ思ヒマスルガ、併シナガラ御指摘ノ如ク惡質ナル資本家ノ生産サボノ如キハ是ハ許スベカラザル事情デアリマシテ、斯ウ云フモノニ對スル制裁ヲ作ルノハ是ハ勿論必要デアリマス、同じク此ノ議會ニ提案スルニ付テ前後關係ハアリマシタケレドモ、モウ追ツ掛ケ是ハ出ス積リデアリマスカラ、其ノ點ニ付テハ、恐ラク法律ノ實施ノ機會ニ付テハ同一ニナラウカト思フテ居リマス、唯多少殘念ニ思ヒマスノハ、今モ實ハ已ムヲ得ズ生産管理ヲツテ居ルト云フ實際ノ陳情ヲ承ツテ來タ所デアリマス、生産管理ニ對スル政府ノ方針ガ多少其ノ徹底ヲ缺イテ

ハツキリシナカウツタ點ガアリマシタガ、最近ハ御承知ノ通りハツキリ致シマシタ、ハツキリシナイ前ニ起キマシタ生産「サボ」ナドニ對シマシテ、ソレハ事實已ムヲ得ズシテ起キタモノカ、或ハ言葉ヲ換ヘマスト、生産者ガ生産ヲヤラヌト云フコト、或ハ工場ヲ閉鎖シタト云フコトガ、眞ニ生産者ノ「サボ」デアツタカ、又ハドウモ已ムヲ得ザル事情デアツタカ、又其ノ事業ガドウシテモ國家トシテ生産ヲ増強シナクテハナラヌ必要ガアツタカト云フヤウナ點ニ付キマシテ、具體的ニ色々決シニクイ點モアラウトハ思フテ居リマスルガ、只今承ハツタ事情デアルトスレバ、是ハ生産「サボ」ニ對スルハツキリシタ法律關係ガモツト早ク出來テ居レバ宜カウツタ云フ氣持ハ私十分持ツテ居リマス、是ハドウモ世ノ中ノ物ノ進ミ方ニ付テ、次々ニ起キテ來ル社會現象ニ對シテ法律ガ追從シテ行ク關係カラ多少ノ手違ヒ手遅レト云フコトハ已ムヲ得ヌコトトハ思ヒマスルガ、若シ生産「サボ」ニ對スル規律、法規ガ生産「管理」ト云フモノヲ否認スルト云フ前ニ出來テ居ツタ方ガ尙ホ宜カウツタ云フコトヲ率直ニ私ハ認メルノデアリマス、併シナガラ一面ニ於テ、生産管理ト云フモノヲ此ノ儘ニ放任スルトドウ云フ事態ニナルカモ知レヌト云フ緊急ナ必要ガアリマシタ

カラ、ソコデ政府ノ態度ヲ急ニ決定シテハツキリサシタト云フ點モアリマス、彼此レ晚ミ合ハセマシテ、最も早イ機會ニ於テ生産「サボ」ヲ禁止スルノガ適當ダト云フ意味ニ於テ今度法律ヲ出ス、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ドウ云フ法律ヲ作ルカト云フコトハ是ハ商工省バカリデハアリマセヌガ、主トシテ商工省ノ關係ニナリマスノデ、私トシマシテハ直接其ノ方面ノ關係ハ薄イ併シナガラ生産「サボ」ノ禁止ト云フ結果カラ來ルコトニ付キマシテハ重大ナ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ法律ノ内容ハ直グ一兩日、中ニ出ルト思ヒマス、唯ソレハ極ク概括的ニ生産命令ナリ或ハ經營ヲ委任スルコトヲ命ジ得ル概括的ノ規定デアリマシテ、又ソレハ生産「サボ」ダケヲ目標トシテ居リマセヌ、其ノ外ニ國家再建ノ爲ニ必要ナル生産面ニ對スル權限ヲ必要トシテ居リマスノデ、極ク概括的ノ法律ガ提案サレルコトト思ヒマス、併シナガラ具體的ノ生産「サボ」ト云フモノニ對シテ、ソレヲドウスルカト云フコトハ更ニ勅令ナリ其ノ他決マルコトト存ジテ居リマス、サウ云フコトニナルデアラウト想像シテ居リマス

○蓬澤委員長 大變御迷惑デスガ出來レバ内務大臣ニ對スル御質問ヲ願ヒマス

○江崎委員 只今ノ御答辯ニ對シテ尙又後刻御尋ネスルコトニ致シマシテ、内務大臣ノ態ミノ御出席ヲ得マシタカラ、先ニ内務大臣ニ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス

私ノ先ヅ第一ニ内務大臣ニ御尋ネ致シタイノハ官廳ノ半ドン制度デアリマス、此ノ半ドン制度ト云フコトヲ私新聞見マシタ時ニ、土曜日ダケ文字通り半日ダ、最近官廳ノ人達ノ待遇問題ガ世評ニ上ツテ居ル折柄、同時ニオ五ヒニ食糧問題ニ困難ヲ來シテ居リマスル上カラ、土曜日半日程度ナラバ、是ハ時代ノ流れトシテ一應許サルベキコトデハナイカト云フ風ニ感じテ居ツタノデアリマスルガ、圖ラズモ是ハ私ノ認識不足デゴザイマシテ、或ル日官廳ヲ訪ネマスト連日半ドンデ晝カラハ居ナイト云フコトヲ知ツテ、私ノ認識不足ヲ恥ヅルト同時ニ、非常ニ時節ニゾグハナイ奇異ノ感ニ打タレタノデアリマス、少クトモ今日敗レタ日本ノ狀況ヲ議會ヲ通ジ、又國民ノ日常生活ヲ通ジテお互ヒガ本當ニ沁々ト身ニ沁ミテ感じテ、其ノ敗戰感ニシツカリ足場ヲ据エテ起上ツテ行クコトガ要請セラレテ居ル譯デアリマス、ノミナラズ本委員會ニ於キマシテモ健全ナル産業ノ再開ト云フ前途ノ爲ニ、産業ノ平和ヲ維持シ以テ經濟ノ興隆ニ寄與スルト云フヤウナ大目的ヲ掲ゲテ勞働關係調整法ノ審議ヲシテ居ル

ノデアリマス、其ノ時ニ獨リ官廳ノミガ——勿論從業員ノ待遇問題トカ其ノ外改善シナケレバナラヌ點ハ認メマスガ、少クトモ戰前ニ於テモ徒ニ官僚ノミガ食ツタ所ノ最モ封建的ナ、而モ因襲的ナ此ノ制度ヲ何ガ故ニ今日復活スル必要ガアツタカ、少クトモ健全ナル勤勞意欲ヲ持ツテ居ル所ノ勞働者諸君ノ眞面目ナ氣持ヲ傷ツケルコト甚ダシイ制度ノ復活ダト思フテ居リマス、現在新聞ノ報ズル所ニ依レバ東鐵勞組員ノ三千名ハ直チニ此ノ半休ヲ返上シテ國鐵輸送ニ飽マデ敢闘スルノダト固イ決意ヲ誓ツタト云フコトデアリマスガ、少クトモ健全ナル勞働者ノ感じ方ニ於ケル限り、私ハ斯クノ如キモノデアルト同感ヲ久シウシテ居ル次第デアリマス、一體今日資本家「サボ」ト云フコトガ頻リニ言ハレテ居リマスガ、資本家「サボ」ガ所謂善良ナル勞働者ニ對スル壓迫デアルトシマシタナラバ、民衆ノ友デアアル、民主主義政治ノ最モ良キ相談相手デアアル官吏ガ、半日シカ、午前中シカ仕事ヲシナイト云フヤウナコトデアツタナラバ、是ハ民ニ對スル所謂官僚ノ官僚「サボ」デアアル、一體此ノ制度ヲ何處ト何處ニオヤリニナツタノデアリマセウカ、又如何ナル理由ヲ以テ現在ノ狀況ニソグハナイ制度ヲ復活サレタノデアリマセウカ、或ハ又格別ナ要求ガ從業員諸君カ

ラアツタノデアリマセウカ、其ノ
點ヲ御尋申上ゲタイト思ヒマス
○大村國務大臣 官廳ノ執務時間
ニ關スルコトハ、内務省ノ所管シ
テ居ル所デハゴザイマセヌノデ、
餘リビツタリシテ御答ヘハ出來ナ
イカト思ヒマスガ、私ノ所管シテ
居ル限リメ御答ヘ申上ゲマス、
御承知ノヤウニ官廳ノ執務時間ハ
内閣決メテ居ルコトデアリマ
ス、サウシテ戰時中ニ於キマシテ
ハ特別ノ勤務時間ヲ決メタノデア
リマスガ、終戦後ニナリマシテ、
戰前ノ狀態ニ總テノ點ガ復歸スル
ト云フ方針デ來テ居リマスカラ、
恐ラク官廳ノ執務時間ヲ戰時中ノ
特例カラ元ヘ戻スノモ其ノ線ニ沿
ウテノ措置ト云フヤウニモ考ヘテ
居ルデアリマス、而シテ官廳ノ
執務時間ハ暑中ニ於テ午前中ト云
フコトニナツテ居リマスガ、是ハ
現業廳ハ固ヨリ含ンデ居リマセ
ヌ、現場ヲ持ツテ居ル所ハ別ノ時
間ニナツテ居ルデアリマシテ、
内務省ノヤウニ地方ノ府縣廳、市
町村ヲ監督スルヤウナ純然タル官
廳事務ヲヤツテ居ル所ハ暑中ハ午
前中ニナツテ居リマス、是ハ事實
執務ノ實際カラ申シマシテ、暑中
ニナリマスト午前中デモ十分其ノ
官廳事務ハ捌ケテ居ルデアリマ
ス、ダラ／＼ト長ク居ルコトガ必
ズシモ宜イト考ヘテ居ナイノデア
リマス、午前中デ捌イデ、午後ハ
暑中デモゴザイマスノデ休養モサ

セ、或ハ又ソレ／＼ノ身軀ミ、修
養的ナコトモ致スト云フコトガ寧
ロ適切ダト考ヘテ居リマス、併シ
執務時間外ニ於キマシテモ民衆ニ
大ナル不便ヲ與ヘルコトハ洵ニ相
濟マスコトデアリマス、又今日ハ
進駐軍トノ關係モアリマシテ、先
方ノ方ノ執務時間トコチラトハ必
ズシモ一致シテ居リマセヌカラ、
是等ノ應待、受入態勢ハ内務省ニ
於テハ十分整ヘテ居ルコトデアリ
マシテ、内務省相談所ノ方ニ御出
掛ケ願ヒマスレバ、是ハ受付ノ所
ニ設置致シテ居リマス、其處デソ
レゾレ御不便ノナイヤウニ取計ラ
フコトニ致シテ居リマス、尙又内
務省管下ノ地方廳及ビ市町村役場
ニ付キマシテハ、是モ現場ノ所ハ
別ノ時間ヲ持ツテ居リマスガ、現
場デナイ所ニ於キマシテハ、内務
省デヤツテ居リマスト同ジヤウ
ニ、之ニ準ジタ方法ヲ講ジサセテ
居リマス、尙ホ市町村役場ニ付キ
マシテハ事情ガ餘程違ツテ居リマ
スノデ、官廳執務時間ヲ必ズシモ
勵行サセルト云フコトデナク、市
町村役場ハ其ノ實情ニ應ジテソレ
ゾレノ執務時間ヲ執ルヤウニ致シ
テ居リマス、其ノヤウナ次第デア
リマシテ、之ニ依リマシテ大ナル
不便ヲ一般ニ與ヘテ居ルト云フコ
トハナイモノト信ジテ居リマス
○江崎委員 何レ是ノ復活ヲサレ
マシタ直接ノ責任者ニ對シマシ
テ、今少シク私詳シク御尋ネシタ

イト思フノデアリマスルガ、尙ホ
餘リ實際上ノ執務ニハ影響ガ少ナ
カラウト云フ御答辯デアリマシタ
ガ、少クトモ是ガ地方廳ニ至リマ
シタ時ニハ、實際ノ執務ニ非常ニ
影響ガ多イ實例ハ數々アルト思ヒ
マス、一々此處ニ申上ゲナクテモ
私ハ御分リ戴ケルト思フノデアリ
マスガ、直接ノ責任者デナイト云
フコトデアリマスルカラ論點ヲ次
ニ進メルト致シマシテ、今日多數
ノ露店商人、要スルニ健全ナ勞働
者デアツタモノガ現在ノ待遇、現
在ノ狀況デハ飯ガ食ヘナイ、已ム
ヲ得ズシテ闇商人ニナリドツタ、
或ハ又露店商人トシテ細々ト生活
ヲシテ來タト云フ狀況ガ見ラレル
ノデアリマスルガ、之ニ對シマシ
テ七・一五禁止令ニ依ツテ大キナ
制限ヲ加ヘラレタ、之ニ關聯シマ
シテ丁度、半ドンノ問題デアリマ
スルガ、例ヘバ是等ノ多クノ人達
ガ留置ヲセラレタ、役所デハ半ド
ンデ、警察デハ取調ヲシナイ、斯
ウ云フヤウナ場合ニ於テ半日シカ
取調ヲシナイト云フヤウナコトガ
アルナラバ、是コソ最モ大キナ迷
惑デアリマス、少々ノ小商人ガ一
日ニ三人モ四人モ取調ベララレ
ルニモ拘ラズ、半日シカ取調ヲシ
ナイト云フヤウナ實情ガアリトシ
マシタナラバ、私ハ山々シイ大事
ダト思ヒマス、ソレコソ謂ハハ不
法留置トモ申スベキ事態デハナ
イカ、是ハ東京ノ話デハナク、サ

ル地方ノ警察署ノ話デアリマスル
ガ、ヤハリ此ノ經濟達反者ヲ警察
ニ留メテ居リマシテ、丁度午後二
時頃ニ地方ノ其ノ警察署長ガ「サ
イドカー」ヲ驅ツテ私用ニ飛ビ廻
ツテ居ツタ、而モ午後二時頃微醺
ヲ帶ビテ歸ツテ參ツタノデアリマ
ス、仕事ノアル時ニハ仕事ヲシテ
居ルト今内務大臣ノ御話デゴザイ
マシタガ、其ノ署長ノ如キハ醉眼
朦朧トシテ二時頃ニ署長室ニ歸ツ
テ來テ居ル、私ハ相對シテ、少ク
トモ今日微醺ヲ帶ビテ署長ガ居ラ
ツシヤルト云フノハ一體ヲカシイ
デヤアリマセヌカト言ツテ聽ク
ト、自分達ハ半ドンダ、晝カラハ
「サーヴィス」デ出テ居ルノダ、
今友人ノ家ヘ行ツテ酒ヲ飲ンデ來
タノダケレドモ、何方惡イト云フ
體タラクノ應答デアリマシタ、代
議士ノ私ニ對シテ左様ナ應答デア
ルト致シマシタナラバ、一般民衆
ニ對スル應答ガ如何ナルモノデア
ルカ、而モ又其ノ人ノ管轄下ニ取
調ヲ受ケテ居ル所ノ人達、俄カニ
拘留サレタ勞働者ヨリ轉落シタ人
達、或ハ小商人、闇商人、事ノ善惡
ハ別ト致シマシテ、是等ニ對スル
留置ガ不法ニ互リハシナイカ、若
シモ此ノ事實ニ付テ名前ヲ舉ゲヨ
ト仰シヤルナラバ、私ハソレヲハ
ツキリ申上ゲテモ宜シイ、斯カル
狀況デ、半ドン制度ガ仕事ガアル
場合ニハ實際ニ仕事ガナサレテ居
ルノダト仰シヤルノデアツタナラ

バ、私ハ大臣ノ認識ヲ疑フモノデ
アリマス、此ノ點如何ニ御考ヘニ
ナリマスカ、御答ヘヲ願ヒマス
○大村國務大臣 前ニ御答ヘヲ申
シマシタヤウニ、現場ハ官廳執務
時間ニ依ツテ居ル譯デハゴザイマ
セヌ、取調當局ニハ半ドンハ適用
シテ居リマセヌ、殊ニ人權ヲ尊重
シナケレバナラヌ時デアリマスカ
ラ、犯罪ヲ檢舉スル過程ニ於テノ
取調ヲ要スルヤウナ場合ニハ執務
時間ニ拘ラズ急速ニ取調ヲ進メマ
シテ、不必要ナル拘束ハ出來ルダ
ケ之ヲ避ケルト云フコトニ指導シ
テ居リマス、又事實取調當局ニ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ半ド
ンナシト云フコトデ進ンデ居ルノ
デアリマス、只今ノ事例ハ取調當
局ソレ自身ノ問題デハナイト思フ
ノデアリマスガ、其ノヤウナ措置
ハ妥當デナイト思ヒマスルガ、併
シソレニ依リマシテ取調當局ガ半
ドンヲヤツテ居ツタト云フ譯デモ
ナイノデアリマシテ、此ノ點御諒
承願ヒタイト思ヒマス

○江崎委員 序デニ御尋ネヲ致シ
テ置キマスガ、現在警察署長デ實
ニ涙ダマシイ模範的ナ人モ數々居
ルノデアリマスガ、斯カル惡德署
長ガ尙ホ地方ニアリ、而モ日中カ
ラ酒ヲ飲ンデ當然半ドンダカラ酒
ヲ飲ムノハ勝手ダト云フヤウナ言
辭ヲ弄スルニ至ツテハ不届モ甚ダ
シイト思ヒマス、問題ハ小サイ、
サリナガラ斯カル事態ガ往々ニシ

テ、或ハ又ソレ／＼ノ身軀ミ、修
養的ナコトモ致スト云フコトガ寧
ロ適切ダト考ヘテ居リマス、併シ
執務時間外ニ於キマシテモ民衆ニ
大ナル不便ヲ與ヘルコトハ洵ニ相
濟マスコトデアリマス、又今日ハ
進駐軍トノ關係モアリマシテ、先
方ノ方ノ執務時間トコチラトハ必
ズシモ一致シテ居リマセヌカラ、
是等ノ應待、受入態勢ハ内務省ニ
於テハ十分整ヘテ居ルコトデアリ
マシテ、内務省相談所ノ方ニ御出
掛ケ願ヒマスレバ、是ハ受付ノ所
ニ設置致シテ居リマス、其處デソ
レゾレ御不便ノナイヤウニ取計ラ
フコトニ致シテ居リマス、尙又内
務省管下ノ地方廳及ビ市町村役場
ニ付キマシテハ、是モ現場ノ所ハ
別ノ時間ヲ持ツテ居リマスガ、現
場デナイ所ニ於キマシテハ、内務
省デヤツテ居リマスト同ジヤウ
ニ、之ニ準ジタ方法ヲ講ジサセテ
居リマス、尙ホ市町村役場ニ付キ
マシテハ事情ガ餘程違ツテ居リマ
スノデ、官廳執務時間ヲ必ズシモ
勵行サセルト云フコトデナク、市
町村役場ハ其ノ實情ニ應ジテソレ
ゾレノ執務時間ヲ執ルヤウニ致シ
テ居リマス、其ノヤウナ次第デア
リマシテ、之ニ依リマシテ大ナル
不便ヲ一般ニ與ヘテ居ルト云フコ
トハナイモノト信ジテ居リマス
○江崎委員 何レ是ノ復活ヲサレ
マシタ直接ノ責任者ニ對シマシ
テ、今少シク私詳シク御尋ネシタ

ル地方ノ警察署ノ話デアリマスル
ガ、ヤハリ此ノ經濟達反者ヲ警察
ニ留メテ居リマシテ、丁度午後二
時頃ニ地方ノ其ノ警察署長ガ「サ
イドカー」ヲ驅ツテ私用ニ飛ビ廻
ツテ居ツタ、而モ午後二時頃微醺
ヲ帶ビテ歸ツテ參ツタノデアリマ
ス、仕事ノアル時ニハ仕事ヲシテ
居ルト今内務大臣ノ御話デゴザイ
マシタガ、其ノ署長ノ如キハ醉眼
朦朧トシテ二時頃ニ署長室ニ歸ツ
テ來テ居ル、私ハ相對シテ、少ク
トモ今日微醺ヲ帶ビテ署長ガ居ラ
ツシヤルト云フノハ一體ヲカシイ
デヤアリマセヌカト言ツテ聽ク
ト、自分達ハ半ドンダ、晝カラハ
「サーヴィス」デ出テ居ルノダ、
今友人ノ家ヘ行ツテ酒ヲ飲ンデ來
タノダケレドモ、何方惡イト云フ
體タラクノ應答デアリマシタ、代
議士ノ私ニ對シテ左様ナ應答デア
ルト致シマシタナラバ、一般民衆
ニ對スル應答ガ如何ナルモノデア
ルカ、而モ又其ノ人ノ管轄下ニ取
調ヲ受ケテ居ル所ノ人達、俄カニ
拘留サレタ勞働者ヨリ轉落シタ人
達、或ハ小商人、闇商人、事ノ善惡
ハ別ト致シマシテ、是等ニ對スル
留置ガ不法ニ互リハシナイカ、若
シモ此ノ事實ニ付テ名前ヲ舉ゲヨ
ト仰シヤルナラバ、私ハソレヲハ
ツキリ申上ゲテモ宜シイ、斯カル
狀況デ、半ドン制度ガ仕事ガアル
場合ニハ實際ニ仕事ガナサレテ居
ルノダト仰シヤルノデアツタナラ

バ、私ハ大臣ノ認識ヲ疑フモノデ
アリマス、此ノ點如何ニ御考ヘニ
ナリマスカ、御答ヘヲ願ヒマス
○大村國務大臣 前ニ御答ヘヲ申
シマシタヤウニ、現場ハ官廳執務
時間ニ依ツテ居ル譯デハゴザイマ
セヌ、取調當局ニハ半ドンハ適用
シテ居リマセヌ、殊ニ人權ヲ尊重
シナケレバナラヌ時デアリマスカ
ラ、犯罪ヲ檢舉スル過程ニ於テノ
取調ヲ要スルヤウナ場合ニハ執務
時間ニ拘ラズ急速ニ取調ヲ進メマ
シテ、不必要ナル拘束ハ出來ルダ
ケ之ヲ避ケルト云フコトニ指導シ
テ居リマス、又事實取調當局ニ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ半ド
ンナシト云フコトデ進ンデ居ルノ
デアリマス、只今ノ事例ハ取調當
局ソレ自身ノ問題デハナイト思フ
ノデアリマスガ、其ノヤウナ措置
ハ妥當デナイト思ヒマスルガ、併
シソレニ依リマシテ取調當局ガ半
ドンヲヤツテ居ツタト云フ譯デモ
ナイノデアリマシテ、此ノ點御諒
承願ヒタイト思ヒマス

○江崎委員 序デニ御尋ネヲ致シ
テ置キマスガ、現在警察署長デ實
ニ涙ダマシイ模範的ナ人モ數々居
ルノデアリマスガ、斯カル惡德署
長ガ尙ホ地方ニアリ、而モ日中カ
ラ酒ヲ飲ンデ當然半ドンダカラ酒
ヲ飲ムノハ勝手ダト云フヤウナ言
辭ヲ弄スルニ至ツテハ不届モ甚ダ
シイト思ヒマス、問題ハ小サイ、
サリナガラ斯カル事態ガ往々ニシ

テ地方ニハ尙且見掛ケラレルカラ
私ハ申上ゲタノデアリマス、其ノ
點大臣ハ一體何ト御考ヘニナリマ
スカ、無論警保局長ナドカラモ此
ノ間ニ對シテ御答辯ヲ得タイト思
ツタノデアリマスガ、左様ニ半ド
ンガ解釋サレテ居ルトシマシタナ
ラバ、其ノ半ドン自體ガ少クトモ
アナタノ御想像以上ニ弊害ノ伴ツ
テ居ルモノデアルト云フコトヲ一
體御認メニナリマセヌカドウカ御
尋ネシマス

○大村國務大臣 只今御述ベニナ
リマシタヤウナ事實ガ果シテアリ
トスレバ穩當デナイト思ヒマス、
此ノ點ハ私モハツキリ申上ゲマ
ス、尙ホ多數ノ職員ノ中ニ於キマ
シテハ時ニ不心得ナ者モゴザイマ
スノデ、其ノヤウナコトモアツタ
ノデアラウト思ヒマス、併シ大多
數ノ職員ハ能ク職員トシテノ職務
ヲ盡スノニ専念ヲ致シテ居ルモノ
ト私ハ信ジテ居ル次第デアリマス
○江崎委員 御答ヘニ對シマシテ
尙ホ詳細ニ御尋ネシタイノデアリ
マスガ、問題ガ問題デアリマスカ
ラ、サウ云フ惡德者ニ對シマシテ
ハ嚴重ニ處斷サレマスルヤウ要望
ヲ致シマシテ次ニ移リタイト思ヒ
マス

最近露店及ビ闇商人ノ取締リガ
俄カニ行ハレマシタ、是ハ關係筋
ノ注意モアリ、旁ミ從來アリマシ
タ禁制品ノ取締、價格ナドノ統制
令違反ト云フハツキリシタ名目モ

當然アツテノ上ノ御取締リデア
ルト云フコトニ了解スルニ咨カデハ
ゴザイマセヌ、サリナガラ丁度四
月ノ「マツカーサー」元帥ノ日本
占領ノ報告ニ見マシテモ、日本ニ
ハ非常ニ極端ナ闇ガ行ハレテ居ル
ト云フ瀟然タル事實ニ見マシテモ
又我々ガ銀座ヲ歩キマシテモ、又
ソレノ附近ヲ歩イテ見マ
シテモ、一トシテ闇ナラザルハナ
シ、我々ノ日常生活カラ闇ト云フ
モノヲ離シタナラバ、少クトモ生
活ハ成立タナイト云フヤウナ實情
ニアルト思ヒマス、之ヲ今回七・

一五ノ日ヲ區切ツテサウシテ嚴重
ニ處スルト云フ風ニ承ツテ居リマ
ス、又全部起訴ト云フコトデ、説
諭處分デアルトカ云フヤウナコト
ハ全然行ハナイト云フ風ニ承ツテ
居リマス、丁度十五日以前ハ其ノ
儘手放シニ放置ヲシテ置イテ、俄
カニ拔打ノニ取締リヲ行ツタ、決
シテ彼等闇商人、露店商人ト雖モ
好ンデ私ハ闇ヲ犯シテ居リ、禁制
品ヲ取扱ツテ居ツタノデハナイト
思ヒマス、働カントシテモ働キ得
ナイ、食ハントシテモ食フコトガ
出來ナイ、ソコデ何トカシテ漸ク
活路ヲ見出シタノガ其ノ途デアツ
タ、而モ一方ニ於テハ現在ノ中小
商業ノ立直リト云フ點カラ行キ
マシテモ、新圓封鎖ト云フコトヲ
シテ中小商業ノ息ノ根ノ詰マル
ヤウナコトヲシテシマツタ、ダカ
ラ封鎖支拂ト云フヤウナコトニハ

見向キモセズシテ、全部中小産業
界ト云フモノハ新圓獲得ノ爲ニ闇
物資ノ製造ニ暇ガナカツタ、斯カ
ル狀況下ニ於キマシテ、政府モ全
然手放シデ、凡ユル所ニ纖維製品
ガアリ、凡ユル所ニ禁制品ガ見ラ
レル狀況カラ俄カニ取締リヲ開始
シ、而モ嚴罰ニ處スル、斯カル狀
況下ニ罰則ヲ適用サレルト致シマ
シタナラバ、ソレコソ零細ナ貧乏
人、正直者ガヤハリ馬鹿ヲ見ルト
云フ結果ニナルノデハナカラウカ
ト云フコトヲ私ハ心配スルノデア
リマス、ナゼ一體七・一五ニシテ

モ、例ヘバ明日八月一日カラノ取
締リヲ一層嚴ニスルト云フガ如ク
ニ、事前ニハツキリト示シテ置イ
テ、政府ノ行届カナカツタ點ハ同
時ニ國民ノ自覺ヲ俟ツテ、一週間
ナリ十日間ノ間ニ處理ヲシ、其ノ
後惡德ヲ續ケル者ニ對シテハ嚴ニ
取締ルト云フヤウナ親心アリ、厚
意アル態度ヲ以テ臨マレナカツタ
ノデアリマセウカ、其ノ點御答辯
ヲ得タイト思ヒマス

○大村國務大臣 此ノ露店ノ取
締、闇ノ取締、禁制品ノ取締、是
ハ今日我が警察ノ直面シテ居リマ
ス實ニ扱ヒノ困難ナ、非常ナ重大
ナ問題デゴザイマス、御承知ノ如
ク終戦後色々理由カラ致シマシ
テ、國民ノ間ニ違法精神ガ極メテ
稀薄ニナツテ參リマシタ、是ハ必
ズシモ國民ガ虚脱狀態ニ陥ツテ、
國民ノミ愚イト云フ譯ニハ申セヌ

ト思フノデアリマス、是ハ終戦後
ノ食糧其ノ他ノ物資ノ極端ナル不
足、之ニ對スル政府、民間ニ於ケ
ル増産ガ思フヤウニ進ンデ參ラヌ
ト云フヤウナ社會事情、經濟事情
ガ其ノ原因ニナツテ居ル點ガ多大
デアリマシテ、其ノヤウナ所デ國
民ノ大部分ガ法令ナキガ如キ振舞
フスルト云フコトニナリマスル
ト、到底五萬ヤ十萬ノ警察ニ依リ
マシテ悉ク其ノ違反者ヲ取締ルト
云フヤウナコトハ、事實不可能ナ
コトデアリマシテ、之ニ對處致シ
マス方法トシマシテハ、大イニ生
産ヲ盛ンシ、或ハ食糧ノ如キハ
何等カノ方法デ國民ノ露命ヲ繋グ
ダケノ措置ハ執ル、サウ云フヤウ
ナ施策ガ宜シキヲ得マスレバ、ソ
コニ衣食足ツテ禮節ヲ知ルトモ申
シマス如ク、違法精神モ段々蘇
ツテ來ルト云フコトニ相成ルノデ
アリマシテ、警察力ノミニ依リマ
シテ此ノ困難ナ事態ヲ解決スルコ
トハ所詮困難デアラウト云フヤウ
ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、併
シ終戦後一時警察官モ國民ト同様
ニ虚脱狀態ニ陥ツタコトヲ否認ス
ル譯ニ參リマセヌ、又終戦前ノヤ
ウナ警察ノ態度デ終戦後ニ臨ムコ
トハ固ヨリ宜シクゴザイマセヌ、
ソコニ警察官ノ頭ノ切換ガ百八十
度行ハレナケレバナラヌ事態ニ遭
遇致シテ居リマス、其ノ變轉期ニ
於キマシテ、警察官ニ於テ警察力
ノ執行ノ限界ト云フヤウナ點ニ付

キマシテモハツキリシタ見當ガ付
カスト云フヤウナ事態モアツタノ
デアリマスルガ、段々時日ノ推移
ニ依リマシテ、又關係方面トノ十
分ナル諒解モ遂ゲラレマシテ、段
段ト警察官ハ確信ヲ持ツテ、此ノ
線マデハ職務ノ遂行ニ勇往邁進シ
テ宜シイト云フ所ガハツキリシテ
來ツ、アリマス、今日ニ於キマシ
テハ略々其ノ完成ノ域ニ達シテ居
リマス、今日直チニ十分ナル警察
力ヲ回復シタト云フコトバ申上ゲ
兼ネマスガ、コ、一、二箇月ノ後
ニ於キマシテハ、必ズ國民ノ信賴
ヲ贏チ得ルダケノ警察官ノ確信
アル行動ガ出來得ルコトニナルト信
ジテ居ル次第デアリマス

其ノヤウナ大體ノ概別デアリマ
スルガ、御尋ネノ露店ノ問題デア
リマス、固ヨリ露店ヲ出シテ居リ
マス側カラ申シマシテモ、經濟上
生活上已ムヲ得ズ其處ニ露店ヲ張
ツテ生計ヲ營ムト云フ者モ多分ニ
アルコトハ能ク承知致シテ居リマ
ス、ソレカラ尙ホ此ノヤウナ物資
ガ不足シテ居リマス時期ニ於キマ
シテ、需要家ノ方ニ於キマシテモ
露店ノ便益ヲ受ケル點モアルコト
デアリマス、商賣ガソコニ成立ツ
點ニ於キマシテハ、賣方方ニモ、
賣方方ニモヤハリ双方利益ノ
アル點ハ明瞭デアリマス、此ノ現
實モ無視スル譯ニハ到底行カナ
コトデゴザイマスルガ、併シ實際
問題ト致シマシテ、露店ガ廣ク今

ノ執行ノ限界ト云フヤウナ點ニ付

日ノ如ク行ハレ、サウシテソコニハ開行爲乃至經濟統制品ガドンドン姿ヲ現ハスト云フヤウナ、ソレ等ノ事態ハ或ハ「インフレ」ノ原因トナリ、或ハ又物資ガ正常「ルート」ニ依ツテ配給サレルコトヲ妨ゲル、ソレ等ガ國民生活及ビ産業ノ再建ニ支障ヲ及ボスト云フヤウナ點モ段々アルコトデアリマス、之ヲ行ク所マデ自由ニ放任シテ置クト云フ譯ニ參ラヌ點モアルノデアリマス、殊ニ錢ニ御指摘ニナリマシタ七月十五日ノ如キ措置ハ、露店ガ契機ニナリマシテ、帝都ノ眞中デ澁谷事件、新橋事件ト云フヤウナ、洵ニ憂慮スベキ騷擾事件ヲ起スニ至リマシタノデ、關係方面トモ連絡致シマシテ、是ハ涙ヲ揮ツテ馬糞ヲ斬ルト云フダケノ決心デ斷乎タル措置ニ出テ、ア、云フヤウナ騷擾ノ根ヲ刈ルヨリ外ナイト云フコトデ、アノ斷乎タル措置ヲ執ツタノデアリマシテ、是ハ治安ノ維持ノ上ニ於テ已ムヲ得ザル措置ダト考ヘテ居ル次第デアリマス

ソレカラ然ラバ今後ノ露店ヲドウスルカト云フコトデアリマスガ、此ノ東京ニ於キマシテハ澁谷、新橋事件ノ後、露店商ハ自發的ニ休業ヲ致シテ居ツタノデアリマス、現ニ尙ホ休業中デアリマスガ、是ガ再開ヲシテ——自發休業デアリマスノデ、イツマデモ休業ト云フコトニハ參ラナイ譯デアリマス、併シ澁谷事件デモアリマシタ如ク、又我々ノ方ノ調査ニ依リマシテ、今ノ如ク多數ノ露店ガ開カレテ居リマス、是ハ謂ハバ犯罪ノ温床ガソコニアルト云フヤウナ點ガアルノデアリマシテ、之ヲ其ノ儘放置シテ置キマスルコトハ、各種ノ經濟違反ノミナラズ、治安ノ維持ニモ影響ヲ及ボスヤウナ處ガ多分ニゴザイマスノデ、漸次露店ハ整理シテシマフト云フ方針デ進ミタイト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ之ヲ一時ニ全部整理スルト云フコトニ付キマシテモ、曩ニ申上ゲマシタヤウナ、一般市民ノ上ニモ不便モアルコトデアリマス、ソコデソレ等ノ點ヲ彼此レ考慮ヲ致シマシタ結果、禁制品ノ販賣ヲ先ヅ嚴重ニ取締ルト云フコトデ行キタイ、是ハ開打チデハ非常ニ迷惑ヲスル人ガアリマスカラ、警視廳當局ヲシテ、翌八月一日カラ斯ウ云フ方針デヤルト云フコトヲ公表致シマシテ、ソコニ知ラザルガ爲ニ無辜ノ民ヲ罪スルト云フヤウナコトノナイヤウニ措置ヲ致シテ居ル次第デアリマス、露店ヲ全部閉店サセルト云フコトニ致シマシテモ、露店外ニ於キマシテ、普通商店ニ於テ禁制品ガ販賣サレルト云フコトデハ非常ニ不公平ナコトニモナルコトデアリマスカラ、禁制品ノ取締ヲ強化スルト云フコトデ、先ヅ進ム積リデアリマス、恐ラクハ禁制品ノ取締強化ガ十分

ニ成功致シマスナラバ、露店ト云フヤウナ問題モ餘程相貌ヲ改メマシテ、現在ノ如キ犯罪ノ温床、治安ヲ紊ス原因ト云フヤウナ性格ハナクナルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス、而シテ是等ノ禁制品ノ取締ヲ強化致ス方針デゴザイマスガ、各位モ直チニ御想像下サル如ク、今日ノ警察力ハ全國ヲ通ジテ僅カニ八、九萬ノモノデアリマス、其ノ八、九萬ノ者ガ凡ニ禁制品ノ摘發ヲ、一ツモ殘サズ出來ルカト申シマス、現状ヲ以テ致シマシテ、物理的ニ是ハ不可能デアリマス、從ツテ之ヲヤリマス上ニ於キマシテハ、重點的ニ最モ惡質ナモノ、最モ放ツテ置ケナイモノカラ逐次手ヲ付ケルヨリ外事實上出來ナイコトデアリマス、是等ノ運籌ニ付キマシテハ、餘程旨ク計畫ヲシ、指導ヲシ、運行ヲ致サナケレバナナイコトハ勿論デゴザイマスガ、其ノヤウナ事態ニアリマスノデ、無辜ノ民ヲ悉ク罪スルト云フヤウナコトニハ實際問題トシテ進ム譯ハナイト存ジマス、惡質ナル者、最モイケンナイ者、最モ取締ヲ要スル者ト云フ者カラ逐次手ヲ強メテ行クト云フ方針デ居ル點ヲ御諒承願ヒタイト思フ次第デゴザイマス

○江崎委員 御答辯ニ依リマシテ、今後ノ露店商ノ在リ方ト云フ點モ、一應ハツキリシタノデアリマスガ、問題ハ前ノ七・一五ニ衣ツテ摘發ヲ受ケタ人、丁度警保局長モイラツシヤイマシタガ、今凡ニ摘發ト云フヤウナコトハ物理的ニ不可能ダト仰シヤツタノデアリマスガ、其ノ點我々ハ了解ヲ致シマス、所ガ然ラバサウ云フヤウナ狀況下ニ於テ、勿論我々モ闇ニ働クヤウナ者達ニ對スル憎シミト云フヤウナモノニ付テハ、實ニ限リナイ憎シミヲ覺エルノデアリマスルガ、併シ此ノ摘發スルコトガ不可能ナ狀況下ニ於テ、而モ放置シテアル狀況下ニ於テ、或ル者ハ捕マツタ、或ル者ハ闇ノ利潤ニ依ツテ何十萬ト云フヤウナ家ヲ建テタリ、豪奢ナ生活ヲシテ居ル此ノ不均衡ヲ憎ムノデアリマス、而モ七・一五ニ引掛カツタ者ハ嚴罰ニ處スル、説諭處分ヲ執ルト云フコトハナイト云フコトニナレバ、之ニ引掛カツタ者ノ多クハ少クトモ眞面目ナ勞働者カ、多數ノ家族ヲ擁シマシテ闇ノ苦シミニ苦シミ拔イタ其ノ結果、闇ノ恩恵ニ浴シテサウシテ此ノ闇ノ苦シミカラ逃レヨウト云フ方法ニ出デタ結果ガ、左様ナ事態ニ引掛カル、所謂運不運ノ岐レ目ガ大キク作用スルコトニナルノデハナイイカト思ヒマス、左様ナコトガ若シモ今日民主政治ト言ハレル此ノ時ニ於テモ、尙ホ平然ト行ハレルコトデアツタナラバ、不均衡モ甚ダシイ、而モ是レ程弱者者虐メハナイ、禁制品ガ一體何處カラ出タカト云フコトヲ芋

蔓式ニ大キク出ス、勿論又斯様ナコトハ實際問題トシテ不可能デアリマス、今度引掛カツタヤウナ零細ナ者ニハ、一應情狀斟酌トカ、或ハ説諭處分トカ、サウ云フコトガアツテ宜シイノデハナカラウカト言フコトヲ私ハ思フノデアリマス、此ノ點大臣及ビ警保局長ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ、若シ御急ギデアリマシタナラバ、要點ヲ內務大臣カラ御答辯ヲ戴キマシテ、爾後技術的ナモノハ詳細ニ局長カラ承リタイト思ヒマス

○大村國務大臣 七・一五ノ場合ニ於キマシテモ、是ハ實際ハ最モ惡質ト認メラレル者ヲ檢舉シタノデアリマシテ、實際説諭處分等ノ輕微ノ者ニ對シマシテハ、釋放シタ者モ多數ニアルノデアリマス、尙ホ是ハ一般大衆ニ對シテ警告ヲ致シマス爲ニ、新聞記事等ニ出マス所ト、實際ノ方トハ相當ソコニ距離ノアルコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス、唯何ニ致セ此ノ少數ノ警察官ヲ以テ、多數ノ取締ヲ致シテ居リマス其ノ間ニ於キマシテハ、不公平ノナイヤウニ出來ルダケノ措置ハ考ヘマスケレドモ、結果ニ於キマシテ總テノ點ヲ比較致シマシテ、何等ノ不公平モ必ズシモナイト云フヤウナコトモ實ハ有體ニ申シマシテ困難ナコトデアリマス、併シソレ等ノ點ハ檢舉處罰ヲスル上ニ於キマシテ、能ク其ノ點ヲ念頭ニ置キマシテ、不公平ノ

出來ルグケ起ラナイヤウニ、十分當務者ニ注意サセル積リデアリマス、尙ホ又御述ベニナリマシタ禁制品ノ出所等ヲ確カメマシテ、拔本塞源のニ取締ルコトハ、是ハ又我々トシテ、最も力ヲ入レナケレバナラスコトデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテモ、只今折角努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○江崎委員 正直な者が馬鹿ヲ見タリ、弱者が一層虐メラレルト云フ不都合ガナイヤウニ、願クバ今回ノ件ニ關スル限り、特ニ警察力ノ不十分ナルガ故ニ今日ノ無警察狀態ガ闊ノ跳梁ヲ來シタモノデアルト思ヒマシタナラバ、其ノ邊ニ對スル取締ニ付キマシテハ十分取締當局ニ於カレマシテモ、御考慮ヲ戴キタイト云フコトヲ、要望致スモノデアリマス、併シ成ル程新聞記事ト實際トハ違フト云フコトハ、中央ニ於テ威令ノ行ハレル所ニ於キマシテハ、實ニ能ク行届イテ居ルト思フデアリマス

ガ、一歩地方ニ出マスト、先程申上ガタヤウナ不逞ナ署長ガアルト同様ニ、既ニ地方ノ警察署ニ於テタツタ三萬圓ノ取引ニ付テ其ノ取引ヲシタ本人ヲ一箇月間、今月ノ二日ヲラ昨日ニ至ルマデ留置シタ、或ハ又其ノ關係者三名ヲ十日間ニ互ツテ留置シタト云フヤウナ、洵ニ人権蹂躪トモ言フベキ不法ナ留置ガ行ハレテ居ル、而モ其ノ間取締ガ十分期サレテ居ナカツ

タ爲ニサウ云フ結果ガアルト致シマスナラバ、尙ホ現在地方警察ニ於テ一假何處マデ取締ツタ宜イカ、ドウ云フ風ニ今度ノ措置ヲ履行シテ行ツタ宜イカト云フ地方警察ノ悩ミニ對シマシテ、十分ナル御連絡ト御指揮ヲ得タイト思ヒマス、以上要望ヲ申上ゲマシテ私ノ内務大臣ニ對スル質問ヲ打切りマス

○達澤委員長 磯田君ニ御諮リ致シマス、内務大臣ニ對スル質問、短時間デアリマシタ此ノ際許シタイト思ヒマスガ、

○磯田委員 二、三分デス、簡單ニ御伺ヒシマス、先程勞働關係法案ノ私ノ質疑ノ際ニ、厚生大臣ト内務大臣ニ特ニ兩方ノ御考ヘテ承リタカツタデアリマスガ、丁度オ見エニナリテ居リマセズデ只今オ見エニナリマシタノデ、點ダケ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス、此ノ勞働關係法案ガ通過致シマス、全國ノ官公吏ハ「ゼネスト」ヲ敢行スルデアラウト云フヤウナコトヲ一部カラ聞イテ居リマス、尙又全ク此ノ問題ハ重大ナル問題デアリマシテ、爭議權ヲ官公吏ノミニ認メナイト云フコトニ付キマシテハ、全ク是ハ恐ルベキ結果ヲ來スヤウナコトニナリハシナイカト云フコトヲ憂フル者デアリマス、之ニ付キマシテ先程厚生大臣ハサウシタコトノ起ラナイコトヲ希望スル、又全國ノ官公吏「ゼ

ウシタ行動ニ出ナイヤウデアルコトヲ信ジタイト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマスルガ、尙又厚生大臣ハ此ノ法案ハ將來ノ勞働組合關係ヲ慮ツテ作ルノデアルト云フヤウナコトヲ仰シヤイマシタガ、此ノ目先ノ只今、觸即發ノ關係ニアリマスル所ノ事態ニ對シマシテ、取締ノ面ニ於キマスル内務大臣ハ、此ノ問題ニ對シテドノ程度ノ御調査ヲナサレテ居ルカ、又此ノ不幸ナ結果ガ若シ勃發致シマシタトシタナラバ、内務大臣トシテハ之ニ對シテドウ云フ態度ニ出ラレ

ルカ、サウ云フヤウナ點ニ付キマシテ簡單デ結構デアリマスルガ、内務大臣ノ不當ノ信念ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大村國務大臣 官公吏ハ其ノ取扱ツテ居リマスル仕事ノ公共性ニ基キマシテ「ストライキ」ヲ行ハル權能ヲ認メラレナイコトニ調整法ニハ立法サレテ居リマスガ、是ハ先進國ニモ其ノ例モアル所デアリマシテ、又日本ノ實情カラ申シマシテモ、サウデナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、此ノヤウナ事情ハ官公吏一般モ十分諒解シテ居ルコトト思ヒマス、又諒解セシメ得ルコトト信ジマスノデ、此ノ法案ガ通過致シマシタナラバ「ゼネスト」ガ起ルヤウナコトハ私ハ殆ド考ヘテ居ナイノデアリマス、サウ云フコトハ絕對ナカラウト確信致シテ居ル次第デアリマス、併

シ萬一起ツタラドウスルカト云フコトデアリマスガ、是ハ勞働關係調整法ニ於キマシテモ鐵則ヲ定メテアリマシテ、警察ト致シマシテハ「ストライキ」ニ對シマシテモ、一般的ニハ勞働爭議ニ對シマシテハ、是ガ間則ニ觸レル刑事犯罪ナルト云フヤウナ場合デナケレバ、今後ノ警察ハ一切ソレニ關與セザル方針デゴザイマス、若シ此ノ「ゼネスト」ガ起キ、ソコニ犯罪行為ガアルト云フコトニナリマスレバ、斷乎タル處置ヲ執リマスガ、ソコマデ至ラナイ場合ニ於キマシテハ、警察トシテソレニ關與スル意思ハ持つテ居リマセヌ

○磯田委員 全國官公職員勞働組合協議會、此ノ傘下ノ十九團體ガ此ノ反對ノ運動ヲ起シテ居ルヤウデアリマスガ、之ニ付テノ内務當局ノ御調査ノ範圍ト申シマスカ、御承知デゴザイマシタナラバ御知ラセテ願ヒタイト思ヒマス

○大村國務大臣 先ニモ一寸觸レタノデアリマスルガ、今日ノ警察ニ於キマシテハ、從來ノ如キ警察ノヤリ方カラスツカリ反省致シマシテ、人命、財産乃至暴行、脅迫ト云フヤウナ所謂刑事犯ガアリマス場合ニ於キマシテハ、其ノ犯罪ノ防遏並ニ其ノ檢舉ニ付キマシテハ全力ヲ盡ス積リデアリマスガ、ソコマデ參リマセヌ勞働爭議ト云フヤウナモノニ付キマシテハ何等介入ヲ致サナイ方針デ居リマスノ

デ、隨テ只今御述ベニナリマシタヤウナ程度ノモノニ付キマシテ別段調査モ致シテ居リマセヌ、ソレ等ノ勞働運動ニ對シマシテハ、今日ニ於テハ主管省ハ厚生省デアリマス、厚生省デ情報ヲ集メラレルヤウナコトハ或ハアルカモ存ジマセヌガ、内務省トシテハ情報ヲ集メテ居リマセヌノデ、隨テソレ等ノ問題ニ對シマシテ今日御報告ヲ申上ゲマスヤウナ情報ヲ持つテ居リマセヌ

○磯田委員 他ノ機會ニ譲リマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○達澤委員長 江崎君ニ諮リマス、警保局長ニ質問ヲナサツテ下さい

○江崎委員 大體先程來内務大臣カラ警察制度ニ付テ、例ヘバ新聞面ニ現ハレタアノ威嚇の言辭トハ違ツテ、實際審理ニ當ツテハ情狀ヲ斟酌シ、民主的ニ處理シテ居ルト云フ言葉ヲ承リマシテ、私ハ是コソ善政ナル哉ト云フ感ジヲ深クシタノデアリマスルガ、其ノ點ニ對シテ御答辯ニ對シマシテ一應ノ満足感ヲ持つテ居リマス、特ニ警保局長ニ御願ヲシ且ツ御尋ネシタイ點ハ、一應ノ御回答ヲ得タマシテハ、此ノ際地方警察ガ統制品ナドノ取締ニ付キマシテ非常ニ迷ツテ居ル、中央デハ威令ガ行ハレテ圓滑ニ行ツテ居ルノデアリマスルガ、一タビ足リ地方ニ振向ケ

シ萬一起ツタラドウスルカト云フコトデアリマスガ、是ハ勞働關係調整法ニ於キマシテモ鐵則ヲ定メテアリマシテ、警察ト致シマシテハ「ストライキ」ニ對シマシテモ、一般的ニハ勞働爭議ニ對シマシテハ、是ガ間則ニ觸レル刑事犯罪ナルト云フヤウナ場合デナケレバ、今後ノ警察ハ一切ソレニ關與セザル方針デゴザイマス、若シ此ノ「ゼネスト」ガ起キ、ソコニ犯罪行為ガアルト云フコトニナリマスレバ、斷乎タル處置ヲ執リマスガ、ソコマデ至ラナイ場合ニ於キマシテハ、警察トシテソレニ關與スル意思ハ持つテ居リマセヌ

○磯田委員 全國官公職員勞働組合協議會、此ノ傘下ノ十九團體ガ此ノ反對ノ運動ヲ起シテ居ルヤウデアリマスガ、之ニ付テノ内務當局ノ御調査ノ範圍ト申シマスカ、御承知デゴザイマシタナラバ御知ラセテ願ヒタイト思ヒマス

ルト、中央ト地方トノ均衡ガ取レテ居ナイ、地方デハ非常ニ之ヲ重大視シテ苛酷ナ取締ヲシテ居ルト云フ實情ハ實際問題トシテ擧ゲ得ルノデアリマス、同時ニ又是ハ閣ヲ放置シテ置イテ、サウシテ中央ニ於テモ速カニ取締ヲ開始シタト云フコトト同ジヤウナ話トシテ考ヘラレルノデアリマスルガ、斯様ナ不均衡ハ將來トモ決シテアツテハナラナイト思ヒマス、十分其ノ點威令ヲ盡シテ戴キマスルト共ニ、斯様ナ警察力ノ薄弱化カラ、民間ニ、閣方橫行シタ場合ニ於キテシテハ、特ニ事前ニ豫告ヲシテ、サウシテ國民ノ自發的ナ氣持ニ於テ閣行爲ヲ根絶シ、然ル後ニソレニ背イタモノハ徹底的ニ取締ツテ行ク、其ノ時コソ私ハ閣ヲ憎ムベシダト思ヒマス、ケレドモ現在ノ狀況ニ於テ零細ナ者ヲイジメルヤウナコトハ、サウシテ氣ノ弱イ者ハ浮浪者ニナリ、氣ノ強イ者ハ辻強盜ニナルヨリ外ニ途ハナイト云フヤウナ、一層道義ノ頹廢ヲ來スヤウナコトヲ憂ヘル者デアリマスガ、警保局長ハ今回ノ取締リニ付キマシテ一體如何ナル御考ヘヲ持ツテ居リマスルカ、其ノ點簡單ニ直接ノ責任者トシテ御答ヘヲ賜ハリタイト思ヒマス

○谷川政府委員 前段デ御指摘ニナリマシタ點ハ、全ク我ガ警察ノ一ツノ缺陷デアルト思フノデアリマシテ、此ノ點ハ凡ユル努力ヲ傾ケマシテ、是ガ是正ニ努メタイト思フノデアリマス、長イ間ノ命令違反ト云フヤウナコトニ馴レテ居リマスル警察ノコトデアリマスルカラ、中央カラノ指示ガアリマスルト、之ヲ飽クマデモ守リ通サウトスル非常ニ職務ニ忠實ナル餘リノ行過ギト云フヤウナコトハ、今日マデ各方面ニ認メラレテ居タモノデアルコトハ私モ氣付イテ居ル所デケリマス、是ガ矯正ニ付キマシテハ、出來ルダケ色々ナ指示事項ノ精神ナリ内容ナリヲ末端マデ徹底致サセタイト考ヘテ居リマシテ、此ノ方面ニ付キマシテモ極力努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、一例ヲ申上ゲマスレバ、今回ノ閣行爲ノ取締リニ當リマシテモ、警察部長會議ヲ招集シ、更ニ防犯課長ノ會議ヲ招集致シ、更ニ六大都市ノアリマスル府縣ノ關係官ヲ集メマシテ、是等ノヤリ方竝ニ精神ノ徹底ニ努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、又警察官ガ非常ニ十分ナ訓練ヲ受ケテ居リマセズ、又最近矢繼早ニ出テ參リマスル新シイ取締リ法規等ヲ十分ニ消化シテ、適當ナル取締リヲヤルコトハ中々容易ナ業デハナイト思フノデアリマスガ、能力ノアル者ヲ採用シ、更ニ之ニ十分ナル訓練ヲ加ヘマシテ、行過ギ或ハ間違ヒ等ヲ仕出カサナイヤウニ導イテ行キタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

又此ノ度ノ問題デアリマスガ、實ハ是ハ決シテ突發ノコトデハナイノデアリマシテ、既ニ半箇年ニ互リマシテ色々取締リ續ケテ參リ、又各方面ニ色々ナ手段方法ヲ以チマシテ直接間接ニ自肅或ハ自戒ヲ促シテ參ツテ居ツタノデアリマスケレドモ、其ノ效果ガ吾々ノ期待ニ背クモノガ非常ニ多イモノデアリマシテ、斯様ナ結果ヲ見タノデアリマス、色々研究シテ見マス、或ハ一時的ニ或ハ一地方的ニ或ハ表面的ニ、此ノ問題ニ當リマシテモ問題ノ根本的解決ハ困難ト考ヘラレマスノデ、明日ヲ期シマシテ全國的ニ取締リ強化スルコトニ致シテ居リマス、總テノ準備モ出來テ居ルヤウデアリマシテ、餘リ行過ギナイヤウナ形ニ於テ、明日カラ全國的ノ取締ガ開始サレルコトト思フノデアリマス、最モ心配致シテ居リマシタ關西、殊ニ大阪等ニ於キマシテハ、去ル二十五日ニ現地軍政部カラ知事ニ對シマシテ、直チニ府下ノ全閣市場ノ閉鎖ヲ求メテ參ツテ居ルト云フヤウナ有様デアリマシテ、是ガ措置ニ付キマシテモ段々準備ヲ進メテ居リマス、私共ノ得テ居リマス報告ニ依リマス、一、二箇所多少心配ノ點モアルノデアリマスガ、大體ニ豫期シタヤウナ形ニ收マツテ行クノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ他隱匿物資或ハ此ノ方面ノ經濟關係ノ犯罪

ノ取締ニ付キマシテモ、御示シノ點ハ十分ニ各方面ニ傳ヘマシテ、行過ギト云フヤウナコトノナイヤウニ措置致シタイト思ツテ居リマス

○江崎委員 只今ノ詳細ノ御答辯ニ依リマシテ、一應私ハ此ノ問題ニ關スル質疑ヲ打切りタイト思ヒマス

○逢澤委員 江崎君ニ御諮リ致シマス、今厚生大臣ハ豫算總會デ答辯中ダサウデス、約十五分程掛ルサウデアリマスカラ、暫ク休憩致シタイト思ヒマスガ、暫時休憩致シマス

午後三時十五分休憩

午後三時三十分開議

○逢澤委員長 休憩前ニ引續キ開會致シマス——江崎君

○江崎委員 厚生大臣ガオイデニナリマセヌノデ、吉武政府委員ニ對シマシテ質疑ヲ行ヒタイト思ヒマス、特ニ與ヘラレマシタ時間内ニ簡單ニ御尋ネ申上ゲル便法トシマシテ、逐條的ニ要點ヲ申上ゲテ御答ヘヲ願ヒタイト思フノデアリマスルガ、第七條ニ「この法律に於いて爭議行爲とは」云々トゴザイマシテ、之ニ對スル行爲、要スルニ同盟罷業トカ、怠業、作業所閉鎖、之ニ對抗スル行爲ト云フ風ニ一括資本家側ノ態度ガ書イテアルノデアリマスルガ、一體ハハドノ程度ノコトヲ意味スルノデアリ

マスカ、同時ニ又ナゼ一體茲ニ資本家側ノ行爲トシテハ斯ウ云フコトガアル、斯ウ云フコトガアルト云フ風ニハツキリ御擧ゲニナラナカッタノデアリマセウカ、同時ニ又爭議ニ對抗スル行爲トアルノデアリマスルガ、例ヘバ資本家側ニ於テ最初ニ不當工場閉鎖ナドヲ俄カニ行フト云フヤウナ場合モアリ得ルノデアリマスルガ、斯ウ云ツタ場合調停ハドウ云フ風ニ行ハレルノデアアルカ、例ヘバ資本家「サボ」ノ規制ニ於テ之ヲ規定セラレルノデアアルカ、其ノ點御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

○吉武政府委員 今ノ御話ノ「これに對抗する行爲」ト云フ資本家側ノ行爲ト致シマシテハ、七條ノ中ニ「作業所閉鎖」ト云フモノヲ一應掲ゲテ居リマス、普通爭議トシテ用ヒラレル爭議行爲ハ、何處ノ國ニ於キマシテモ勞働者側ハ所謂「ストライキ」ソレカラ「サボタージュ」ト云フ方法ヲ執リ、事業主側ハソレニ對シマシテ「ロックアウト」ト云フ方法ヲ執ツテ居ルノデアリマス、是ハ代表的ナモノデアリマスノデ此處ニ掲ゲタノデアリマスガ、併シ色々細カイ點ニナリマス、兩方トモ色々作戰ヲ練ル譯デアリマスノデ、其ノ際ニハ個々ノ細カイ點ヲ一々掲ゲラレナイノデ、主ナモノダケヲ掲ゲテアルノデアリマス

○江崎委員 大臣ガ來ラレマシタ

カラ、先程御答辯ヲ戴キマシタ點ニ付キマシテ、再度御尋ネヲ申上ガタイト思ヒマス、資本案「サボ」ニ對スル規制立法化ガ遅レタ、洵ニドウモ已ムヲ得ヌ、同感ダト云フ御返事デゴザイマシタガ、少クトモ此ノ勞調法ガ勞働者抑壓ノ法規デアルト云フ風ニ誤解サレテ居ルト致シマシタナラバ、是モ已ムヲ得ズトシテ、ナゼ一緒ニ御出シシナラナカッタカ、是ハ何度考ヘテ見マシテモ全ク遺憾ノ極ミデアリマスガ、併シニ、三日ノ中ニ恐ラク出ルデアラウト云フコトデ一安堵ヲスル者デアリマス、此ノ勞調法ノ審議ニ當ツテハ、勞働法制審議會ニ依ツテ原案ガ練ラレタノデアリマス、資本案「サボ」ハ勞働者ニ最モ重要ナ關聯ノアルモノデアリマスガ、先程承ル所ニ依ルト或ル法制ノ中ニ書クノダ、是レダケ獨立デハナクシテ、他ノ法制中ニ一應規定ガ書カレルノデアルト云フコトデアリマスガ、左様ナコトデアリマシテハ十分理解サセテ行クノニ困難ナ點ガ考ヘラレルノデハナカラウカ、先般松岡駒吉氏ノ答辯ニ對シテ商工大臣ハ資本案「サボ」ノ認定ハ非常ニ難カシイト言ツテ居ラレタガ、今度ノ規定ハ大難把デアルトカ、資本案「サボ」ハ認定ガ難カシイトカ、成程難カシイデアリマセウガ、總テサウ云フコトハ動モスレバ資本案ヲ擁護スルカノヤウ

ニ取ラレル憂ヒガ多分ニアルト思ヒマス、サウ云フ點ニ於テ是非共資本案「サボ」ノ規制ハ嚴重ニ行ハレル必要ガアルト思ヒマスガ、經濟關係トシテ資本案「サボ」ニ對スル立法精神ハドウ云フ構想ニ於テ練ラレテ居ルカ、今少シク詳細ニ御尋ネ申上ゲタイノデアリマス尙ホ御答ヘヲ戴キマス便宜上アト二點ダケ續ケテ御尋ネヲ致シマス、先程私ハ內務大臣ニ自由市場ノ取締ト云フ點ヲ中心ニシテ色々御尋ネヲ申上ゲタノデアリマスガ、愈ミ明日カラ禁制品ハ纖維製品ニシテモ食料品ニシテモ全部影響メルコトニナルノデアリマス、今日都會生活ニ於テ配給、運配ヲ漸クニシテ補ツテ來タモノハ洵ニアノ露店ノ功績デアッタト私ハ思ヒマス、又一方ニ於テハ闇ノ放任ガ辛ウジテ我々ノ露命ヲ繋ガシメタモノデアルト云フコトモ考ヘラレルト思ヒマス、勿論闇ガ此ノ平和日本ニ於テ堂々行ハレルナドト云フコトハ好マシイコトデアリマセヌ、去リナガラ明日カラ影ヲ潜メタトシテ我々ノ食生活ハ一體保チ得ルデアラウカ、特ニ勞働者ノ場合ニ於テ、一日ノ慰安ヲアノ露店ノ出店ニ於テ得ルト云フコトハ今後ハ不可能ニナリマス、又賃金ノ中カラ闇ノ高イ「パン」デハアリマシタケレドモ、之ヲ買ツテ家庭ニ持チ歸ツテ、待チワビタ妻ニ與ヘテ何ト力共ノ日共ノ

日ヲ凌イデ一日ノ勞働ニ從事スルコトヲ得タ、是モ私ハ確カナ實情ダツタト思ヒマス、此ノ點ニ關シテ厚生大臣ハ此ノ運配、配給ノ時ニ一掃露商ノ取締ト視ミ合セテ如何ニ御考ヘニナツテ居ラレマスカ、此ノ都市生活者ノ苦難生活ヲ全カラシメル所ノ自信ヲ御持チデアリマスカドウカ、其ノ點御尋ネヲ致シタイト思ヒマス尙又先程御聽キニナツテ居ツテ戴イタト思ヒマスガ、內務大臣ニ對シテ半ドン制度ニ付テ御尋ネヲ申上ゲマシタ、是ハ內閣ノ規制デアルカラト言ツテオ逃ゲニナツタノデモナイデセウガ、正而カラノ御答辯ヲ避ケラレタノデアリマスガ、厚生大臣トシテ、今健全ナル勞働意欲ノ盛ンニ世上言ハレテ居ル時ニ、一體此ノ半ドン制度ヲ如何ニ御考ヘニナルカ、此ノ儘此ノ制度ヲ存置スル結果ガ健全ナル産業精神ノ發達、産業ノ再開ニ對シテ、官僚ノ横暴、官僚ノ因襲ト云フコトガ大キナ障礙トナリハシナイカト云フ點ヲ私非常ニ憂フルノデアリマスガ、此ノ點厚生大臣ハ如何ニ御考ヘニナルノデアリマセウカ、以上三點ニ對シテ要點ニ付テ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○河合國務大臣 資本案「サボ」ノ點ニ付テデアリマスガ、勞働法規ハ、勞働法規トシテ一ツノ綱マツタ體系ニ於テ發達ヲ遂ゲテ來テ居リマスガ、日本ハ後進國トシテマダ此ノ問題ヲ習ツテ行ク點ガ多分ニアリマス、資本案「サボ」ト云フ問題ニ付テハ餘リ綱マツタ體系ノ法ハナイト思ヒマス、ソレハドウ云フ譯カト云フト、資本案「サボ」ガイカヌト云フトハ二ツノ意味ガアル、其ノ一ツハ國家ヲ再建シナケレバナラヌト云フトコロノ増產目標、是ガ最モ大キイ點デデル、増產ハ何レノ國デモ必要デセウ、併シナガラ或ル場合ニハ「オーヴァー・プロダクシヨ」デ、モウ増產ハ御免ダト云フ時代モアツタ、自由主義、資本主義時代ニ於ケル經濟轉換ト云フモノハ御承知ノ通りノ狀況デアハ又特別ナ視角カラ見タ増產ト云フモノヲ必要トシタ、ソレデ日本ノヤウナ、經濟再建ヲ目標トシタ増產ガドウシテモ非常ニ高調サレナケレバナラヌ時代ハ、餘リ世界各國ニ此處ニモ彼處ニモアツタト云フ例デアアリマセヌカラ、ソレニ對スル法律ハ社會事情ニ追隨スル、サウ云フ見地カラ特別ナ法規ガナカツタト思ヒマス、ダカラは一ツノ綱マツタモノデナケレバナラヌト云フトニ考ヘルノハドウカト私ハ考ヘマス、且ツ又法律ハ一ツノモノノ中ニ編ミ込マセヨウ或ハ分量ガ少ナイカラ、サウ云フコトニ依ツテ法律ノ價值ハ減ズルモノデハナイ、小サクテモ「ダイヤモンド」ハ値段ガアルヤウ

ニ、ソレハ或ル法律ノ中ニ一條ノ條文デモ、迎モ立派ナ光ヲ發スルコトモ考ヘ得ル、是ハ全ク、立法技術ノ形式ノコトニナリマス、其ノ運用ノ妙サヘ得レバ其ノ點ハ通ガレルモノデハナイカト思ヒマス、モウ一ツノ資本案「サボ」ノ問題ニ付テハ勞働者「チヤンス」ト云フ問題ニ關係シテ居リマセウ、勞働者ガ職場ヲ失フ、是ハ或ベク失ハシタクナイト云フ點ガ中心ニナリマセウガ、併シ申セバ此ノ問題ハ相對的デス、何トナレバ勞働ノ機會ヲ失ハセルト云フニハ、先程「ロック・アウト」ノ問題、斯ウ御考ヘニナレバ御分リニナリマス、「ロック・アウト」ト云フコトハ當然行ハレテ居ル、ソレガ國家再建ノ爲ニ増產ニ必要ダト云フ點ニ主要點ガアリマスカラ、是ハ目標ニハアリマスガ、第一ノ重大ナ問題デハナイカラ、是ハ商工省ノ法規トセズシテ出ル、サウ云フコトニ依ツテ行カウ、旁ミ以テ勞働者ノ「チヤンス」ヲ失ハシタクナイト云フ氣持ヲ編ミ込マセヨウト云フトコロカラ、法制トシテハ斯ウ云フ形ヲ取ツテ行クノハ當リ前ダト思ヒマス、又勞働關係調整法ト何故一緒ニ出サナカタツカ、少シ遅レルノハ遺憾デアルト云フコトデアリマスガ、私ハ之ヲ勞働者ノ彈壓法ダトハ夢ニモ考ヘマセヌ、ダカラ一緒ニ出サナカツタノデアリマス、寧ろ生産管

理ヲ拒否スル結果トシテ、其ノ點ニ於テ斯ウモ考ヘタラ宜カラウト云フ點ガ主要ナノデアリマス、サウ云フヤウニ御承知願ヒマス、第二ノ點ハ八月一日カラノ闇市場閉鎖ノ爲ニ、労働者、勤勞者ノ食生活ニ自信ガアルカト云フ意味ノ御質問デアリマシタガ、是ハ洵ニ面倒ナ問題デアリマシテ、平重盛ノ忠ナラント欲スレバ忠ナラズ、孝ナラント欲スレバ忠ナラズ、是ハ御質問ノ方モ能ク其ノ衷情ハ御察シノコトト存ジマス、ト申スノハ、私ハ嘗テ農林次官ノ時ニ生鮮食糧品ノ統制ヲ撤廢シタ男デス、サウシテ其ノ後「レール」ニ乗セテ補給制度ニシマスノニ、半バニシテ私ハ職ヲ辭メマシタ、ソレデ此ノ問題ニ付キマシテハ私ハ多分ノ體驗ヲ持ツテ居ルノデアリマス、中々コチヲ抑ヘレバ、ナリ、アチヲ抑ヘレバ斯ウナル、闇ト市民ノ食生活ト云フ問題ハ兩立シナクチヤナラヌガ、中々完全ニ兩立ハ出來ナイ問題デアルコトハ御存知ノ通り、此ノ社會事實ニ對シテドウシロト御言ヒニナツテモ、少シ御質問ガ御無理デナイカト衷心考ヘテ居ル次第デアリマス、併シナガラ最善ヲ盡シマス、併シ是ハ時ト睨ミ合セナケレバナラス、今野菜ノ出盛リ、先ヅ宜カラウト思フ、是レカラ又野菜ノ多枯レニナル、又何カノ方法ヲ講ジナクチヤナラヌト云フノデ、時ト

睨ミ合セ、其ノ需要供給ノ狀態ト睨ミ合セマシテ、サウシテ、又各人ノ收入ト睨ミ合セテ、色々補給ナリ助成金ナリ或ハ市場ヲ強クシタリ弱クシタリ、斯ウ云フ方法ヲ執ルノデヤナイカト私ハ考ヘテ居リマス、ソレデ今日自信ガアルカト云フナラバ、出來ルダケノコトヲ致シマスト云フコトデ、ドウゾ此ノ問題ハ御勘辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

第六期第十一號 勞働關係調整法案委員會議錄 第七回 昭和二十一年七月三十一日

第三ノ半ドンノ問題デアリマスガ、是ハ働カスト云フコトハ、働カナクチヤナラヌト云フ意欲ニ對シマシテ常ニ「マイナス」デアリマス、サウ云フ意味ニ於テ私ハ御質問ノ通りノコトヲ感ズル者デアリマス、併シ是ハヤメテ居ルト云フコトニ付テハ色々ノ事情モアリマセウシ、是ハ大村君モ觸レラレマシタガ、總テハ先ヅ復舊スルト云フコトデ、國民ノ伸ビノシタ自由ニ歸シタイト云フ一ツノ氣持モアリマセウ、併シナガラソレニ對スル反面ノ批判モアリマセウ、斯ウ云フ點ヲ稱ニ掛ケテ考ヘル問題デアリマシテ、是ハ私カラ其ノ是非ヲ申上グル立場デナイコトヲ御諒承願ヒマス

○江崎委員 資本家「サボ」ノ問題デアリマスルガ、現在少クトモ資本家「サボ」ト云フノハ、小資本ニ於テハ永續スルコトガ出來ナイノデアリマシテ、少クトモ日本ノ現狀ニ於テモ、ヤハリ資本家ノ生産ノ再開ト云フコトハ、先ヅ小資本カラ始マツテ中資本ニ互リ、今日デハ大資本ガ相當ナ資材ヲ持チナガラ、ヤレ是レガ足ラナイ、アレガ足ラナイト云フヤウナコトヲ口實ニシテ、「サボ」ヲシテ居ル儼然タル事實ハ、飽クマデ私共見逃シ難イ事實ダト思ヒマス、而モ經營上採算ガ取レナイト云フ所カラシテ、資材ノ不備、不圓滑ト云フヤウナコトヲ口實トシマシテ、生産「サボ」ラシテ居ルト云フコトハ、資本家ガ社會ニ對スル所ノ製品値上ゲノ一種ノ運動ダト私ハ思ヒマス、資本家ノ値上ゲ運動ナンデス、労働者ノ所謂労働賃金ノ値上ゲト云フコトト在リ方ハ違ツテ居リマスルガ、洵ニ忌ムベキモノダト思ヒマス、而モ此ノ生産「サボ」ト云フモノガ、労働爭議ヲ誘發スル所ノ大キナ原因ニナツタリ、同時ニ又生産管理ノ問題ヲ纏リマシテ、色々ナ問題ガ提起ササレテ居ルコトヲ見マスルニ、私ハ生産管理ノ問題ニ付キマシテハ洵ニ政府ト意見ヲ同ジクシ、特ニ先般ノ赤松君ノ質疑ノ點ニ對シマシテハ非常ナ異論ヲ持ツガ故ニ、尙ホ商工大臣ニ對シマシテ意見ヲ開陳シナガラ能ク御尋ネヲ申上ゲタイト思ツテ居リマスルガ、現在敗戦後ノ特殊ナ事情ニアル日本ノ生産「サボ」ト云フモノハ、恰モ此ノ勞働法制定ト同時ニ急坂ヲ下ル自轉車ノヤウニグツト

下リタカラ、茲デ勞働法ヲ出シテ大事ヲ取ラウト云フノデアツタナラバ、ヤハリ變態的ナ資本家「サボ」ニ對シテモ、同様ニ嚴重ナ規制ト云フモノガ加ヘラレナケレバナラナイト思ツテ居リマス、而モ其ノ立法化ニ際シテ労働者側ノ意見ヲ徵シテ立法化スルト云フコトハ、何トシテモ現在ニ即シタ法規ヲ作ル以上ハ、私ハ是ガ非デモ必要ダト思ツテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテハ、何レ又商工大臣ニ對シマシテ詳細ナル質問ヲ試ミタイト思ツテ居リマスルガ、其ノ點厚生大臣ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ、重ネテ御伺ヒヲ致シマス

○河合國務大臣 生産「サボ」ノ問題ハ値上運動ダト云フ御觀察モアリマシタガ、ソレマデノ意思ガアリマスカドウカ、是ハアル場合モアルカモ知レマセヌ、一概ニサウトモ言ヘヌノデヤナイカトモ思ヒマス、ト申スノハ、今日生産ノ狀態ハ御承知ノ通りニ、利潤ト云フモノハ、今ノ軍需工業ノ轉換工業ナドニ見マシテモ殆ドアリマセヌ、物ニ依ツテハ勿論アリマセウケレドモ、大體ニ於テ基本産業的ナモノニナレバ利潤ト云フモノハ少シモナイノデアリマシテ、サウシテ採算ガ非常ニ問題ノ重點ニナルト思ヒマス、採算ト生産ノ必要牲ト云フモノガ茲ニ睨ミ合ツテ、其ノ中ニドウ云フ意思ガ加ハルカト云フヤウナコトト睨ミ合ツテ、

生産「サボ」デアルカ、生産「サボ」デナイカラ決定シナケレバナラスヤウナ、微妙ナ問題ニナルノデハナイカト思フノデアリマス、勿論是ガ決定ニハ勞働委員會ナリ、或ハ又特殊ノ機關ナリ、或ハ一種ノ統制機關ナリガ介在シマシテ、公正ナ立場カラソレヲ見ナケレバナラヌトハ思ヒマス、勿論惡意ノモノモアリマセウ、併シナガラ惡意ト云フヨリモ、客觀的ノ情勢ニ於テ生産「サボ」ト認ムベキヤウナモノガ中々出デ來ルト思ヒマス、サウ云フ問題ニ對シテソレデハ無理ニ生産ヲ命ジテ、サウシテドウ云フ結果ニナルカト云フヤウナ問題モ、ヤハリ資本主義ヲ認メテ居ル以上ハ、ソレニ對スル問題モ考ヘナケレバナラス、サウ云フ點ニ於テ色々技術的ノ問題ガアリマスケレドモ、此ノ問題ハ労働者ノ側ノ權利義務ノ方ノ關係ニハ餘リ重大ナ接觸點ハナイト思ヒマス、サウ云フコトデ、只今ノ所デハ勞働組合ニ此ノ問題ニ付テノ意見ヲ聽カウト云フ考ヘハ持チマセヌ、持チナクテモ宜イノデハナイカト考ヘテ居リマス、併シ此ノ點ニ付キマシテハ何レ商工大臣ノ意見モ聽キマシタ上デ、能ク練ツタ上デ、必要ガアレバ必要ナ措置ハ執ル積リデ居リマス

○江崎委員 此ノ問題ニ付キマシテハ何レ次回商工大臣ノ御出席ノ節ニ、尙ホ詳細ニ御尋ネスルコト

八九

ニ致シマシテ、與ヘラレマシタ時
間モ既ニ經過シテ居リマスカラ、
簡單ニ逐條的ナ問題ヲ御尋ネ申上
ゲタイト思ヒマス、第九條ニ、爭
議行爲が發生シタトキハ其ノ當事
者ハ直チニ其ノ旨ヲ勞働委員會ナ
リ、行政官廳ニ届出ナケレバナラ
ナイト規定シテアルノデアリマス
ガ、若シ此ノ勞働委員會ナリ、行
政官廳ナドニ届出ヲシナカツタナ
ラバ、一體ドウ云フコトコナリマ
スカ、届出ハ自由デアアルカドウ
カ、此ノ點ヲ承リタイ

○吉武政府委員 只今ノ御尋ネノ
届出ニ付キマシテハ、罰則ヲ附シ
テ居リマセヌ、デスカラ出來ルダ
ケ届出テ欲シイト云フ趣旨デアリ
マス

○江崎委員 サウシマスト罰則ガ
ナクテ結局自由デアルト云フコト
デアレバ、強制調停以外ノ場合ハ
調停ニ應ジナクデモ宜シイデゴ
ザイマスカ、例ヘバ勞働者側、使
用者側ソレノ場合ニ調停ニ應
ジナイ……

○吉武政府委員 御話ノヤウニ調
停ノ際ハ、十八條ニ規定シテ居リ
マスルヤウニ、公益事業以外ノ場
合、即チ一トニ二掲ゲタル場合
ニ於キマシテハ、一ハ、双方カラ
申請ガナイト片方カラダケ申請ガ
アツテモ、片方ハ應ズル必要ガゴ
ザイマセヌ、ソレカラ二ノ方ハ、
一方カラノ申請ガアツテモ受理シ
マスガ、ソレハ豫メ兩者デ勞働協

約デ以テ若シ自分ノ工場デ爭議ガ
起ツタ時ニハ、一方カラ申請ガア
ツテモ調停委員會ニ掛ケルト云フ
約束ガアツタ場合ニハ一方デ宜シ
イ、斯ウナツテ居リマス

○江崎委員 十八條ノ第五項ニ於
キマシテ、「特別の性質の事業に
關するものであるために公益に著
しい障害を及ぼす事件につき、行
政官廳から勞働委員會に對して、
調停の請求がなされたとき云々」
ト云フ言葉ガアリマス、一體此ノ
特別ノ性質ノ事業、公益ニ著シイ
障害ヲ及ボス事件ト云フノハ、是
ハ規定シタ以外ノモノモ含シデ居
ルヤウニ受取レルノデアリマス、
若シサウデアルトスレバ特別ノ性
質ノ事業ト云フモノヲ行政官廳
ハ、其ノ場ノ狀況ヲ眺メテ獨斷ヲ
スルコトハナイカ、必要以上ニ之
ヲ縛リ付ケテ、必要以上ニ干渉ス
ルト云フコトモ考ヘラレルノデア
リマス、若シサウ云フ事態ガ發生
シタトスレバ、是ハ事實上ノ彈壓
デアリ、ソレコソ行政官廳ニ依ル
所ノ、所謂官條ノ彈壓ト私ハ斷ジ
テモ差支ヘガナイノデハナイカト
云フ風ニ考ヘルノデアリマス、此
ノ點ドウ云フ解釋デアリマスカ、
承リタイト思ヒマス

○吉武政府委員 十八條ノ第五項
ニアリマスル共ノ事件ガ規模ガ大
キイ爲メカ、若クハ特別ノ性質ノ
事業デアツテハ公益ニ著シイ障害
ヲ及ボス事件、是ハヤハリ客觀的
ニ判斷スル外ナイト思ヒマス、隨
テ之ヲ以テ廣義ニ政府ガ之ヲ解釋
シテ、全部何デモ彼デモ勞働委員
會ノ調停ニ持ツテ行クト云フコト
ハ、是ハ許サレナイノハ勿論デア
リマス、ソコデハ政府ガ勝手ニ
之ヲ調停スルノデハナイノデアリ
マシテ、勞働委員會ニ持込ミマス
カラ、勞働委員會デハヤハリ使用
者側、勞働者側、中立ト云フ民主
的ナ機構ニナツテ居リマシテ、其
處デヤハリ判斷致シマスノデ、客
觀的ナ適當性ノアル判斷ト云フモ
ノガ成立ツノデハナイカ、斯様ニ
考ヘテ居リマス

○江崎委員 例ヘバ公益事業デ指
定外ノ場合、銀行デアルトカ、新
聞社デアルトカ、或ハ配給ノ組合
デアルトカ、總テサウ云ツタモノ
ヲ此ノ規定ニ依ツテ私ハ不當ニ行
政官廳ガ取締ル、或ハ調停ノ請求
ヲ委員會ニスルト云フヤウナ場合
ガ考ヘラレルト思ヒマス、勿論只
今ノ御答辯ノヤウニ、常識ヲ以
テ、一應尺度ヲ以テソコニ規制ヲ
スルト云フ考ヘ方モ考ヘラレルノ
デアリマスルガ、此ノ規定ハ非常
ニ勞働者側ニ取りマシテモ誤解ヲ
生ジ易イ文面ト受取レマス、行政
官廳ト言ハズ、或ハ勞働委員會ナ
リ別ナ機關ニ依リマシテ之ヲ認定
スルト云フヤウナコトハ御考ヘニ
ナラヌカドウカ、其ノ點御答ヘ願
ヒマス

○吉武政府委員 今御話致シマシ
タヤウニ、一應行政官廳トシテド
ウモ是ハ放ツテ置イデハ著シク公
益ヲ害スルト考ヘマシタ時ニ、ソ
レヲ勞働委員會ニ持込ミマス、勞
働委員會デハソレヲ取上ゲル時
ニ、ヤハリ皆ノ意見見取上ゲマス
ルカラ、ソコニ公正ナ判斷ガ付ク
ト考ヘテ居リマス

○江崎委員 時間モ大分過ギマシ
タノデ、アト一點ダケ御尋ネシマ
ス、第二十三條ニハ調停委員會ノ
アリ方ニ付テ書イタル譯デゴザ
イマスガ、例ヘバ爭議ノ主張事項
ニ於テ相當ニハ委員會内部ノ協議
ニ於テ對立スル場合ガアルガラウ
ト思ヒマス、一體サウ云フ對立シ
タ場合ニ、委員長ハ決定權ヲ持ツ
テ居ルカドウカ、又若シ茲ニ決定
權ガハツキリ書イタルイカラ恐ラ
クナイデハナイカト思ヒマスガ、
サウスルト調停ノ最後案ト云ヒマ
スカ、成文化ニ於テ非常ナ不自然
ナコトヲ來スヤウナコトハ、ナイ
カ、此ノ點御答ヘ願ヒマス、簡
單デ結構デス

○吉武政府委員 此ノ二十三條ニ
於ケル決定權ハ委員長ニハゴザイ
マセヌ、併シ委員ノ一人トシテソ
レニ對シテ加ハルコトハ勿論出來
ル譯デアリマス、兩方ガ同數ニト
ツタ時ニ之ニ決定權ヲ持タセナカ
ツタ所以ハ、調停ト云フノハ裁判
ト違ツテ唯結論ヲ出スト云フダケ
デナシニ、兩方ノ納得ガ行カヤウ
ナ案ヲ作ルト云フノガ趣旨ナノデ

○江崎委員 尙ホ一點三十八條ニ
付キマシテ御尋ネラシタイ點ガア
リマスガ、是ハ丁度大臣モ御席ニ
見エマセヌノデ、何レ次會ニ譲リ
マシテ、私ノ本日ノ質疑ヲ打切り
タイト思ヒマス

○達澤委員長 山下榮二君ニ御諮
リ致シマス、今大臣ガ一寸缺ケテ
居ラレマスガ、政府委員ニ對シテ
ノ質問事項ガアリマシタナラバ、
政府委員ニ對シテ先ニ……

○山下(榮)委員 時間モ相當遅イ
ノデ、大臣モ忙シイヤウデアリマ
シタナラバ、明後日デモ……

○達澤委員長 五時過ぎ位マデハ
繼續シタイト思ヒマス、後ノ豫定
モアリマシテ、皆サンニ成タケ均
等ニ質問ノ機會ヲ與ヘルヤウニシ
テ行キタイト思ヒマス

○山下(榮)委員 ソレデハ質問ヲ
申上ゲマスカラ、政府當局カラ大
臣ニ御話ヲ願ツテ、大臣ガ御聽キ
ニナツタ上大臣カラ御答辯ヲ藏キ
タイト思ヒマス

○吉武政府委員 本法律案ノ制定ニ對シマシテハ
各議員ノ色々御意見、御質疑ヲ
拜聽致シテ居リマシテモ、ドノ委
員ノ方モ殆ド何故勞働者側ノ反對
ガアルノヲ押切ツテ提案スルカト
云フ議論ガ多イヤウデアリマス、
私ハ下關ノ久保田鐵工場デ働カ
ー勞働者ト致シマシテ、本法律案ニ
對シマシテハ勞働者ノ立場カラ此

○吉武政府委員 今御話致シマシ
タヤウニ、一應行政官廳トシテド
ウモ是ハ放ツテ置イデハ著シク公
益ヲ害スルト考ヘマシタ時ニ、ソ
レヲ勞働委員會ニ持込ミマス、勞
働委員會デハソレヲ取上ゲル時
ニ、ヤハリ皆ノ意見見取上ゲマス
ルカラ、ソコニ公正ナ判斷ガ付ク
ト考ヘテ居リマス

ノ問題ヲ檢討シテ見タイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、新聞紙ノ傳ヘル所ニ依リマス、勞働調整法案ハ曩ニ中央勞働委員會ニ設置セラレタ所ノ勞働法案審議會デ御相談ヲナサツタト伺ツタノデアリマス、而モ其ノ審議會デ勞働者側ノ方ノ委員ガ全部反對デアリ、中立側ノ方ノ委員モ一名カ二名反對ガアツタト云フ記事ヲ拜聽シタノデアリマス、殘リノ中立側ト資本家側ノ委員ハ本法案ニ賛成デアツタト伺ツタノデアリマス、サウ云フ情勢下ニアルノヲナゼゾレヲ押シテ提出サレナケレバナラヌカト云フ其ノ理由ヲ私ハ御伺ヒ致シタイト云フノデアリマス、而モ最近ノ實情ニ依リマス、獨リ官廳ノ勞働組合ダフデナク、一般工場ノ勞働組合ト雖モ本法案ノ通過ニ反對致シマシテ、職場ニ於テハ職場大會ヲ開キ、地方ニテハ地方ノ勞働者大會ヲ開イテソレモ、反對ノ決議ヲ致シテ居ルノデアリマス、先程ノ同僚議員ノ質問ノ中ニモアリマシタウウニ「ゼネスト」ヲ行ツテデモ敢ヘテ此ノ法案ニ反對スルト云フ氣勢ガ窺ハレテ居ルノデアリマス、斯様ナ情勢下ニ於テナゼ本法案ヲ提出サレナケレバナラヌカ、其ノ理由ガ我々ニハ分ラナイノデアリマス、其ノ理由ノ存スル所ヲ御説明ヲ伺ヒタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、本調整法案ノ實施ハ我方國ノ健全ナ勞働組

合運動ノ發展ヲ期スル爲ニ出ナケレバナラヌ法律案ダト想像スルノデアリマス、ケレドモ、法律案ノ内容乃至ハ世間ノ今ノ喧シキ問題等カラ綜合致シテ考ヘテ見マス時ニ、必ズシモ日本ノ勞働運動ヲ助長發展セシムル法律案ダト云フ解釋ガ出來難イノデアリマス、若シ政府ハ本法案ハ勞働運動ノ助長發達ノ爲ニ出スト仰シヤルナラバ、此ノ法律案ノ下ノ箇所ガ勞働組合運動助長發達ニナルト云フ明文ガアルカ御示シテ願ヒタイト思フノデアリマス、更ニ厚生大臣ハ日本ノ凡ユル組織勞働者ガ本法案ニ反對シテ居ルコトヲ御知リニナツテ居ルカドウカ、私ハ其ノコトヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、私ノ手許ニハ一昨日カラ本日ニ掛ケマシテ、相發多數ノ反對ノ文書ガ參ツテ居ルノデアリマス、本院内ニ參リマシタモノヲ讀ンデ見マス、神戸交通勞働組合、或ハ關西交通勞働組合協議會ト云フヤウナ方面カラモ參ツテ居リマスガ、其ノ書面ニ依リマスルト、「謹啓、酷暑ノ折柄中央ニ御健闘ノ事深ク感謝イタシマス、現今般政府提出ニカ、ル勞働關係調整法案ナルモノハ社會ノ健全ナル發展ヲ阻害スルノミナラズ吾等勤勞無產者ノ自由ヲ再ビ鐵鎖ノ運命ニ追ヒコマントシテキル尙此ノ上ニ勤勞所得稅ハ吾等一般勤勞階級トシテ眞ニ其ノ日ノ生活ニ追ハレナラ

モ最後ノドタン場ニ尙自衛ノ爲メニ闘ヒ續ケテキル吾等勞働階級ノ眞理ヲ御覽察ノ上議會ニ於テ充分御審議ノ上生カ！ 死カ！ 岐路ニ立テル吾等ノ爲メニ御盡力下サイマス様切ニ御願ヒ申上ゲマス」ト云フ稍々同文ノ葉書ガ本日此處ニ二十五通參ツテ居ルノデアリマス、更ニソレモ「職場ニ於テ勞働組合ノ大會ヲ開イテ決議ヲシテ參ツテ居ルノガ澤山アルノデアリマス、是ハ東亞鑛鋼株式會社ノ勞働組合ノ決議デアリマス、昨日ハ宿屋ノ方ヘハ或ハ大同製鋼其ノ他カラ澤山參ツテ居ツタノデアリマス、其ノ内容ヲ一々檢討致シテ見マス、勤勞所得稅ノ即時撤廢、勞働關係調整法制定絕對反對、生産管理彈壓反對ト云フモノガ大部分デアアルノデアリマス、而モ本法案ガ日本ノ産業復興、産業振興ヲ目途トシテ制定サレル法律ダト致シマスナラバ、モ少シ勞働者ニヨリ良キ協力ノ出來ル態勢ヲ整ヘテ本法案ヲ出サナケレバナラヌノデハナカラウカト云フコトヲ痛感スルノデアリマス、セメテ中央勞働委員會乃至ハ其ノ下ニ作ラレタ所ノ勞働法案審議會等ノ勞資双方ノ協力ヲ得テ本法案ヲ出サレト云フコトガ最も適切ナ方法デハナカラウカト思フノデアリマス、然ルニソレ等ノ方途ヲ講ズルコトナク、唯反對ヲ押切ツテ出サレト云フコトノ其ノ理由ガ我々

ニハ分ラナイノデアリマス、其ノ理由ヲ伺ツテカラ私問題ノ審議ニ入りタイト考ヘルノデアリマスケレドモ、大臣ガ御見エニナリマセヌカラ、モウ少シ進メタイト考ヘルノデアリマス、私ノ考ヘハ本法案ガ制定サレナクモ、昨年十二月制定サレマシタ所ノ勞働組合法ダケデ、今日ノ日本ノ勞働實情ハ完全ニ巧ク運營ガ出來ル筈ダト云フコトヲ痛感スルノデアリマス、勞働組合法ノ内容ヲ具サニ檢討致シマス時、此ノ組合法案ノ中ニ日本ノ凡ユル勞働事情ニ善處スル條項ガ見ラレテ居ルノデアリマス、或ハ先般モ問題ニナツテ居リマシタ所ノ經營委員會ノ問題ニ致シマシテモ、勞働協約ヲ中心ト致シマシテ、最近何處ノ工場デモ經營委員會ヲ設置致シタノデアリマス、寧ロ勞働調整法案ト云フ法律案ヲ出スヨリモ、此ノ所謂經營協議會ヲ法制化サレテ、勞働者ヲシテ經營ニ參加セシメルト云フ法的ナ根據ヲ與ヘル、サウスルコトガ日本ノ産業ノ民主化デアアル、日本ノ勞働者ヲシテ産業ニ全幅ノ協力ヲナサシメル唯一ノ方法デハナカラウカト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、ソレ等ノ色々ナ問題ハ全部此ノ勞働組合法ノ中ニ盛ラレテアルト私ハ思フノデアリマス、然ルニソレ等ノ全面的ナ活用ナクシテ茲ニ勞働調整法ナルモノヲ敢テ出サル、所ノ眞意ヲ私ハ質

シタイ、斯ク考ヘテ居ルノデアリマス、以上ニ付テ先ツ事務當局デモ構ヒマセヌカラ、之ニ對スル御答辯ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○吉武政府委員 只今御話ガゴザイマシタウウニ、本法案ヲ勞務法制審議會ニ付議致シマシタ際、最後ニ勞働者側ニモ反對ガアリマシタコトハ御話ノ通りデアリマス、私共甚ダ残念ニ存ジテ居ル譯デアリマスガ、之ヲ制定致シマシタ理由ヲ申上ゲマス、第一ハ昨年ノ暮ニ制定致シマシタ勞働組合法ハ、主トシテ組合ノ團結權保障ヲ主トシタ法律デアリマス、唯其ノ中ニ勞働委員會ヲ設ケマシテ調停、仲裁ヲナシ得ルト云フ規定ガ僅カニ入ツテ居ル、勞働委員會ガ調停、仲裁ヲスル場合ニハドウ云フ風ニシテスルカト云フ規定ハ全然織込マレテ居リマセヌ、ソレハ引續イテ此ノヤウナ勞働爭議ノ調停ニ關スル法律ヲ出ス積リデアリマシタノデ其ノ方ニ規定スル積リデ讓ツテ居ルノデアリマス、其ノ點ハ昨年ノ暮ノ議會ニ於テモ答辯シテ居ル所デアリ、又議員カラモ然ラバ引續イテ次ノ議會ニハ提出スルヤウニト云フ意見モ出デ居ツタヤウナ次第デゴザイマス、ソレガウツデアリマス

モウ一ツハ雇ミ生大臣カラ申シマシタ如ク、公益擁護ノ爲ノ最小限度ノ制限ガ入ツテ居ルノデアリマス、是ハ一ツハ所謂三十七條ニ

於キマスル拔打爭議ノ制限デアリマス、是ハ勞働者側ノ爭議ニ取リマシテハ多少制限ニナリ氣ノ毒ニハ存ジマスケレドモ、併シ一般ノ大衆ヲ考ヘマスナラバ、交通トカ水道トカ、斯クノ如キ日常生活ニ直接關係ノアル爭議ニ付キマシテ拔打爭議ヲスルト云フコトハ甚ダ面白クナイ、是等ニ付テノ制限ハ唯此ノ法律ノミデナク、各國ノ法律ニモ規定サレテ居ル所デアリマス、特ニ「アメリカ」等ニ於キマシテハ、鐵道等ニ於テハ最長六十日間ノ猶豫期間ヲ置カナケレバ爭議ニ出ラレナイト云フ位ノ制限ガ付イテ居ル位デアリマス、私共三十日間ノ猶豫期間ヲ置キマシタコトハ、勞働者側ノ爭議ヲスル上ニ於テヤリニクイ點ハ十分了承シテ居リマスケレドモ、他面公益ノ爲ニハ或ル程度は位ハ忍ンデ裁カナケレバナラヌノデハナイカト云フ積リテ致シタ譯デアリマス、尙ホモウ一ツノ點ハ三十八條ニ於ケル官吏ノ爭議行爲ノ制限デアリマス、是モ今朝來厚生大臣カラ屢述ベマシタヤウニ、國務ノ遂行ハ一日トシテモ停滯シテハ國民ニ相濟ミマセヌノデ、是モ最小限度ノ已ムヲ得ヌ制限ヲ設ケタヤウナ譯デアリマス、以上ガ此ノ法律ヲドウシテモ出サナケレバナライ理由デゴザイマスガ、勞働者側ノ反對ニハ色々ゴザイマス、全般トシテ申サレテ居ル理由ノ一ツハ勞働法

ヲ先ニ制定スベキデアツテ、其ノ後ニ此ノ法律ヲ出シタラト云フノガ相當全般ヲ通ジテノ御意見デアリマス、是ハ私共モ御尤モナ點デアルト存ジテ居リマス、併シ先程來申シマシタヤウニ、此ノ法律ハ元來カラ言フナラバ、昨年ノ暮ニ出シタ勞働組合法ノ姉妹法タルベキモノデアリマシテ、寧ロ十二月ノ議會ニ同時ニ出スベキデアツタノデアリマス、併シアノ終戦後ノ僅カナ期間トサクサノ間ニ急イデ組合法ダケヲヤツト間ニ合シテ提出シタヤウナ譯デアリマス、遅レタノハ甚ダ遺憾ニハ存ジマスケレドモ、引續キヤツト今度ノ議會ニ提出シタヤウナ譯デアリマス、サウダカラト云ツテ勞働法、詰リ勞働者保護ニ關スル法律ガ遅レテ宜イト云フ理由ニハナリマセヌ、是ハ一刻モ速ク作ルベキデアリ、我我ハ其ノ責任ヲヒドク痛感シテ居ルモノデアリマス、先般來是ガ成案ニ銳意努力シテ居リマシテ、今日モ實ハ私コチラニ出テ居ツテ出席出來マセヌガ、厚生省ニ於キマシテハ勞務法制審議會ヲヤツテ居リマス、先般來之ヲ立案シテ急イデ居ルヤウナ譯デアリマス、是ハ是非其次ノ臨時議會ニハ私共出シタイト思ツテ居リマス、此ノ法律ハ唯組合法トカ調整法ノ如キ單純ナ法律デハゴザイマセヌデ各方面ノ勞働者各企業ニ互ル賃金デアリマスルトカ、勞働時間デアルト

カ、或ハ安全衛生ノ問題デアルトカ、或ハ扶助ノ問題デアリマスルトカ、勞働契約ノ問題デアルトカ、各種ニ互ル法律デアリマス、サウ短時日ニ出セト申サレマシテモ案ニ書ケヌコトハアリマセヌガ、極メテ粗末ナモノニナリマス、是ハ重要ナ法案デアリマスカラ、私共モ此ノ春以來實ハ銳意勉強シテ、急イデ居ル譯デアリマス此ノ點遲レタコトハ甚ダ申譯ゴザイマセヌガ、故意ニ遅ラレタ譯デハゴザイマセヌノデ、御諒承戴キタイト思ヒマス、尙ホ此ノ勞働組合法ノ健全ナル發達ヲ助長スルト云フガ、此ノ法律ガ何處ニ役ニ立ツカト云フ御話デアリマスガ、斡旋ニ致シマシテモ、調停ニ致シマシテモ、又仲裁ニ致シマシテモ、決シテ使用者ダケガ利用スベキモノデハゴザイマセヌ、現ニ勞働委員會ニ於キマシテモ、色々ナ手續ガゴザイマセウガ、勞働者側カラモ隨分澤山提訴サレテ居リマス、中央勞働委員會デモ寧ロ勞働者側ノ方ノ提案ガアツテ、使用者側ノ提案ガナイ位デアリマス、各府縣ニ於キマシテモ必シモ此ノ機關ヲ使用者ダケガ利用スルトハ私共考ヘテ居リマセヌ、爭議ハオ互ヒニ自主的ニ解決サレルコトヲ私共ハ本旨ト致シマスルケレドモ、オ互ヒデ解決付カナイ時ニハ、或ハ使用者側カラモ提出サレルコトデアルデアリトセウシ、又勞働者

側カラモ提案サレルコトハアリマス、ソコデ公正ナ立場ニ立ツテ、サウシテ爭ヒヲナクスルト云フコトハ、私ハ一刻モ早く制定サルベキモノデアツテ、放置サレテ宜イト云フコトニハナラナイガト思ヒマス、要ハ是ノ運用デアリマス、此ノ運用ガ兩方ニ公正ニ行ハレルナラバ、私ハ決シテ勞働者ニ不利デハナイト思ヒマス、今日勞働委員會ガ色々議論サレテ居リマス、私共モ此ノ勞働委員會ノ構成ニ付キマシテハ完全ナモノトハ考ヘテ居リマセヌ、目下是ガ改正ニ付キマシテハ中央勞働委員會ニ諮問ヲ致シテ居リマスノデ、成案ヲ得レバ此ノ施行ニ伴ツテ早く改組シテ公正ナル組織ニ置換ヘタイト思ツテ居リマス、此ノ法律ガ爭議ヲ解決スル仕組トシテ、斡旋ナリ、調停ナリ、仲裁ナリノ三ツノ方法ガゴザイマスガ、此ノ斡旋ナリ、調停ナリ、仲裁ハ官廳ガヤルノデゴザイマセヌ、從來動モシマスルト官吏ガ間ニ入りマシテ解決ヲシテ居リマシタケレドモ、是ハ總テ民主的ナル勞働委員會、其ノ勞働委員會ノ中ニ於ケル調停委員會、勞働者側、使用者側及ビ中立ト云フ極メテ日本トシテハ他ニ例ノナイ民主的ナル組織ニ依ツテ之ヲ解決スルト云フノデアリマス、決シテ是ハ勞働者側ニ役立タナイ法律デアルトハ存ジテ居ナイ譯デアリマス

尙ホ經營協議會ヲ法制化シタラドウカト云フ御意見デゴザイマスガ、此ノ議論ハ我々モ實ハ相當研究ヲシテ居リマス、商工省邊リノ意見ニ於キマシテハ之ヲ法制化シヨウト云フ意圖モゴザイマス、併シナガラ此ノ經營協議會ト云フ所謂事業主ト勞働者トガ相共ニ協議ヲシテ、産業民主化ヲ圖ルト云フコトハ、各企業ニ依ツテ色々違ヒマス、又勞働組合ノ色々發達ニ依ツテモ違ヒマス、ソレヲ全國一律ニ各企業、各勞働組合ニ當嵌マル基準ヲ以テ之ヲ強制スルト云フコトハ、私ハ決シテ運用宜シキヲ得タルモノトハ存ジテ居リマセヌ、私ノ聞イテ居ル所ニ依リマスト、「ドイッ」ガ此ノ前ノ第一次大戰ノ後ニヤハリ此ノ經營協議會ノヤウナモノヲ法制化致シマシテ、ヤラセタノデアリマス、數ハ全國ニ行渡ツテ出來タケレドモ、其ノ運用ハ一向ニ宜シキヲ得ナクテ、遂ニ廢メタト云フ例モ聞イテ居ルノデアリマス、私共ハ是ハヤハリ勞働者ノ御互ヒノ話合ヒノ上デ協議會ヲ設ケ、又其ノ運用ヲシテ行カレルコトガ結構ダト思ツテ居リマス、唯是等ニ付キマシテハ、色々或ハ行過ギノ點モアリマスルシ、或ハ又極メテ微温的ナモノモアリマスルノデ、政府ト致シマシテハ、先般ノ中央勞働委員會ニ諮問致シマシテ、經營協議會ハ一概ドウアルベキモノデアルカト

云フ一ツ見解ヲ諮問シタノデアリマスルガ、新聞等デ御承知ト思ヒマシテハ、一應現在ニ於ケル經營協議會ノスクアルベシト云フ指針ヲ設ケテ居ルノデアリマス、是等ニ於キマシテハ十分勞働者ノ意見ガ反映スルヤウニナツテ居リマス、其ノ點御諒承ヲ戴キタイト思ヒマス

○山下(榮)委員 本法律案ハ、完全ナル日本勞動運動ノ助長、發展ノ爲ニ、調停或ハ仲裁、斡旋等ノ方法ガアル、斯ウ伺ツタノデアリマスガ、此ノ法律案ガ出來ルマデニ、日本ニマダ勞働組合法ガ制定サレル以前既ニ勞働爭議調停法ト云フ法律ガアツタノデアリマス、而モ其ノ法律ノ中ニ、勞働爭議ハ警察ガ之ヲ強制調停ヲスルト云フコトハ毛頭書カレテ居ナイノデアリマス、勞働爭議ハ双方ガ圓滿ニ解決スル爲ニ委員ヲ作ツテ、各府縣ニハ府縣ニ委員ヲ作ツテ、爭議調停ヲナスコト云フコトニ定メテ居ルノニモ拘ラズ、從來ノ爭議調停法ノ一事實ヲ見マシテモ、調停委員會ガ開カレテ、圓滿ナ解決ヲ見タト云フコトノ例ハ少イノデアリマス、殆ンド場合ガ、當時ハ特高警察ガ中ニ人ツテ參リマシテ、殆ド爭議團ノ方ヲ彈壓ヲ致シマシテ、爭議ノ仲裁ハ勞働者側ノ方ガ強制的ニ抑ヘツケラレテ行ハレテ居ルノデアリマス、私ハ其ノ過

去ノ事實ヲ見マシテ、將來是ガ通過致シマシテ運營サレタト致シマス時ニ、本法ニ付テモ亦左様ナ處ナシトシナイノデアリマス、左様ナ所ニ今日ノ勞働組合、勞働者ガ反對スル所以ガ存スルト想像出來ル次第デアリマス、今吉武政府委員ノ説明ニ依ルト、而モ民主主義的ニ委員ヲ舉ゲテ行フト仰シヤツタガ、此ノ條文ヲ讀ンデ見マス

ト、或ハ中央、地方ノ勞働委員乃至ハ勞働委員會デ指名致シマシタ委員ガ其ノ斡旋ノ勞ニ當ル、斯ウナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ動モスルト私ハ從來ノ勞働爭議調停法ト同ジヤウナ運命ニ立至ルノデハナカラウカト云フ懸念ヲ持タザルヲ得ナイノデアリマス、隨テ法案ノ審議ノ時ニハ、成程御説ノ通り彈壓ヲ致シマス、強要致シマスト云フコトハ毛頭言ハレテ居ナイノデアリマスケレドモ、事實運營ニ至リマス、法ノ審議ノ時トハ趣フ一變シテ參ルノデアリマ

マス——今厚生大臣ガ御見エニナリマシタカラ、私ハ重ネテ伺ヒタイト思フノデアリマス、先程吉武政府委員カラ色々本案制定ニ向ツテノ方針ニ付テ伺ツタノデアリマ

スガ、私ノ伺ハント欲スル「ポイント」ハ、本法律案ヲ出サレノニ、中央勞働委員會ノ下ニ設置サレタ勞働法制審議會デ審議ナサレテ、本法律案ヲ提出ニナツタト拜聽致シテ居ルノデアリマス、而シテ其ノ審議會ノ審議ハ、勞働者側ノ委員ハ全部反對デアル、中立側ノ委員ノ方モ一カ乃至二名反對ガアツタト云フヤウナコトヲ伺ツタノデアリマス、本法律案ノ實施ガ日本ノ勞働運動ノ圓滿ナル、健全ナル助長發達ニアリ、日本ノ産業ノ復興、日本ノ産業ノ振興ヲ目的トシテ行ハレルト致シマスナラバ、勞働者モ全面的ニ協力ノ態勢ヲ以テ、本法律案ノ提出ナリ、實施ヲ見ルコトガ何ヨリモ肝要デア

リマシタカラ、私ハ途中カラ承リマシタノデアリマス、色々ナ御體験カラ來タ色々ノ御意見ヲ承ツテ、私モ欣幸トシテ居ル所デゴザイマス、此ノ法律案ハ御承知ノ通りニ勞務法制審議會ニ掛ケマシテ、實ハ勞働者側ノ代表ノ方モ小委員ナドニオナリ下サイマシテ、實際的ニ起草ノ衝ニ御當リ下サツタコトデアリマシ

テ、多分勞働組合側ノ御意見モ十分含マレテ居ルモノナリト云フ考ヘノ下ニ、私ハ進メテ居ツタノデアリマス、一方關係方面トモ色々御承知ノ通りノ折衝ガアリマシテ、關係方面カラノ完全ナル指導ノ下ニ此ノ問題ヲ取扱フコトニナツタ次第デアリマス、ソレデ實ハ愈々採決スル間際ニナリマシテ、勞働組合側トシマシテ反對ダト云フコトデ、私ドウモ稍々意外ノ感

勞働爭議頻發ハ言フマデモナク生座ニ良イ影響ヲ持チマセヌ、ドウシテモ生産ヲヤラナクチャナラヌ、ソコデ之ニ對スル調停ナリ、仲裁ナリ、斡旋ナリ、是ハ今マデ警察官ガ關與シタ場合ニハ實效モ少ク、又彈壓ト云フコトヲ致シタ、併シ「アメリカ」ノ實際ナドニ於キマシテモ、單純ナ斡旋デ中々效果ヲ舉ゲテ居ルヤウナ事實モアリマス、斯ウ云フ理ノ通ツタ途ヲ盡シテヤルコトニ付テ、ドウシテ是ガ皆サンニ納得シテ貰ヘヌノカト云フコトヲ實ハ甚ダ遺憾トシ

テ居ル次第デアリマス、ソレカラモウ一方ハ公益問題、是ハ度々御説明シマスル通り、官吏ノ「ゼネスト」ノ如キハ少數ヲ以テ多數ノ公益ヲ妨ゲルモノデアルト云フコトニ政府ハ固イ信念ヲ持ツテ居リマス、又一ツノ問題ハ撓打爭議ガ如何ニ市民ヲ困ラセタカト云フコトハ現實ノ事實デアリマス、サウ云フ意味ニ於テ斯ウスルノハ國家全體ノ福祉ノ上ニ於テ當リ前デヤナイカト云フコトニ私共ハ固イ信念ヲ持ツテ居ル、是レダケノコトデアリマシテ、況ヤ官吏關係、公益關係ノ勞働者以外ニハ關係スル所全ク——斡旋、調停、仲裁ノ問題デ、決シテ是ハ彈壓ノ意味モ何モナイ、此ノ本當ノ眞心ガ分ラヌ譯ハナイト私ハ思ヒマス、サウシテ是ハ政府モ今日ノ國際情勢、今日ノ日本ノ勞働ノ推移ニ於テハ、

是ハ當然ナルベキコトダト云フ固
イ信念ノ下ニ立ツテ居リマス、暫
定のニハ色々議論ガアリマシテモ
段々分ル、又此ノ法案ヲ斯ウヤツ
テ居ル中ニモ段々御理解ガ進ミツ
ツアルモノデアル、サウ云フ確信
ノ下ニヤツテ居ル譯デス、其ノ點
ヲ御諒承ニナツテ、何卒出來ルダ
ケ早ク御協賛アラント希望ス
ル次第デアリマス

○山下(榮)委員 抜打のナ爭議ヲ
ヤツテハナラヌカラ斯ウ云フ法律
ガ必要ダ、斯ウ云フコトヲ言ツテ
居ラレノデスガ、元來日本ニマ
ダ勞働組合法ト云フ法律ガアラザ
ル時代ニ行ハレタ所ノ勞働爭議ニ
於テモ抜打のナ勞働爭議ヲヤツタ
コトハナイノデアリマス、從來組
合法ノアラザル時ノ爭議行爲デ
モ、或ハ數願書ヲ出シテ數願書ガ
聽キ入レラレナケレバ、要求書ヲ
出シ、屢々交渉ヲ重ネテ其ノ圓滿
ナ解決ガ出來兼ネル場合ニ、始メ
テ爭議行爲ニ出ルト云フコトヲ日
本ノ勞働運動ハ行ツテ來テ居ル
デアリマス、而モ今日ハ完全ナル
組合法ガ制定サレテ行ハレル勞働
運動デアリマスカラ、今大臣ノ言
ハル、ヤウナコトハ、毛頭アリ得
ナイコトヲ我々ハ想像致シテ居ル
ノデアリマス、順序ヲ經テ正シイ
運動ガ展開スルコトヲ希ヒ、左様
ニシナケレバナラヌト考ヘテ居ル
ノデアリマス、隨テ其ノ面カラダ
ケ本法律ヲ制定スルコトハ當ラ得

テ居ナイ、斯ウ考ヘルノデアリマ
ス、殊ニ先程吉武政府委員ノ説明
ノ中ニモアツタト思フノデアリマ
スガ、私ハ敗戦後ノ日本ノ將來ハ
如何様ナコトガアツテモ勤勞國家
トシテノ性格ヲ帶ビナケレバナラ
ヌ實情ニ迫込メラレテ居ルノデア
リマス、左様ナ國家實情ノ場合
ニ、吉武政府委員ノ説明ニモアリ
マシタヤウニ、私ハ本調整法ト云
フ法律ヨリモ、寧ロ勞働法ト云フ
基本法ヲ制定サレテ、然ル後ニ調
整法、其ノ他ノソレニ附隨スル所
ノ法律ガ生ルベキガ當然デアルト
云フコトヲ我々モ考ヘテ居ルノデ
アリマス、政府ノ方トシテモ左様
ナコトヲ想像シ、既ニ根本法ハ今
立案シツ、アル、斯ウ伺ツタノデ
アリマス、而シテ遅クモ次ノ臨
時議會ニハ提案スル、斯ウ仰ツシ
ヤルノデアリマスカラ、次ノ議會
ニ提案サル、所ノ勞働基本法ト相
並ンデ、ソレマデニ全日本ノ勞働
者ヲ納得セシメ、或ハ中央勞働委
員會、地方勞働委員會ノ委員ヲ納
得セシメテ、全部ノ協力ノ下ニ勞
働調整法ト云フヤウナモノノ生レ
ルコトモ非常ニ好マシイコトデハ
ナカラウカト思フノデアリマス
ガ、ソレマデ此ノ法律ガナケレバ、
我が國ガ持タヌト云フ程窮迫シタ
實情デハナイ、斯ウ考ヘルノデア
リマス、折角法律ヲ作ルナラバ、
勞働者モ資本金側モ之ニ協力スル
ノ態勢ガ整ヘラレル所ニ私バ其ノ

法律ノ運用ガ完全ニ行ハレ得ル、
斯ウ考ヘルノデアリマス、此ノコ
トニ對シテ厚生大臣ハ如何様ニ御
考ヘニナルカ、御信念ノ程ヲ御伺
ヒシタイト致ヒマス

○河合國務大臣 勞働基準法ト申
シマスカ、勞働保護法ト申シマス
カ、其ノ制定ノコトニ付キマシテ
ハ御話ノ通りニ此ノ法案ト一緒ニ
出シタ方ガ宜カツタト思ヒマス
レドモ、二ツノ法律トモ成ベク早
ク出シタイ、此ノ調整法モ保護法
モ成ベク早く出シタイト云フコト
ハ、勞働組合法制定以來ノ方針デ
アリマス、ソコデ此ノ方ガ早ク間
ニ合ツタト云フコトノ方ガ事實デ
アリマス、片方ノ法律ハ勞働條件
ノ色々細カイ點ニ入ラナケレバナ
リマセヌノデ、法律ハ厩大ナモノ
ニナリマス、サウシテ民間ノ意見
モ十分聽キマセヌト、間違ヒヲ起
シテハイカヌト思ヒマス、ソレデ
唯立法技術上、片方ハ時ヲ要セ
ズ、片方ハモット時ヲ要スルト云
フ事實デアリマス、ソレデ遅レル
ノデアリマス、決シテ遅ラシテ居
ルノデハアリマセヌ、遅レルト云
フ事實ナンデデアリマス、出來ルダ
ケ早イ機會ニ出シタイト思ツテ居
リマス、左様御承知ヲ願ヒタイト
思ヒマス

○山下(榮)委員 私ハ今大臣ノ答
辯デハ納得出來ニクイノデスガ、
モット勞働者ニ全面的ニ——獨リ
法律ノ實施ニ對スル考ヘ方デナ

ク、日本ノ敗戦後ノ建直シ、産業
ノ復興乃至ハ産業ノ振興ト云フ方
面ニ力ヲ注ガシメル方途ヲ執ルト
致シマスナラバ、今勞働者ガ喧シ
ク切實ニ叫ンデ居ル問題ヲ先ニ取
上ゲテ、ソレヲ解決シテ行クト云
フコトガ今日ノ急務デハナカラウ
カ、斯ウ考ヘラレルノデアリマ
ス、先程大臣ハオイデナカツタノ
デスガ、私ノ手許ハ參ツテ居リマ
ス色ナ各方面カラ參リマス書類
ヲ讀上ゲタノデアリマスケレド
モ、ドノ方面ノ勞働組合ノ意見ヲ
徵シテ見マシテモ、今各職場デ切
實ナ問題ハ何デアアルカト申上ゲマ
スト、午前中ノ同僚議員ノ質問ノ
中ニモアリマシタヤウニ、勞働者
ノ加配米ノ問題、乃至ハ勤勞所得
稅ノ問題等ガ喧シイ問題デアアル
デアリマス、左様ナ今日ノ具體的
ナ實際ノ問題ガ解決サレテ行クノ
デナケレバナラヌノデアリマス、
殊ニ今ハ加配米ヲ全部のニ停止サ
レテ、部分的ニ行フカノ如ク拜聽
致シタノデアリマス、今日二合ニ
勻ノ配給量デ、而モソレガ遅配、
缺配續キノ時ニ、是ダケノ食糧デ
勞働者ニ精一杯働ケ、産業ニ協力
セヨト言フコト自體ガ非常ナ無理
デアアルノデアリマス、當局モ是ガ
無理デアアルコトハ能ク御諒承ナ
サツテイラツシヤルデアラウト想
像スルノデアリマス、厚生省トシ
テハ一日モ速カニ全勞働者ニ、全
産業人ニ加配米ヲシタイト云フ肚

ヲ持ツテイラツシヤルデアラウコ
トハ想像致シマスケレドモ、仄聞
致ス所ニ依ルト、加配米ノ方法ガ
農林省關係カラ或ハ商工省關係ニ
移ツタトカ、或ハ商工省關係ダケ
デハイカヌカラ農林省關係ト協議
ノ上デヤルト云フヤウナコトヲ色
色伺ツテ、工場ノ方デハ加配米ノ
ナイ今日洵ニ四苦八苦ヲ致シテ居
ルノデアリマス、其ノ加配米ノ問
題ガ如何様ナコトニ決定サレタノ
カ、此ノ席上デ只今伺ヒタイ、斯
ク考ヘテ居ルノデアリマス、或ハ
厚生省ガ取扱フコトニナツタノ
カ、或ハ農林省ガ取扱フコトニナ
ツタノカ、ドノ作業種別ニ加配米
ヲ切捨テルト云フコトヲ決定サレ
タノカ伺ヒタイト思フノデアリマ
ス、或ハ勤勞所得稅ノ問題ハ、是
ハ問題外デアリマスカラ、厚生大
臣ニ伺フノハ甚ダ無理ダト思フノ
デアリマス、何レ大藏大臣ノ御見
エノ節ニ其ノ問題ニ付テハ伺ヒタ
イ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス
○河合國務大臣 加配米ノ問題ニ
付テ御尋ネデアリマスガ、出來ル
ダケ速ク恢復シマシテサウシテ勤
勞者、勞働者ガ成ベク食生活ニ於
テ困ラヌヤウニシタイコトヲ切實
ニ希望シテ居ルコトハ申スマデモ
ナイコトデアリマス、此ノ問題ハ
直接厚生省ガ關係シテ居リマセヌ
ノデ、正確ニ申上ゲルコトハ出來
マセヌガ、是ハ御承知ノ通りニ、
食糧危機突破ノ問題ニ關聯シマシ

テ、農林省ニ於キマシテ米ノ計畫ヲ立テマスル上ニ、ドウシテモ足ラス、ドウシテモ一般ノ國民ニ二合一ト云フモノヲ維持出來ナイト云フ非常ナ深刻ナ問題ニ來マシテ、サウシテ其ノ財源ニ何處カ持つテ來スト二合一ト云フ出來スト云フコトデ、已ムヲ得ズ特殊ノ一番重イ方ノ加配米ヲ殘シマシテ、輕イ方ノ加配米ヲ取ツテ、サウシテソレデ一般國民ノ二合一トヲ維持シタノデアリマス云フコトガ、其ノ當時ノ真相デアルト私ハ考ヘテ居リマシタ、ソレデ問題ハ農林省ニ於テ所管シテ居リマシテ、只今ト雖モ、是ハ勿論商工省モ關係ヲナシテ居リマスケレドモ農林省デ處理シテ居リマス、サウ考ヘテ居リマス

○山下(榮)委員 加配米ノ問題ハソレデヤ何レ農林省關係ノ方ノ御見エニナツテ居リ時ニ御尋ネシタイト思ヒマシテ、保留致シマス
次ニ伺ヒタイト思ヒマスコトハ、生産管理ノ問題デ、過般同僚赤松君カラ色々質疑ガ行ハレタノデアリマスガ、私ハ今伺ヒタイト思フコトハ、私ハ兵庫縣ノ地方労働委員會ノ委員ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、本年ノ三月ダツタデスカ、東京芝浦電氣ノ姫路ニアリマス余部工場ガ爭議ヲヤリマシテ、生産管理ニ入ツタノデアリマス、此ノ問題ハ逐一地方労働委員會ニ報告ニナツタノデアリマスガ、

兵庫縣ノ労働委員會ノ會長ガ直チニ其ノ爭議ノ調停ニ、委員會トシテ乗出サウト云フ意見ヲ出サレタノデアリマス、所ガ縣ノ勞務官ノ御意見ニ依ルト、所謂勞務課ノ意見ニ依リマス、只今ノ所デハ其ノ時期デハナイ、労働委員會ガ直チニ其ノ調停ニ乗出スト云フ所ノ理由ニハ、或ハ社會ノ安寧秩序ヲ其ノ爲ニ素ストカ、或ハ公益上許スベカラザル問題デアルトカ云フヤウナ時ニ調停ニ入ルノデアツテ現在ノ所デハ社會秩序ヲ素スト云フコトモナケレバ、資本家側ガ調停ヲ望ンデモ居ナイシ、爭議團側モ調停ヲ望ンデ居ナイ、暫ク此ノ儘推移ヲシテ行ツテ欲シ、斯ウ云フ意見デアツタノデアリマス、其ノ時ノ報告ニ依リマス、此ノ場合ノ國家的ナ見地カラ批判スルナラバ、生産管理ニ入ツテカラ、今マデ七十何「パーセント」ノ出勤率デアツタモノガ九三%ノ出勤率ニナツタ、生産率モ會社ガ定メタ百「パーセント」ノ生産率ヲ遙カニ超過シテ百三十何「パーセント」ノ生産率ニナツタ、會社ガ管理ラシテ居ル場合ハ百「パーセント」ノ生産率ニモ達シテ居ナイ、即チ何レノ面カラ見テモ、國家の見地カラ見ルナラバ生産ト云フモノハ爭議團ガ管理シテ居ルコトノ方ガ生産率ガ良インダ、出勤率ガ良インダ、此ノ場合ニ今直チニ労働委員會ガ調停ニ乗出スト云

フ理由ヲ發見シ得ナイ、斯ウ縣ノ勞務課ノ方ハ言ハレタノデアリマス、私ハ其ノ事ヲ聽イテ更ニ申上ガタノデアリマスガ、爭議團ガ生産管理ヲヤツテ左様ナ實績ヲ示スト云フコトハ、是ガ永久ニ續ク問題デハナカラウ、一時的ナ現象デアアルコトヲ想像シナケレバナラヌ、併シナガラト云フテ其ノ問題ヲ我々ハ笑ツテ看過スベキ問題デハナイ、何ガ九三%ノ出勤率ニナシメタノカ、何ガ百三十何「パーセント」ノ生産率ヲ擧ゲシメタノカ、此ノコトハオ互ヒニ深ク研究檢討シナケレバナラヌ問題デアリカ、斯ウ其ノ當時申上ガタノデアリマス、過般來カラ私ハ本委員會ノ席上デ以テ此ノ問題ガ議論サレル度毎ニ、大臣ハ生産管理ハイカナイ、斯ウ言ツテ居ラレルノデアリマスガ、若シ今私ガ申上ガルヤウナ事實ガ所々方々ニ展開スルト致シマスナラバ、生産管理必ズシモ不當ダトカ、或ハ社會ノ安寧秩序ヲ壞ストカ云フコトニハ、ナリ得ナイト私ハ考ヘルノデアリマス、或ハ獨リ東京芝浦電氣ノ姫路余部工場ダケデハナカラウ、其ノ外ニモ或ハ之ニ類スルヤウナ成績ヲ擧ゲタ生産管理モアリ得ルンデハナカラウカト云フ想像ヲ致スノデアリマス、若シ左様ナ實績ヲ示シ、左様ナコトガ何等カノ方法デ永久ニ持續スル方法ガアルト致シマスルナラバ、國家ノ見地カラ

洵ニ宜イコトダト言ハナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、是等ニ付テハ餘程政府當局モ檢討ヲ重ネナケレバナラヌ問題デアルト思フノデアリマスガ、若シ左様ナ事態ガアツテモ、サウ云フヤウナコトハ全面的ニイカヌ、斯ウ大臣ハ否定サレルノデアリマスガ、左様ナ問題ハ深ク檢討シテ、其ノ成績ガ何ニ依ツテ行ハレルカト云フコトヲ考ヘテ採上ゲテ、ソレヲ全面的ニ社會ニ活用スルト云フ御考ヘヲ御持チニナツテ居ルカ、其ノ邊ノコトヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○河合國務大臣 生産管理ガ生産率ヲ擧ゲタト云フ事實ニ付キマシテハ、只今ヤハリ御指摘ノ通りニ一時的ニハ擧ツタ例ハアリマスガ、ヤハリ結局ニ於テ擧ツタ例ハ僅少ダト私ハ思ツテ居リマス、大體ニ於テハ擧ツタトハ言ヘナイト私ハ考ヘテ居リマス、併シナガラ此ノ生産ガ擧ル、擧ゲスト云フ問題ト、生産管理ガイカスト云フ問題トハ、是ハドウモ別ニ御考ヘラ願ハナケレバナラヌ、ト申スノハ、譬ハ甚ダ惡イデスガ、茲ニ家ガ二軒竝ンデ居ル、家ガ二軒竝ンデ居ルト云フノハ、例ヘバ是ハ労働權ト云フモノト經營權ト云フモノトハ二本建ニナツテ居ルト云フ意味ナンデス、ソレデ片方ノ人ガ隣ノ畑ヘ行ツテ、マア君ノ畑ガ遊ンデ居ルカラ、私ガ耕シテヤラウ

ト云フヤウナコトヲ想像シテ見ルノデアリマス、イヤ、是ハ君ニ耕シテ貰ハヌデモ、俺ノ地面ダカラ、マア黙ツテ居テ私ニ委セテ呉レ、イヤ私ハアナタガ何ト云フテモ、私ガ耕シテヤルト云フコトハ社會通念トシテドウカ、ソコデ國家ガソコヘ來テ、イヤドウモ君遊バシテ置クト云フノハ國家ニ對シテ濟マヌデヤナイカ、是ハ耕サレナケレバイカヌ、耕スノハ百姓ヲ持つテ來ル、隣リノ方モオイデヲ願フ、是ガ生産「サボ」ニ對スル手當ト云フ風ニ私ハ物事ヲ考ヘタイ、ソレダカラ相手方ノ承諾ナクシテ

日本ノ憲法、日本ノ只今ノ國デハ、又新憲法デハ又民主國デハ、是ハ勞働權ト經營權ト云フモノトヲ對立的ニ認メテ居ル「ロックアウト」サレレバ仕方ガナイト云フ建前ニナツテ居ル、ソコデ問題ハ、ソレガ社會ノ秩序デアルト云フコトニナリマス、是ハ社會狀態ガ變ルト別デスヨ、日本ト云フモノノ組織ガ變ツテシマフ、憲法モ變ル、日本ノ「デモクラシー」ガ或ル形ニ變ルト云フヤウナコトニナレバ別デスガ、今日此ノ日本ニ於キマシテハ、是ハソコニモ一ツノ線ヲ引カナケレバナラヌト云フ風ニ私ハ物事ヲ考ヘテ居ル、ソレダカラ是ハ偶々宜イカラ隣ノ地面ヲ耕シテ上ゲマスト云ハレテモ、イヤ是ハ俺ノ地面ダカラト云フコトニナツテ居ルノダカラ、ソ

レハ先ツ承諾ノナイ以上ハ御入リニナラヌ方宜カラウ、是ガ社會ノ秩序デス、秩序ト云フモノハ目ニ見エヌモノダケレドモ、垣ハ大キイ、是ガナクチャ亂レマス、フコトハ私ハ茲ニ確信ヲ持ツテ居リマス、サウ云フ意味ニドウゾ御承知ヲ願ヒマス

○山下(榮)委員 出勤率ガ好クナリ、生産率ガ上ツタト云フコトノ理由ニ付テハ、大臣ハ如何ヤウナ見方ヲサレテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○河合國務大臣 是ハ非常ニ大キナ問題デス、此ノ問題ハ勞働者ガ自分デヤルト云フコト、自分ノ力デヤルト云フコトガ大キイモノダト云フ、勞働者ノ自覺及ビ其ノ力ノ動カ所、之ヲ國家ハ捉ヘテ行カナケレバナリマセヌ、將來ノ日本ハ勤勞國家ニナルト云フ御意見ガアリマシタガ、私ハサウハ斷定シマセヌ、併シナガラ勤勞ト資本トノ立體的國家ニナリマス、決シテ平面デハナイ、立體的ニ私ハ考ヘテ居リマス、サウ云フ意味ニ於テ勞働者ノ自覺、ソレニ基イテ自發的ノ勞働意欲ト云フモノニ對スル非常ナ尊重ヲ拂ハナクテハナラヌ、此ノ點ニ付テハ同感デアリマス

○山下(榮)委員 ソコデ伺ヒマスコトハ、丁度大臣ノ御考ヘモ私ガ考ヘテ居ルコトモ同ジダト私ハ思ヒマス、勞働者ガ自分デ經營ヲ管

理シテ居ルト云フ誇リ、其ノ感激ト云フモノガ九十何「パーセント」ノ出勤率トナリ、百何十「パーセント」ノ生産率ニナツテ現ハレルト斯ウ考ヘルノデアリマス、若シサウダトスルナラバ、大臣ハ先程オイデニナラナカツタノデアリマスガ、當初ニ私が申上ゲマシタ所ノ、今勞働組合法ノ團體協約ニ基イテ協約ヲ致シマスコトノ中ニ、經營協議會ト云フ委員會ヲ設ケツ、アルノデアリマス、其ノ經營委員會ト云フモノヲ法制化シテ、勞働者ガ經營ニ參加シタト云フコトノ法的根據ヲ與ヘシメルト云フコトガ、勞働者ニ生産意欲ヲ昂揚セシムル所ノ唯一ノ方法デハナイカト云フコトヲ、絶エズ私ハ考ヘテ居リマス、隨テ此ノ經營協議會ナルモノヲ法制化スルト云フコトガ、今日ノ日本ノ産業復興乃至ハ産業振興ノ問題ニ重大ナル結果ヲ與ヘルノデハナカラウカト思フノデアリマスガ、其ノコトニ對シテ政府ハ如何ヤウニ御考ヘニナツテ居ルカ、私ハ厚生大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○河合國務大臣 只今ノ御質問ニ對シ御答ヘ致シマス、是ハ經營協議會ト云フモノニ付キマシテモ、ヤハリ一面ハ平面的ニ考ヘテ行カナクテハナリマセヌ、是ハヤハリ經營者ト云フモノト勞働者ト云フモノトガ二元的ニ「デヴィジユアル」ニ出來テ居ル以上ハ、ソ

レハヤハリ平面的ニ考ヘテ行カナクチャナラヌ、併シナガラ將來ノ方針、行キ方トシマシテハ、是ハヤハリ立體的ニ渾然ト段々ト融ケ合ツテ行クト云フコトガ私ハ理想ダト思ヒマス、ソコデ此ノ經營協議會ト云フモノ、勞働協議會ト云フモノニ二ツノ形ヲ御考ヘニナル、二ツノ形ヲ考ヘルト云フハ、餘リ宜イ表ハシ方デハアリマセヌガ、結局是ハ合意デ行カナケレバナリマセヌ、合意デ行カナラバ、ドウ云フ形デモ宜イト云フコトニナルデス、併シナガラ片方ノ強壓デ行クト云フコトナラバ、ソ

レハ自ラ茲ニ眞中ニ垣根ガアルト云フコトヲ私ハ申ス譯デアリマス、サウ云フ風ニ此ノ問題ヲ考ヘテ行ケバ、契約ノ自由ハモウ何モノヨリモ權力ヲ持ツテ居リマス、ト云フコトダカラ契約ノ自由デ行クト云フコトハドウ云フ形ヲ作ツテモ宜イ、併シ現ニ今私共ノ知ツテ居ル會社ナドデモ、モウ全ク勞働者ト一ツニシテ、オ團子ニ捏ネタヤウナ形サハモウツテ居リマス、ソレハモウ契約ノ自由デス、併シナガラ相手方ガ承知シナイノニ之ヲ推シテ行カウト云フ形ニ無理ガアツテハナラヌ、是ハ民主國家ノ本質デス、ソコニハツキリシタ區別ガアル、ソコデ法律デ作ルカ作ラヌカト云フコトハ問題デス、問題デアリマスケレドモ、餘

リ法律デ形ヲ作ルノハ、今マデノ

統制經濟ノ日本ノ經驗ニ於キマシテモ、宜イモノハ出來マセヌ、ヤハリソコニ自然ノ發達ヲ待ツタ方ガ宜クナイカ、其ノ方ガ却テ資本ト勞働トノ將來ニ對スル對策トシテ宜カラウト云フ信念ノ下ニ、餘リ無理ナ形ハ執ラヌト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山下(榮)委員 能ク分ツタノデアリマスガ、ソレデハ片ツ方ガ好マナイ場合ニ殊更法制化スルヨリモ、寧ロ双方合意ノ上デ協議會ヲ作ルコトノ方ガ圓滿デ宜イト云フヤウナ大臣ノ御考ヘノヤウデアリマス、私モ左様ナコトガ宜イト考ヘルノデアリマス、然ラザレバ本勞働調整法ト云フモノモ、全面的ニ勞働者ガ反對シテ居ル時ニ、私ハ前者ノ場合ト同ジヤウニ、双方好マナイノデアリマスカラ、片ツ方好マナイノデアリカラ、私ハ此ノ際ハ或ハ延期サレルカ、撤回サレルカシテ、來ルベキ双方ガ諒解シ合フ時ニ俟ツコトガ一番妥當ナノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス

○河合國務大臣 私ノ申上ゲマシタ如ク以テ私ニ擬シナサルヤウナ御論法デアリマスルガ、ソレハソレデ、是ハ是デス、ト申スノハ、之ニ勞働者ノ誤解ガアルト私共ハ信ジテ居ル、此ノ正シイ議論ガ分ツテ與レヌ答ガナイト思ツテ居リマス、又段々分ツテ來ツ、アルト私ハ思ヒマス、サウダカラ此ノ法

律ハ出シテ行カナクチャイカヌ

○山下(榮)委員 甚ダシツコイヤウデスケレドモ、ソレデハ先程モ申上ゲマシタケレドモ、私等ノ所ニハ屢ニ反對ノ決議ヤ文書ガ參ルノデアリマスガ、大臣ハ地方ニ於ケル所ノ勞働組合ト云フモノハ本法

律案ニ反對シテ居ルト云フコトヲ御存ジナイノデセウカドウカラ伺ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ何回モ立ツノガ何デスカラ、立ツタ序デニ申上ゲマスガ、モウ一ツ重要ナコトヲ伺ツテ置キタイト思フコトハ、是亦屢ニ問題ニナツタコトダト思フノデアリマスガ、本法草案ノ三十八條ニ「警察官吏消防職員、監獄において勤務する者その他國又は公共團體の現業以外の行政又は司法の事務に従事する官吏その他の者は、爭議行為をなすことはできない」ト斯ウアリマシテ、此ノ事柄ニ付テハ、モウ今マデ屢ニ議論ガ繰返サレテ居ルノデアリマス、當局ノ答辯モ、質問者ノ質問セント欲スル所モ能ク我々ハ諒承出來タノデアリマスケレドモ、唯私ガ此處デ伺ツテ置キタイコトハ、其ノ職員ト云フモノガ、ドノ程度マデガ職員カ明瞭ヲ缺イテ居ルノデアリマス、或ハ勞働組合法ノ場合デアリマスルナラバ、組合員ニナリ得ザル者ハ利益代表乃至ハ經營者、斯ウ云フコトガ明記シテアリマスガ、是デスラ私ハ疑問ヲ持ツノデ

九六

アリマス、各地方ノ工場ニ於テハ、或ハ部長ヲ労働組合ニ入レルカ入レナイカ、部長ト云フモノノ中ニハ工場ノ組織ニ依ツテ多種多様デアリマス、重役ガ部長ノ場合モアリ或ハ部長デアツテモ重役ニアラザル普通ノ社員ノ場合モアル、サウ云フ者ヲ入レルカ入レヌカト云フコトデ、地方デモ屢ミ議論ガ行ハレテ居ルノデアリマス、而モ其ノ労働法以外ニ今度ノ此ノ法律案ヲ見マス、何處マデガ職員カ、何處マデノ範圍ガ官吏トシテ組合ニ入ツテハイケナイカ、爭議行爲ヲシテイケナイカト云フコトノ明記ヲ缺イデ居ルノデアリマス、課長ナラ課長マデ、何ナラ何マデト云フ明確ナ大臣ノ御答辯ヲ、私ハ此ノ席上ニ於テ得タイト考ヘルノデアリマス

○河合國務大臣 只今ノ御質問ノ第一ノ點ニ付テ御答ヘ致シマス、アチラコチラノ労働組合カラ反對ダト云フ御陳情モアリマス、其ノ事實ハ私共存上ゲテ居リマス、併シ御會ヒシマシテ色々御説明ヲ申上ゲテ、勿論其ノ場デハ御反對ノ意思表示ハ見エルヤウデアリマスケレドモ、私共ノ眞意ガ多少トモ通ツタノデハナイカト思ハレル場合モナキニシモアラズデアリマス、ソレカラ尙ホ一般大衆ト申シマス、國民ト申シマス、或ハ其ノ中ニハ労働者ノ方モアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ方カラ私

共ニ是非此ノ法律案ヲ通シテ欲シイト云フヤウナ投書ナドモ、多數賜ハツテ居ルモノモアリマス

ソレカラ第二ノ點ニ付テ御説明致シマスガ、第三十八條ニ於ケル所ノ現業以外ノ司法行政ハ司法事務ニ従事スル官吏ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ申スマデモナク少數ノ人ノ意思ニ依ツテ國務ガ妨ゲラレテハ困ル、サウ云フコトデハ公共ノ福祉ヲ維持スル譯ニハ行カヌノダト云フノガ、此ノ立法ノ精神デアリマスカラ、是ハサウ云フ「ストライキ」ナドヲヤラレル爲ニ、國務ガ阻害サレル範圍ノ人ヲ指スノデアリマス、隨テ國務ニ關係ノナイモノハ、假令役所ナドニオイデニナツテモ、ソレハ爭議權ヲ禁止シテ居ル譯デアリマセヌ、爭議ヲヤツテ宜シイト云フノガ是ノ原則デス、是ハ國家ノ國務ノ必要カラ、斯ウ云フ人ダケガ限定的ニ爭議ヲヤツテハイケヌト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、隨テ例ヲ申上ゲマスレバ、「エレヴェーター・ボーイ」、「エレヴェーター・ガール」或ハ守衛、小使、運轉手或ハ庭ヲ片付ケテ居ルヤウナ人ハ、總テ此ノ中ニ入りマセヌ、ソレ等ノ「ストライキ」ヲ制限シテ居ル譯デアリマセヌ、行政及ビ司法官吏系統ノ本體タル者デアリマス、サウシテ又現業ハ此ノ限リデアリマセヌ、サウ云フ風ニ御承知願ヒタイ、此ノ

點世間ニ或ハ誤解ガアルカモ知レマセヌガ、此ノ點ハ私カラ明瞭ニ御説明申上ゲテ置キマス

○山下(榮)委員 ソレデハ法文中ニ、何カ傭員トカ、雇員トカ、何トカ云フ名目デ、階級ヲハツキリ分ルヤウニ謳フト云フ譯ニハ行カナイノデスカ

○河合國務大臣 ソレハ參ラヌノデアリマス、例ヘバ「タイピスト」ノ如キモ、ヤハリ國務ノ一端ヲ擔ツテ居ル譯デアリマス、ソレデ其ノ名稱デハ參ラヌ、實質デ行クヨリ仕方ガナイ、サウ云ウ風ニ御解釋ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山下(榮)委員 先程モ申上ゲマシタヤウニ、勤務所得稅ノ問題或ハ加配米ノ問題等ニ付テ、マダ伺ヒタイコトガアルノデアリマスケレドモ、所管外ノコトデアリマセルカラ、ソレ等ノ關係大臣或ハ政府當局ノ方ガ御見エニナツタ際ニ、私ハ御伺ヒ致シマス、厚生大臣ニ對スル質問ハ是デ打切りマス

○達澤委員長 本日ハ此ノ程度ニ致シマシテ、次會ハ明後八月二日午前十時ヨリ開會スルコトニ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時十五分散會

昭和二十一年九月六日印刷

昭和二十一年九月七日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局